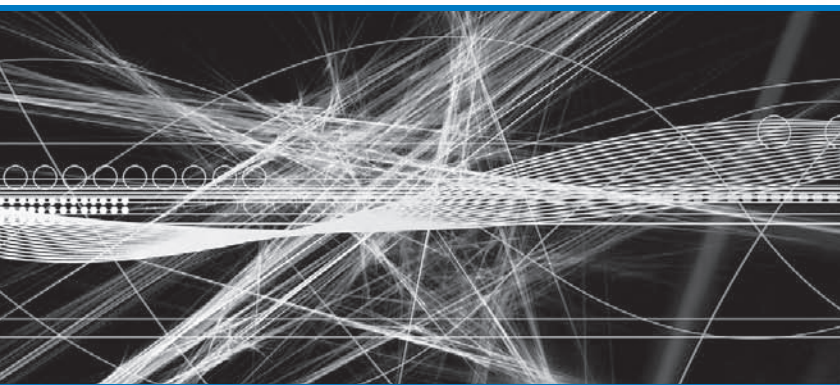


Pioneer *sound.vision.soul*

AUDIO BOOK

オーディオブック

応用
編



AVIC-VH009MD
AVIC-VH009
AVIC-XH009
AVIC-H009

carrozzeria

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

オプション
機器

オーディオ
設定

システム
設定

その他の
機能

付
録

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

⚠ 警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

【使用方法】





モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
 注意	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
戻る	タッチキーを表します。 例： 戻る にタッチする
 メニュー	ナビゲーション本体やリモコン、ステアリングリモコン（音声認識コントローラー）についているボタンを表します。 例：  を押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「 <i>リンクを付ける</i> 」(P54)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。



- ・本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- ・実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

目次

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

はじめに

安全のために必ずお守りください ...	2
安全上のご注意	3
本書の見かた	4
本書の表記のしかた	4

基本操作

オーディオ基本操作	10
基本操作	10
AV メニューの操作	10
リスト操作	11
AVソースの切り替えかた	12
ソースを切り替える	12
ソースを OFF にする	13
画面の切り替えかた	14
AV ソース画面とナビ画面を切り替える	14
AV ソース画面を切り替える	14

放送受信

放送の受信 (AVIC-VH009MD/VH009/XH009) ...	16
テレビやラジオの放送を受信する ...	16
いろいろなテレビ・ラジオ操作のしかた	17
交通情報を聞く (AVIC-VH009MD/VH009)	19
交通情報を受信する	19

音楽ディスク

音楽ディスクの再生	22
再生する	22
いろいろな再生操作のしかた	24

映像ディスク

映像ディスクの再生	28
再生する	28
操作タッチキーの表示のしかた ...	28

ディスクメニューの操作 (DVD) ...	29
ディスクの再生操作	30
いろいろな再生操作のしかた	35
初期設定をする	37
DVDビデオの初期設定のしかた ...	37
初期設定をする	37
言語コード表	39

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーについて ...	42
ミュージックサーバー (MSV) とは ...	42
録音できるメディアについて	42
ミュージックサーバーに録音する ...	43
録音についてのご注意	43
CD 録音の制限について	43
タイトル表示について	43
CD を自動的に録音する	43
CD を手動で録音する	44
CD の 1 曲目だけを自動的に録音する	44
CD 以外のソースを録音する	45
録音設定	45
ミュージックサーバーの聴きかた ...	47
グループ、プレイリスト、トラックについて	47
再生する	47
再生を一時停止する	48
詳細情報を表示する	48
表示画面を切り替える	49
いろいろな再生操作のしかた	49
ヒットチャートプレイ	52
ヒットチャートについて	52
ヒットチャート順に再生する (ヒットチャートプレイ)	52
ヒットチャートプレイを中止して通常再生に戻る	54
チャート情報を更新する	54
最新のヒットチャートを見る	55
リンクを付ける	55
フィーリングプレイ	57
フィーリングプレイとは	57

プレイモード選択画面を表示する	57
オートモードで再生する	57
マニュアルモードで再生する	58
フィーリングプレイを中止して 通常再生に戻る	59
フィーリングプレイの設定	59

プレイリストやグループを 作成する	62
AnyMusicグループ、ATRAC3 (PC) グループ ALL グループについて	62
ユーザーグループに プレイリストを作成する	62
カスタマイズグループに プレイリストを作成する	63

プレイリストやグループ、 トラックを編集する	65
グループを編集する	65
プレイリストを編集する	67
トラックを編集する	71

タイトル情報を取得する	73
タイトル情報について	73
タイトル情報を取得する	73

メモリーデバイスから楽曲を 読み込む	75
メモリーデバイスから楽曲を 読み込む	75

オプション機器

地上デジタルTV チューナーの操作 のしかた	78
(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	78
地上デジタルテレビジョン放送を 見る	78
いろいろな操作のしかた	80

iPod の操作のしかた	83
(AVIC-VH009MD/VH009)	83
再生する	83
聴きたい曲を探す	83
いろいろな再生操作のしかた	84

マルチ CD の操作のしかた	85
(AVIC-VH009MD/VH009)	85
再生する	85
いろいろな再生操作のしかた	86
登録した曲だけを再生する	87

エクスターナルユニットの操作の しかた (AVIC-VH009MD/VH009)	89
基本操作	89
ビデオなどを見る	90
(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	90
ビデオなどの見かた	90

外部機器 (AUX) の音声を聞く	91
(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	91

オーディオ設定

オーディオ設定のしかた	94
(AVIC-VH009MD/VH009)	94
チャンネルモードを切り替える	94
2チャンネルモードの オーディオ設定	95
フェーダー/バランス	95
ソースレベルアジャスター	95
デジタルダイレクト	95
ダイナミックレンジコントロール	96
ダウン MIX	96
オートサウンドセッティング	96
サウンドセッティング(詳細設定)	96
マルチチャンネルモードの オーディオ設定	102
フェーダー/バランス	102
ソースレベルアジャスター	102
デジタルダイレクト	103
Dolby Pro Logic II	103
Neo: 6	104
ダイナミックレンジコントロール	105
ダウン MIX	105
オートサウンドセッティング	105
サウンドセッティング(詳細設定)	106

車に合わせて音場を自動で補正する (AUTO TA&EQ)	112
(AVIC-VH009MD/VH009)	112
AUTO TA&EQ を行う前に	112
AUTO TA&EQ の設定方法	113

システム設定

システム設定のしかた	116
(AVIC-VH009MD/VH009)	116
システム設定をする	116
システム設定のしかた	121
(AVIC-XH009/H009)	121
システム設定をする	121

その他の機能

AV スケジューラー

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009) ...	126
AV スケジューラーとは	126
スケジュールを作成する	126
予約したスケジュールを 確認・編集する	128
予約したスケジュールを消去する ...	128

画面を設定する

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009) ...	130
画質を調整する	130
ワイド画面の拡大方法を 切り替える	130
画面の表示モードを切り替える ...	131

タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション)

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009) ...	133
--------------------------------	-----

リビングキットで

操作できる機能	134
リビングキットとは	134

エニーミュージックの

サービスを利用する	135
楽曲をダウンロードする	135
お気に入り登録する	135
楽曲をバックアップする	136
バックアップした楽曲を 復元する	137
USB ハードディスクを フォーマットする	138

リアモニターを組み合わせる

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009) ...	139
リアモニターに表示される映像に ついて	139

付録

再生できるディスクの種類

DVD に表示されている マークの意味	143
ディスクの操作について	143

ディスクの構成について

DVD ビデオ	144
CD	144

WMA/MP3/AAC ディスクに

ついて	145
-----------	-----

フォルダーと WMA/MP3 および

AAC ファイルについて	145
WMA とは?	146
MP3 とは?	146
AAC とは?	147
DivX とは?	147

Gracenote について

故障かな?と思ったら

共通項目	149
TV	150
FM/AM	150
DVD	151
CD、ROM (WMA/MP3/AAC) ...	152
ミュージックサーバー	153

エラーメッセージと対処方法 ...

共通項目	154
DVD、CD、 ROM (WMA/MP3/AAC)	154
ミュージックサーバー	155

索引

メニュー索引	156
用語索引	158

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

ご使用前に知っておいていただきたいこと

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

■安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。) また、一部のメニュー操作はできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

(例) テレビを見ようとしたとき



■リアモニターについて

リアモニター出力に後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

基本操作

オーディオ基本操作.....	10
基本操作.....	10
タッチ操作とリモコン操作の違いについて	10
オーディオコントローラーの操作について (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	10
AV メニューの操作.....	10
リスト操作	11
基本的なリストの操作	11
サイドメニューの操作	11
チェックリストの操作	11
AVソースの切り替えかた.....	12
ソースを切り替える	12
SRC ボタンで切り替える	12
AV ソース選択画面で切り替える.....	13
ソースを OFF にする	13
画面の切り替えかた.....	14
AV ソース画面とナビ画面を切り替える.....	14
AV ソース画面を切り替える	14

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作について説明します。

基本操作

本機はタッチパネルとリモコンのどちらでも操作することができます。

タッチパネルで操作するときは、画面上のタッチキー（マークや項目など）にタッチします。

リモコンで操作するときは、ユニバーサルパッドの上下左右に触れることで操作し、画面上の項目を選んで**決定**を押します。



- 本書では、タッチキーでの操作を基本に説明していますが、リモコンでも同様の操作を行うことができます。
- リモコン操作がタッチキーの操作と異なる場合は、「リモコン操作：○○」で表記しています。

■タッチ操作とリモコン操作の違いについて

画面上に表示されるタッチキーのうち、銀色で表示されているキーはリモコンで選ぶことはできません。その場合は次のボタンを押して操作します。

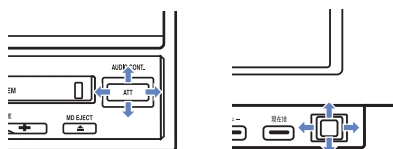
タッチキー	リモコンボタン
	メニュー
	戻る
	ユニバーサルパッド上/下
	へ別ルート 渋滞

■オーディオコントローラーの操作について (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

オーディオコントローラーは、以下のように操作します。

AVIC-VH009MD
AVIC-VH009

AVIC-XH009



チャンネルやトラックの送り、リストの上下などが行えます。

AV メニューの操作

AV メニューとは、オーディオや映像に関する設定や各機能の操作を行うためのメニューです。

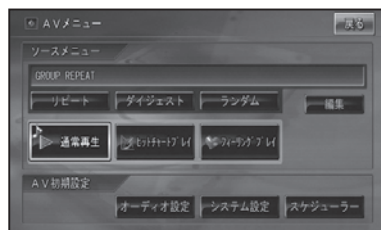
1 AV ソース画面 (→ P13) で **メニュー**を押す

ソースがONの状態では**メニュー**を押します。



AV メニューが表示されます。

2 操作したい項目にタッチする



ソースメニュー

※ソースメニューの内容は、ソースごとに異なります。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

AV 初期設定

オーディオ設定	オーディオ設定画面を表示する (→ P94) ※ AVIC-VH009MD/VH009の場合のみ表示されます。
システム設定	システム設定画面を表示する AVIC-VH009MD/VH009 (→ P116) AVIC-XH009/H009 (→ P121)
スケジューラー	スケジューラー画面を表示する (→ P126) ※ AVIC-H009の場合は表示されません。

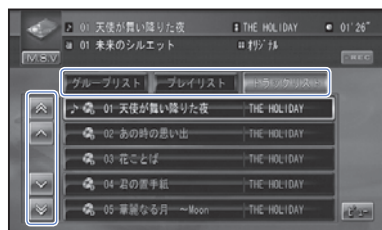


- メニューを閉じるには、**戻る**にタッチするかリモコンの**戻る**または**メニュー**を押します。

リスト操作

再生中などに表示されるリスト画面の操作について説明します。

基本的なリストの操作



1 行送り

リストを上下に 1 行移動します。

タッチ操作	▲ ▼ にタッチする
リモコン操作	ユニバーサルパッドを上 / 下に操作する

ページ送り

一画面ずつ移動します。

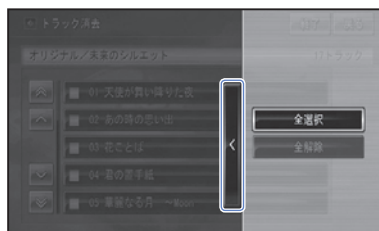
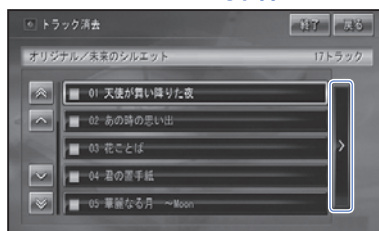
タッチ操作	⏮ ⏭ にタッチする
リモコン操作	⏮ (別ルート) 、 ⏭ (洗滌) を押す

タブ送り

タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り替わります。

タッチ操作	タブ(例: プレイリスト)にタッチする
リモコン操作	ユニバーサルパッドを左 / 右に操作する

サイドメニューの操作



サイドメニュー

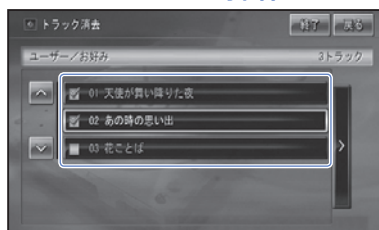
▶が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。サイドメニューでは、リストの全選択や全解除などの操作をすることができます。

タッチ操作	▶にタッチする
リモコン操作	ユニバーサルパッドを右に操作する



- サイドメニューを閉じるには、◀にタッチするかユニバーサルパッドを左に操作します。

チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチすると「✓」(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると「✓」が消え、選択が解除されます。またチェックリストでは、サイドメニューを表示できるものがあり、サイドメニューから、**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

AVソースの切り替えかた

CD、ミュージックサーバー、DVD などの音源や映像のことをソースと呼びます。



- ナビゲーション画面のときにソースを切り替えると音声のみ切り替わります。
(NAVI/AV)を押すと AV ソース画面に切り替えることができます。
- 接続していないソースや、再生の準備ができていないソースには切り替わりません。
- 切り替えられるソースは機種ごとに異なります。以下を参照してください。

ソースを切り替える

ソースの切り替えは、**(SRC)**で行う方法と、ソース選択画面から行う方法があります。

(SRC) ボタンで切り替える

1 **(SRC)**を押す

AVIC-VH009MD/VH009

(SRC)を押すごとに、以下のように切り替わります。

CD/ROM/DVD-V/DivX → MSV (ミュージックサーバー) → MD (AVIC-VH009MD) → FM → AM → TV → DTV (地上デジタル TV) → iPod → M-CD (マルチ CD) → VTR → AUX1 → AUX2 → EXT1 → EXT2 → 元に戻る



- 「システム設定」の「AV 入力設定」(→ P117) で VTR を ON にしないと、VTR に切り替わりません。
- 「システム設定」の「AV 入力設定」(→ P117) で AUX1 (ライン) または AUX2 (IP-BUS) を ON にしないと、AUX1 または AUX2 に切り替わりません。
- EXT1、EXT2 は、マルチ CD プレーヤー、iPod アダプター、地上デジタル TV チューナー以外の IP バス機器 (エクスターナルユニット) のためのソースです。本機では、2 台のエクスターナルユニットをコントロールすることができます (→ P89)。

AVIC-XH009

(SRC)を押すごとに、以下のように切り替わります。

CD/ROM/DVD-V/DivX → MSV (ミュージックサーバー) → TV → DTV (地上デジタル TV) → VTR → AUX → 元に戻る



- 「システム設定」の「AV 入力設定」(→ P122) で VTR を ON にしないと、VTR に切り替わりません。
- 「システム設定」の「AV 入力設定」(→ P122) で AUX を ON にしないと、AUX に切り替わりません。

AVIC-H009

(SOURCE)を押すごとに、以下のように切り替わります。

CD/ROM/DVD-V/DivX → MSV (ミュージックサーバー) → TV モニターのソース → 元に戻る



- 詳しくは、TV モニターに付属の『取扱説明書』をご覧ください。

リビングキット

リビングキットでは、**(SRC)**を押すごとに、以下のように切り替わります。

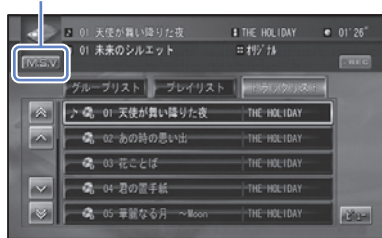
MSV (ミュージックサーバー) → AnyMusic → AUX → 元に戻る

AV ソース選択画面で切り替える

AV ソース選択画面を表示して、ソースを直接選ぶことができます。

1 (S.MENU) (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)を押すか、AVソース画面でソース名にタッチする

ソース名



2 お好みのソースにタッチする

(画面例：AVIC-VH009MD)



選んだソースに切り替わります。

- AVIC-VH009MD/VH009の場合、**(S.MENU)**を長く押しても「TI(交通情報)」に切り替えることができます。

ソースを OFF にする

1 (SRC)を1秒以上押す

リモコン操作：(SOURCE)を1秒以上押す

ソースが OFF になります。

もう一度**(SRC)**を押すと、OFF にする前のAV ソース画面に戻ります。

- AV ソース選択画面で**OFF**にタッチしても、ソースを OFF にすることができます。
- リビングキットでは、**(SRC)**を長く押します。

画面の切り替えかた

AV ソース画面の切り替えかたについて説明します。

AV ソース画面とナビ画面を切り替える

ソースの音声はそのまま、画面だけナビゲーション画面と AV ソース画面を切り替えることができます。

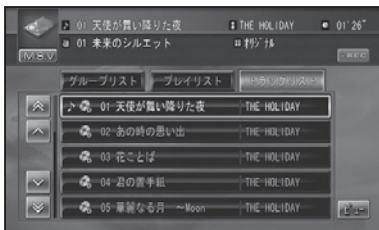
1 **NAVI/AV**を押す

NAVI/AVを押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



AV ソース画面



- AVIC-H009 の場合は、モニター側の **V.ADJUST** でも切り替えることができます。

AV ソース画面を切り替える

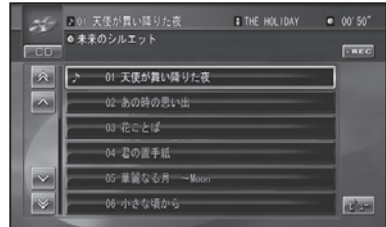
AV ソース画面の表示方法を切り替えることができます。

- MSV (ミュージックサーバー) の AV ソース画面の表示方法切り替えについては、「表示画面を切り替える」(→ P49) を参照してください。

1 AV ソース画面で**ビュー**にタッチする

タッチすることにより、画面表示が以下のように切り替わります。

通常リスト画面



リストオフ画面



オールオフ画面



- リストオフ画面およびオールオフ画面のときに画面にタッチすると、通常リスト画面に戻ります。
- テレビ、DVD、DivX、VTR、DTV のときは、映像画面に切り替わります。元の画面を表示させるときは、映像画面にタッチします。

放送受信

放送の受信

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009) 16

テレビやラジオの放送を受信する 16

プリセットの種類を選ぶ 16

放送局の手動記憶 17

いろいろなテレビ・ラジオ操作のしかた 17

バンドを切り替える 17

放送局の自動記憶 17

音声多重の切り替え（テレビ） 18

リストの切り替え（テレビ） 18

交通情報を聞く

(AVIC-VH009MD/VH009) 19

交通情報を受信する 19

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

オプション
機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付
録

放送の受信 (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

テレビやラジオの受信のしかたを説明します。

テレビやラジオの放送を受信する

で注意

- テレビ映像は、停車中でパーキングブレーキがかかっているときに見ることができます。走行中は安全のために、テレビ映像は表示されません。



- 地上デジタルテレビジョン放送を受信するには、別売のパイオニア製地上デジタルTVチューナーが必要です。→「地上デジタルTVチューナーの操作のしかた」(→P78)
- 「AVIC-XH009」にラジオの受信機能はありません。

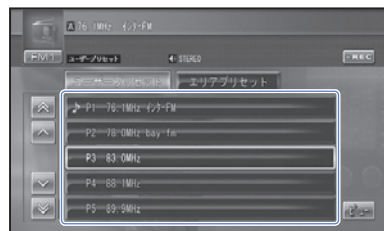
1 (SRC) を押してソースをTVまたはFM、AMにする (→P12)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



- テレビのリスト画面は約8秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをテレビやラジオにした場合は、音声のみ切り替わります。(NAVI/AV)を押すとAVソース画面に切り替わります。(→P14)
- AVソース選択画面からソースを選ぶこともできます。(→P12)
- 受信をやめるには、ソースをOFFにします。(→P13)

2 受信したい放送局にタッチする



オーディオコントローラーで操作する場合：

	リストの放送局順に送る
	チャンネルまたは周波数を順に送る
	受信できる放送局を自動的に探す (SEEK)

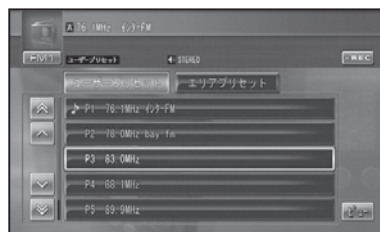


- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさざぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示され、音声多重放送を受信した場合は [BILINGUAL] が表示されます。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶させた放送局 (ユーザープリセット) を呼び出するか、ハードディスクに記憶されている自車位置付近の放送局 (エリアプリセット) を呼び出するかを選びます。

1 ユーザープリセットまたはエリアプリセットにタッチする



- エリアプリセットでは、放送局の周波数 (チャンネル) 変更が行なわれた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。
- ユニバーサルパッドを左右に操作して、切り替えることもできます。

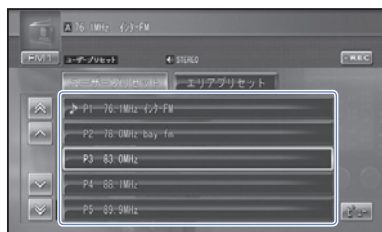
放送局の手動記憶

ユーザープリセットメモリーに、テレビはTV1とTV2に各12局、ラジオはFM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で記憶させることができます（マニュアルプリセット）。

1 ユーザープリセットにタッチする

2 ◀/▶を押して記憶させたい放送局を選ぶ

3 記憶させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに記憶されます。

いろいろなテレビ・ラジオ操作のしかた

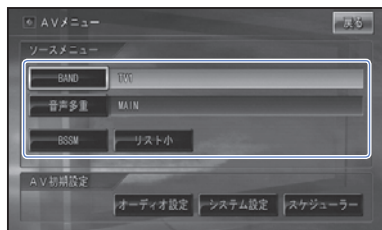
基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 [メニュー]を押す

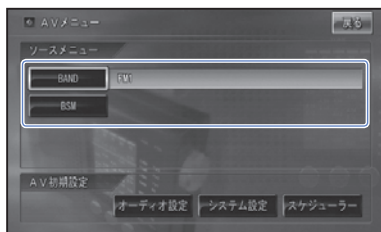
ソースごとのAVメニューが表示されます。

2 機能にタッチする

テレビ



ラジオ



■バンドを切り替える

本機ではソースごとに2つのバンドがあり、それぞれのバンドごとにメモリーを使い分けることができます。

1 AVメニューでBANDにタッチする

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

テレビ (各12局)
TV1 ↔ TV2

ラジオ (各6局)
FM1 ↔ FM2
AM1 ↔ AM2

- リモコンの[BAND/ESC]を押して、バンドを切り替えることもできます。

■放送局の自動記憶

受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーに自動的に記憶させることができます。

1 AVメニューでBSSM (テレビ)、またはBSM (ラジオ)に2秒以上タッチする



中止にタッチすると、自動記憶を中止します。

つづく→

自動記憶が完了すると、ユーザープリセットに放送局が記憶されます。



- 「AVIC-XH009」では、リモコンの**(BSSM/決定)**を長く押ししても同じ操作が行えます。
- 受信状態の良い放送局が記憶可能数より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

■音声多重の切り替え (テレビ)

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。



- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 AVメニュー (→P 17) で**音声多重**にタッチする

タッチするごとに、以下のように切り替わります。

MAIN → **SUB** → **MAIN + SUB** → **元に戻る**

MAIN	主音声 (日本語)
SUB	副音声 (外国語)
MAIN + SUB	主・副音声 (日本語 + 外国語)



- 「MAIN + SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。

■リストの切り替え (テレビ)

表示されるリストの大小を選ぶことができます。

1 AVメニュー (→P 17) で**リスト****大小**にタッチする



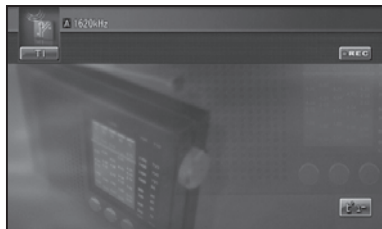
- すでにリスト小で画面表示されている場合は、タッチキーが**リスト大**となります。
- 走行中は、リストの大小の設定に関係なくリスト大で表示されます。

交通情報を聞く (AVIC-VH009MD/VH009)

幹線道路などで放送されている AM の交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 (S.MENU)を長く押す



交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

- AV ソース選択画面(→P13)で **FM** にタッチして、交通情報を受信することもできます。

2 オーディオコントローラーを左右 (↔) に倒して周波数を切り替える

	1620kHz にするとき
	1629kHz にするとき

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調整しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- 受信をやめるには、ソースを OFF にします。(→P13)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービジャー

オプション機能

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

音楽ディスク

音楽ディスクの再生.....	22
再生する.....	22
再生画面について.....	22
再生を一時停止する.....	23
詳細情報を表示する (MP3)	24
いろいろな再生操作のしかた.....	24
リピート再生.....	24
ランダム再生.....	25
スキャン再生.....	25
サーチモードの切り替え.....	26
ミックス CD 内のデータ形式の切り替え.....	26

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

音楽ディスクの再生

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、MD の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

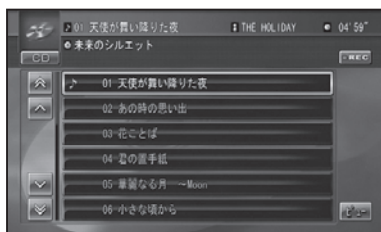
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→ P142) を参照してください。
- MD は、「AVIC-VH009MD」のみ再生できます。

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。(→ P12)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生を中止するには、ソースを OFF にします。(→ P13)

2 聴きたい曲にタッチする



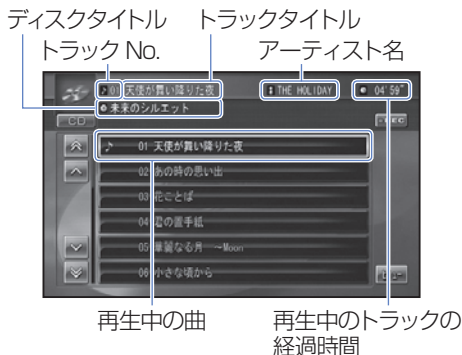
オーディオコントローラーで操作する場合：

	フォルダー操作 (ROM のみ)
	トラック / ファイル操作
	早戻し / 早送り
	(倒し続ける)

- 早戻し / 早送りの動作は、10 曲飛びに選曲する「ラフサーチ」に切り替えることもできます。(→ P26)

再生画面について

CD (通常再生中)

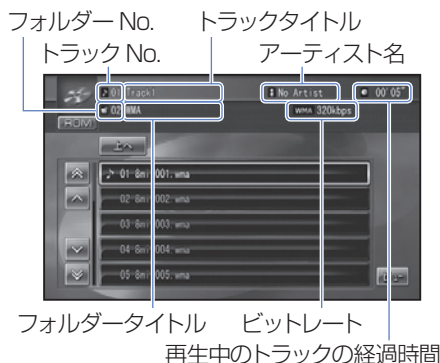


CD → MSV (録音中)



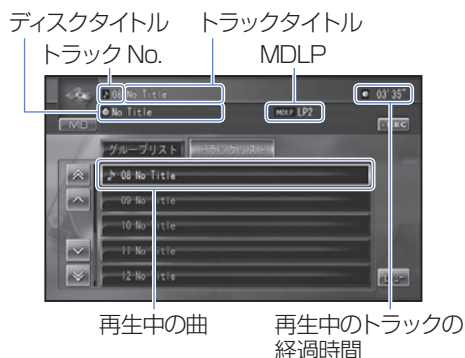
- 録音していない CD を再生すると、自動的にミュージックサーバー (MSV) への録音が始まります。全ての曲の録音が終わると通常再生に切り替わります。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生 (ランダム再生など) はできません。選曲操作が必要な場合は、**REC** にタッチするかリモコンの を押して録音を中止してください。
- 内蔵の Gracenote 音楽認識サービス (CDDb) から情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- ミュージックサーバーへの録音およびタイトル表示については「ミュージックサーバーに録音する」(→ P43) を参照してください。

ROM (WMA/MP3/AAC)



- MP3 は ID3 Tag (→ P146) からタイトル情報を取得できた場合、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- フォルダータイトルやトラックタイトル、アーティスト名は全角 16 文字 (半角 32 文字) の表示ができます。
- MP3 は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてソースプレートに表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMA/AAC は、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。
- WMA の時にタグの Author 情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- にタッチすると、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- にタッチすると、上位階層のフォルダー内の情報を表示します。
- 音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC 形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、最初に音楽データ (CD) が再生されます。WMA/MP3/AAC ファイルを再生するには「ミックス CD 内のデータ形式の切り替え」(→ P26) を参照してください。

MD



- 表示できる文字数に制限があるため、取得したタイトルが長い場合、全て表示できない場合があります。また、半角、全角の混在は表示できません。
- タイトルが記憶されていない場合は、[No Title] と表示されます。
- トラックリスト** にタッチすると、MD に録音されている全ての曲をリスト表示します (再生中の曲を先頭)。
- グループリスト** にタッチすると、グループリストを表示します。

MDLP について

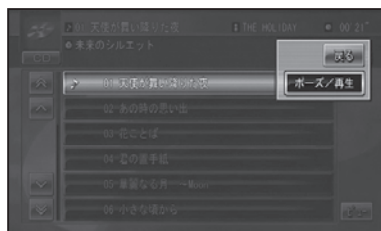
本機は MDLP に対応しています。長時間録音されている MD も再生することができます。

■再生を一時停止する

1 再生中の曲にタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポーズ / 再生にタッチする



ディスクの再生が一時停止します。

ポーズ / 再生 にもう一度タッチすると、再生を再開することができます。

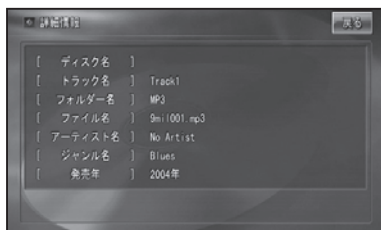
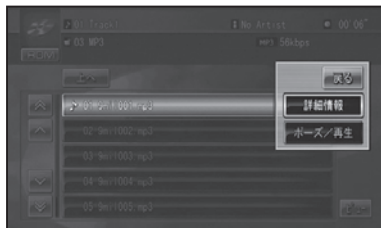
■ 詳細情報を表示する (MP3)

MP3 では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 再生中の曲にタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 詳細情報にタッチする



ID3 Tag の情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報（ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年）が表示されます。

戻るにタッチすると元の画面に戻ります。

いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

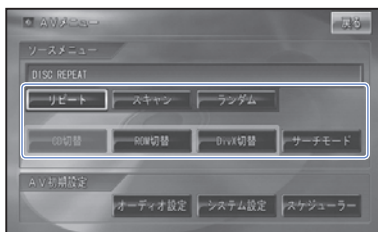
1 メニューを押す

ソースごとの AVメニューが表示されます。

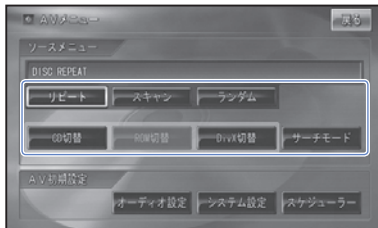
2 機能にタッチする

- CD 録音中は、操作できません。

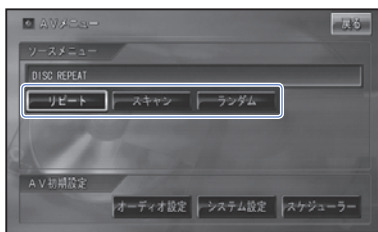
CD



ROM(WMA/MP3/AAC)



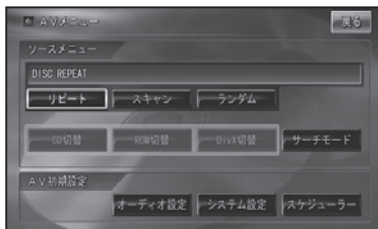
MD



■ リPEAT再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 AVメニューでリPEATにタッチする



タッチするごとに、リPEATの範囲が以下のように切り替わります。

CD

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

ROM (WMA/MP3/AAC)

DISC REPEAT → TRACK REPEAT
→ FOLDER REPEAT → 元に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します（WMA/MP3/AAC のみ）。

MD

DISC REPEAT → TRACK REPEAT
→ GROUP REPEAT → 元に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
GROUP REPEAT	再生中のグループを繰り返します。（グループ指定してある MD のみ）

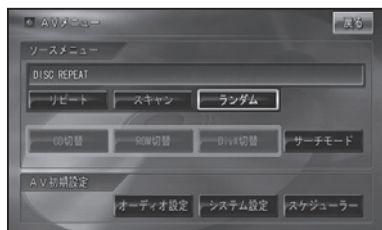


- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作（TRACK REPEAT 中の選曲操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生である DISC REPEAT は、ソースプレートに表示されません。

■ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 AVメニューでランダムにタッチする



タッチすることにより、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。



- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、ランダム再生を ON にすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り替わります。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT
MD	GROUP REPEAT

- グループ指定していない MD は DISC REPEAT にします。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生、スキャン再生など）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

■スキャン再生

選んだリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー／グループ内の 1 曲目の演奏開始部分を、約 10 秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダー、グループを探すときに使います。

1 リピート範囲を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク (CD)、フォルダー (WMA/MP3/AAC)、グループ (MD) 内の各曲の演奏開始部分を、約 10 秒間ずつ再生します。リピートの範囲を以下のように指定します。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT
MD	GROUP REPEAT



- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、スキャン再生を ON にすると、リピートの範囲はそれぞれ上記のリピート範囲に切り替わります。
- グループ指定していない MD は、DISC REPEAT にします。

聴きたいフォルダー (WMA/MP3/AAC)、グループ (MD) を探すとき

ディスク内の全フォルダー／グループの 1 曲目だけの演奏開始部分を、約 10 秒間ずつ再生します。リピートの範囲を DISC REPEAT に指定します。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

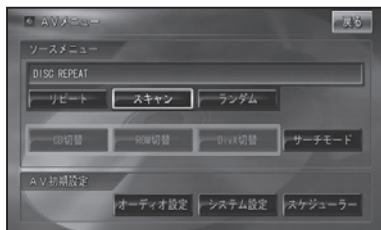
オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

2 AVメニューで**スキャン**にタッチする



タッチするごとに、スキャン再生の ON/OFF が切り替わります。

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはフォルダー / グループが再生されたら、もう一度**スキャン**にタッチする

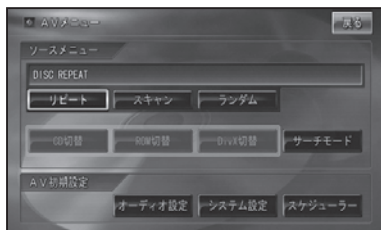
スキャン再生が OFF になり、選んだ曲またはフォルダー / グループが再生されます。

- スキャン再生中にその他の再生（リビート再生、ランダム再生など）やリビートの範囲を越える操作（フォルダーの切り替えなど）を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

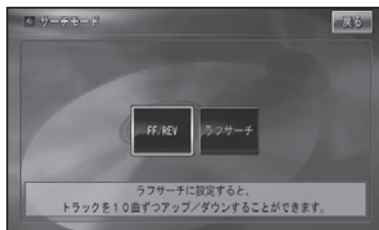
■サーチモードの切り替え

オーディオコントローラーを左右(→←)に倒し続けると、早送り / 早戻しにするか、10 曲飛びに選曲するラフサーチにすることができます。

1 AVメニュー(→P 24)で**サーチ**モードにタッチする



2 設定するサーチモードにタッチする

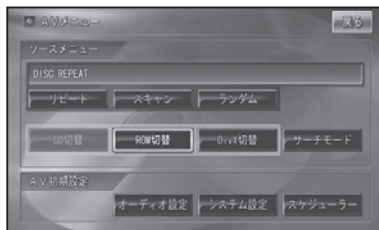


FF/REV	早送り / 早戻しになります。
ラフサーチ	ラフサーチになります。

■ミックス CD 内のデータ形式の切り替え

音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC データ (ROM) と DivX のデータが混在しているディスク (ミックス CD) の場合に形式を切り替えます。

1 AVメニュー (→P 24) で**CD切替**または**ROM切替**または**DivX切替**にタッチする



再生するデータ形式が切り替わります。

- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。
- リモコンの **(BAND/ESC)** を押して切り替えることもできます。

映像ディスク

映像ディスクの再生.....	28
再生する.....	28
操作タッチキーの表示のしかた.....	28
DVD ビデオの操作タッチキー.....	28
DivX の操作タッチキー.....	29
ディスクメニューの操作 (DVD).....	29
ディスクの再生操作.....	30
チャプターを進める / 戻す.....	30
タイトルを進める / 戻す.....	30
一時停止 / 再生.....	30
コマ送り再生.....	30
スロー再生.....	31
再生を停止する.....	31
CM スキップ / バック.....	31
ブックマークの記憶 (DVD).....	31
ファイルを選んで再生する (DivX).....	32
ダイレクトサーチ.....	33
字幕言語の切り替え.....	33
音声言語の切り替え.....	34
アングルの切り替え (DVD).....	34
リターン再生 (DVD).....	35
いろいろな再生操作のしかた.....	35
リピート再生.....	35
音声出力の切り替え (DVD).....	36
再生メディアの切り替え (DivX).....	36
DVD ビデオの初期設定のしかた.....	37
初期設定をする.....	37
基本字幕.....	37
基本音声.....	37
メニュー言語.....	37
アシスト字幕.....	37
マルチアングル.....	38
テレビアスペクト.....	38
視聴制限.....	38
オートプレイ.....	38
言語コード表.....	39

映像ディスクの再生

DVD ビデオ、DivX などの基本的な再生のしかたについて説明します。

再生する

で注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。



- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P142)を参照してください。

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。(→P12)
- ・DVD によっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューをタッチで操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作(DVD)」(P29)
- ・オートプレイの設定を ON にすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P38)
- ・DVD の録音レベルは他のソースより低いいため、他のソースから DVD に切り替えると、音が小さく感じられる場合があります。AVIC-VH009MD/VH009 では、ソースレベルアジャスターでソースごとの音量の違いをそろえることができます(→P95, 102)。
- ・再生を中止するには、ソースを OFF にします。(→P13)

操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。

1 再生中に画面にタッチする



- ・リモコンの**決定**を押しても操作タッチキーを表示することができます。**メニュー**にタッチするか、リモコンの**メニュー**を押すと操作タッチキーは消えます。

DVD ビデオの操作タッチキー

DVD ビデオの操作タッチキーは2ページあります。

操作タッチキーに表示される**次ページ>>**または**<<前ページ**にタッチして表示を切り替えます。

DVD ビデオ操作タッチキー 1 (1ページ目)





■ DivX の操作タッチキー

DivX の操作タッチキーは2ページあります。操作タッチキーに表示される**次ページ**または**前ページ**にタッチして表示を切り替えます。

DivX 操作タッチキー 1 (1ページ目)



DivX 操作タッチキー 2 (2ページ目)



ディスクメニューの操作 (DVD)

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする



- リモコンの **TOP.M** または **MENU** を押した場合も、ディスク特有のメニューが表示されます。


2 画面にタッチして操作する



- リモコンのユニバーサルパッドで操作することもできます。
- **メニュー** にタッチするか、リモコンの **メニュー** を押すと操作タッチキーを表示して操作することもできます。
- **メニュー** にタッチするか、リモコンの **メニュー** を押すと操作タッチキーは消えます。

ディスクの再生操作











- ここで説明されている各機能は、ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

■チャプターを進める / 戻す

チャプターを前後に送ったり、早送り / 早戻しをすることができます。

1 操作タッチキー1 (→ P28) の または にタッチする



-  でも操作できます。
-   にタッチし続けると、 に倒し続けると、早戻し / 早送りの動作となります。約 5 秒以上操作し続けると、早送り / 早戻しのままになります。通常の再生に戻すには   または  にタッチします。
- リモコンのスケールレバーを  側に倒しても通常再生に戻ることができます。

■タイトルを進める / 戻す

タイトルを順に進めたり、戻したりすることができます。

1 オーディオコントローラーを上下 () に倒す





- 操作タッチキーでは、この操作はできません。

■一時停止 / 再生

再生中の映像を一時停止して静止画にしたり、通常の再生に戻すことができます。

1 操作タッチキー1 (→ P28) の にタッチする



- もう一度  にタッチすると通常再生に戻ります。
- リモコンのスケールレバーを  側に倒しても一時停止 / 再生の操作を行うことができます。



■コマ送り再生

再生中の映像を 1 コマずつ止めながら、進めて見るすることができます。

1 操作タッチキー1 (→ P28) の にタッチする

タッチするごとに、映像が 1 コマずつ送られます。



-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- リモコンのスケールレバーを  側に倒しても通常再生に戻ることができます。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

■スロー再生

再生スピードを遅くして見るができます。

1 操作タッチキー1 (→ P28) の **II** にタッチし続ける

送り方向にスロー再生されます。



DVD の場合は、スロー再生中に再生スピードを変えることができます。

DVD スロー再生の場合：

スロー DOWN	再生スピードが遅くなります。
スロー UP	再生スピードが速くなります。



- **II** にタッチすると通常再生に戻ります。
- リモコンのスケールレバーを **広域 II** 側に倒しても通常再生に戻ることができます。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

■再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

1 操作タッチキー1 (→ P28) の **II** にタッチする



- リモコンのスケールレバーを **詳細 II** 側に倒しても再生を停止することができます。
- **II** にタッチすると通常再生に戻ります。
- リモコンのスケールレバーを **広域 II** 側に倒しても通常再生に戻ることができます。

- 再生を停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生したときは前回の続きから再生されます (ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。

■CM スキップ / バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り / 早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 操作タッチキー1 (→ P28) の **CMスキップ** または **CMバック** にタッチする



タッチすることにより、以下のような秒数で早送り / 早戻しされます。

CM スキップ (早送り)	[30 秒] → [1 分] → [1 分 30 秒] → [2 分] → [3 分] → [5 分] → [10 分] → [0 秒] → 元に戻る
CM バック (早戻し)	[5 秒] → [15 秒] → [30 秒] → [1 分] → [2 分] → [3 分] → [0 秒] → 元に戻る

■ブックマークの記憶 (DVD)

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。



- 1 枚のディスクで、**ブックマーク** またはリモコンの **メモリー** 操作によるブックマークと、ディスク取り出しボタン操作によるブックマークの両方を記憶することができます。その場合、ディスク取り出しボタンで記憶したブックマークが優先されます。

つづく→

1 操作タッチキー1 (→ P28) のブックマークにタッチする



選んだ場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク**に2秒以上タッチします。



- ・リモコンの **メモ** を押してもブックマークの記憶、消去操作を行うことができます。
- ・再生中のブックマークの記憶は、ディスク1枚につき1場面記憶でき、ディスク5枚分のブックマークを記憶します。5枚を超えて新しいディスクにブックマークが記憶されると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

ディスク取り出しの際に記憶する

1 再生中に **⏏** (ディスク取り出しボタン) を2秒以上押してからディスクを取り出す

ボタンが押されたときに再生中だった場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**⏏** を短く押してディスクを取り出します。



- ・ディスク取り出し時のブックマークの記憶は、ディスク1枚分のブックマークを記憶します。

■ ファイルを選んで再生する (DivX)

DivX では、リストから見たいファイルを選んで再生することができます。

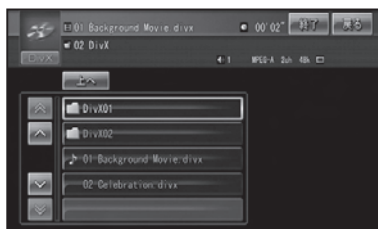


- ・DivXのレンタルコンテンツをダウンロードする場合は、システム設定の「DivX VOD コード」 (→ P120, 123) でレジストレーションコードを入手して行ってください。

1 操作タッチキー1 (→ P29) のファイルを探すにタッチする



2 見たいファイルにタッチする



選んだファイルが再生されます。



- ・DivXのリスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**ファイルを探す**にタッチします。
- ・**□**を選んだ場合は、フォルダー内のファイルのリストが表示されます。
- ・**上**にタッチすると、1つ上のフォルダー内を表示します。
- ・**終了**にタッチすると、現在再生しているファイルの先頭に戻って再生を開始します。

レンタルコンテンツのファイルを選んだ場合

レンタルコンテンツのファイルを選んで再生する場合は、以下の画面が表示されます。



はいまたは**いいえ**にタッチします。

	ディスクを停止します。
	前のファイルを表示します。
	次のファイルを表示します。

■ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 操作タッチキー2 (→ P29) のサーチ/10キーまたはサーチにタッチする

DVD



DivX



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

DVD

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**、**10 キーモード** が選べます。



DivX

FOLDER、**FILE**、**TIME** が選べます。



3 見たい場面の番号を入力し、決定にタッチする

DVD

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を確定します。
10 キーモード	数字のコマンドを入力します。



指定した場面から再生を始めます。

DivX

FOLDER	フォルダー番号を入力します。
FILE	ファイル番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を確定します。



指定した場面から再生を始めます。

■字幕言語の切り替え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます(マルチ字幕)。

1 操作タッチキー2 (→ P29) の字幕切替にタッチする



つづく→

▼
タッチすることにより、字幕言語が切り替わります。



- リモコンの **削除字幕** を押しても字幕言語を切り替えることができます。
- パッケージについている **字幕** マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。

■音声言語の切り替え

音声が多音録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます(マルチ音声)。

1 操作タッチキー2 (→ P29) の音声切替にタッチする



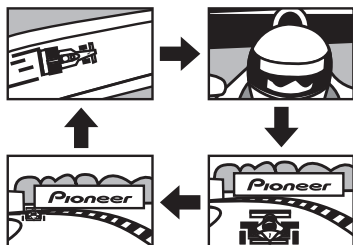
▼
タッチすることにより、音声言語が切り替わります。



- リモコンの **切替音声** を押しても音声言語を切り替えることができます。
- DVD の場合、パッケージについている **音声** マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- DTS 音声はデジタル出力のみ対応しています。「AVIC-H009/XH009」の場合でデジタル出力を接続していない場合、DTS 音声は出力されませんので、DTS 以外の音声を選んでください。
- 「Dolby D」や「5.1ch」などの表示は、DVD に収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

■アングルの切り替え (DVD)

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます(マルチアングル)。



- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます

1 操作タッチキー2 (→ P29) のアングル切替にタッチする

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えが行えます。



▼
タッチすることにより、アングルが切り替わります。



- リモコンの **確定アングル** を押してもアングルを切り替えることができます。
- パッケージについている **アングル** マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示 / 非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。→ 「マルチアングル」(P38)

■リターン再生 (DVD)

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 操作タッチキー2 (→P29) のリターンにタッチする



ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

いろいろな再生操作のしかた

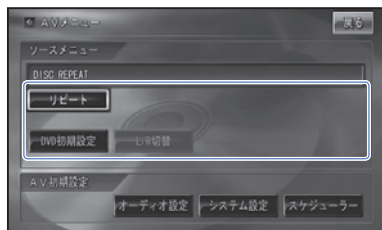
基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します

1 **メニュー**を押す

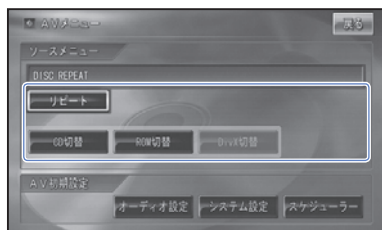
AVメニューが表示されます。

2 機能にタッチする

DVD



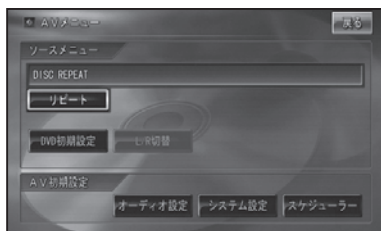
DivX



■リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 AVメニューで**リピート**にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

DVD

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT → 元に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

DivX

DISC REPEAT → FILE REPEAT → FOLDER REPEAT → 元に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイルを繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。



- 設定したリピート範囲は、ソースプレートに表示されます。
- 通常再生である DISC REPEAT はソースプレートに表示されません。
- DVD の場合、ディスクまたは再生位置によっては、ⓧ (禁止マーク) が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (CHAPTER REPEAT 中のチャプターの切り替えなど) を行くと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ (→P38) の設定が ON のときは機能しません。

■ 音声出力の切り替え (DVD)

音声が入力された PCM のディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り替えます。

1 AVメニュー (→P35) で **L/R** 切替にタッチする



2 設定する項目にタッチする



L	左の音声を出します。
L+R	左右両方の音声を出します。
R	右の音声を出します。

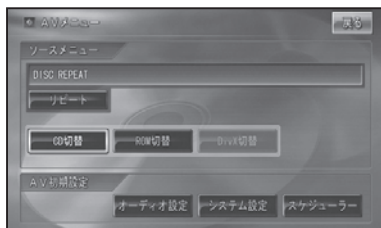


選んだ側の音声を出します。

■ 再生メディアの切り替え (DivX)

再生するメディアを切り替えます。

1 AVメニュー (→P35) で **CD** 切替または **ROM** 切替にタッチする



選んだメディアを再生します。

DVD ビデオの初期設定のしかた

DVD の再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

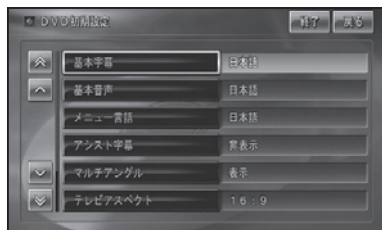
- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示 / 非表示
- マルチアングルの表示 / 非表示
- テレビアスペクト (画面の縦横比)
- 視聴制限 (パレンタルロック)
- オートプレイの ON/OFF

初期設定をする

1 DVD 再生中に「メニュー」を押し、DVD 初期設定にタッチする



2 各項目にタッチし、設定を行う



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

■基本字幕

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます (マルチ言語字幕)。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。



- **その他**にタッチしたときは、「言語コード表」(→ P39) より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。
- この設定にかかわらず、再生中にリモコンの **削除字幕** を押して字幕言語を切り替えることができます。押すごとに字幕が切り替わりますが、初期設定には反映されません。

■基本音声

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます (マルチ音声)。

設定項目は基本字幕と同じです。

■メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。

設定項目は基本字幕と同じです。

■アシスト字幕

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

工場出荷時は「非表示」です。

表示	アシスト字幕を表示します。
非表示	アシスト字幕を表示しません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

オプション機能

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

■ マルチアングル

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示 / 非表示を設定することができます。
工場出荷時は「表示」です。

表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。



- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

■ テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。
工場出荷時は「16:9」です。

16:9	ワイドモニター（16:9） 使用時に選びます。16:9 で収録された画像が 16:9 で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4:3） 使用時に選びます。16:9 で収録された画像の横幅を 4:3 モニターの横幅に合わ せて 16:9 の比率で表示し ます。
パンスキャン	ノーマルモニター（4:3） 使用時に選びます。16:9 で収録された画像の縦幅を 4:3 モニターの縦幅に合わ せて 16:9 の比率で表示し ます（左右にはみ出た映像は 表示されません）。



- 通常は 16:9 に設定してお使いください。後席ディスプレイにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比を後席ディスプレイに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、パンスキャンに設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで **16:9 PS** マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

■ 視聴制限

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

設定レベル	内容
8	ディスクを全て再生します。
7 ~ 2	成人向けディスクの再生を禁止します（子供向けや一般向けディスクを再生します）。
1	子供向けのディスクのみ再生します。



- 視聴制限**にタッチすると、暗証番号入力画面が表示されますので、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

■ 暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で**削除**に 10 回連続でタッチするかリモコンの **削除**（字幕）を 10 回連続で押すと、暗証番号が解除されます。

■ オートプレイ

DVD を挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。



- オートプレイの設定を ON にしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイを OFF にして再生してください。
- オートプレイの設定が ON の時はリピート再生は機能しません。

付録

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーについて	42	フィーリングプレイ	57
ミュージックサーバー (MSV) とは	42	フィーリングプレイとは	57
録音できるメディアについて	42	プレイモード選択画面を表示する	57
ナビゲーション本体で録音する場合	42	オートモードで再生する	57
リビングキットで録音する場合	42	オートモードの操作画面について	58
ミュージックサーバーに録音する	43	マニュアルモードで再生する	58
録音についてのご注意	43	マニュアルモードの操作画面について	58
CD 録音の制限について	43	再生曲が選択した曲調と合わないとき	59
タイトル表示について	43	フィーリングプレイを中止して通常再生に戻る	59
CD を自動的に録音する	43	フィーリングプレイの設定	59
CD を手動で録音する	44	フィーリングプレイ対象外設定	60
CD の 1 曲目だけを自動的に録音する	44	オートモード設定	60
CD 以外のソースを録音する	45	学習クリア	61
録音設定	45	プレイリストやグループを作成する	62
録音時間 (CD 以外)	45	AnyMusic グループ、ATrac3 (PC) グループ、ALL グループについて	62
録音モード	46	ユーザーグループにプレイリストを作成する	62
無音検出	46	カスタマイズグループにプレイリストを作成する	63
ミュージックサーバーの聴きかた	47	プレイリストやグループ、トラックを編集する	65
グループ、プレイリスト、トラックについて	47	グループを編集する	65
再生する	47	グループの詳細情報を表示する	65
再生を一時停止する	48	グループ内のプレイリストを消去する	66
詳細情報を表示する	48	グループ内のプレイリストの再生順を変更する	66
表示画面を切り替える	49	カスタマイズグループを初期化する	67
いろいろな再生操作のしかた	49	プレイリストを編集する	67
リピート再生	49	プレイリストの詳細情報を表示する	68
ランダム再生	50	プレイリストのタイトルやよみを変更する	68
ダイジェストスキャン再生	50	プレイリストのアーティスト名を変更する	69
ヒットチャートプレイ	52	プレイリストのジャンルを変更する	69
ヒットチャートについて	52	プレイリストに画像を設定する	69
ヒットチャート順に再生する (ヒットチャートプレイ)	52	ユーザープレイリストにトラックを追加する	70
ヒットチャートのリスト画面について	53	プレイリストからトラックを消去する	70
カウントダウンとカウントアップを切り替える	54	ユーザープレイリストのトラック再生順を変更する	71
ヒットチャートプレイを中止して通常再生に戻る	54	トラックを編集する	71
チャート情報を更新する	54	タイトル情報を取得する	73
最新のヒットチャートを見る	55	タイトル情報について	73
リンクを付ける	55	取得できる情報	73
		NO TITLE 表示について	73
		タイトル情報を取得する	73
		マイデータベースの作成	74
		メモリーデバイスから楽曲を読み込む	75
		メモリーデバイスから楽曲を読み込む	75

ミュージックサーバーについて

ミュージックサーバー (MSV) とは

音楽 CD やラジオなどの音源を本機のハードディスクに録音していろいろな方法で再生できる機能です。ミュージックサーバーを楽しむには、まず CD などから音源を録音することから始めます。



- ミュージックサーバーには、CD 約 240 枚分の録音ができます。

録音できるメディアについて

録音方法と録音できるメディアおよびソースは次のとおりです。

■ナビゲーション本体で録音する場合

デジタル録音

- CD

アナログ録音

AVIC-VH009MD/VH009

- TV、AM、FM、TI (交通情報)、M-CD (マルチ CD)、AUX、MD (AVIC-VH009MD のみ)

AVIC-XH009/H009

- TV (AVIC-XH009 のみ)、AUX

PC からメモリーデバイス経由で転送^{※1}

- WMAファイル、MP3ファイル

※録音できないソース

- DVDビデオ、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX、DTV、VTR、iPod、EXT、AnyMusic



- AVIC-H009 の場合、組み合わせたテレビなどの音声は録音できません。

※録音できないメディア

- ROM やメモリーデバイスに保存されている WMA/MP3/AAC などの音楽データファイル^{※1}、DivX ファイル、コンバインドディスク、CD などからデジタル録音した記録媒体



- ※1: WMA/MP3/AAC などの音楽データファイルを記録した媒体 (CD-R やメモリーデバイスなど) から、ミュージックサーバーに直接録音することはできませんが、PC リンクソフト「ナビスタジオ Ver.2」を使用すると、メモリーデバイス経由で WMA/MP3 ファイルを転送することができます。

■リビングキットで録音する場合

アナログ録音

- AUX

PC から直接 HDD に転送

PC リンクソフト「ナビスタジオ Ver.2」
使用時

- WMA ファイル、MP3 ファイル

デジタルオーディオソフト「BeatJam
2006 for carrozzeria」使用時

- ATRAC3 ファイル



- 「ナビスタジオ Ver.2」は、WMA ファイルおよび MP3 ファイルをダイレクトに HDD へ転送することができます。
- 「BeatJam 2006 for carrozzeria」は、ATRAC3 以外の音楽ファイル (ATRAC3plus/WAVE/WMA/MP3) を ATRAC3 形式のファイルに変換して HDD へ転送することができます。

ミュージックサーバーに録音する

音楽用 CD などの音楽を、本機のハードディスクに録音することができます。

録音についてのご注意

録音する前にお読みください。

ご注意

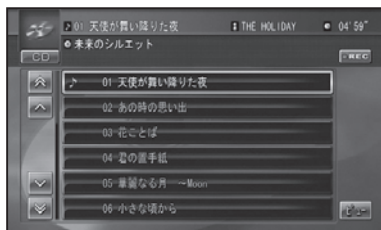
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

CD 録音の制限について

- 標準的な CD (44.1kHz、16 ビットステレオの PCM デジタル音声データ) 以外の CD からは録音できません。
- コピーコントロール CD の録音については保証していません。
- CD などをデジタル録音した記録媒体 (CD-R など) から、ミュージックサーバーに録音 (コピー) することはできません。また、ミュージックサーバーからメモリーデバイスにコピーすることもできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の動きによるものです。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ライブ CD などの曲間が途切れない CD を録音しているときにエンジンを停止したりして電源が OFF になった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。

タイトル表示について

内蔵の Gracenote 音楽認識サービス (CDDb) から情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができる場合があります。→「タイトル情報を取得する」(P73)
- CD 再生中画面や CD → MSV 録音中画面に表示されるタイトル情報は、ミュージックサーバーと共通のタイトル情報を使用しています。ミュージックサーバーでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が 1 曲以上ミュージックサーバーに録音されていないと編集できません。→「プレイリストを編集する」(P67)

CD を自動的に録音する

録音していない CD を再生すると、自動的にミュージックサーバー (MSV) への録音が始まります。

1 録音モードをオートにする (→ P46)

※出荷時は「オート」になっています。

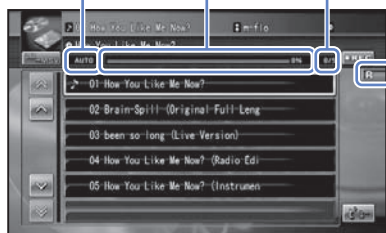
つづく→

2 録音したい CD を挿入する

自動的に録音が始まります。

CD → MSV (録音中画面)

「AUTO」表示
録音プログレスバー
録音済曲数
録音表示



- 録音が完了した曲のトラックタイトルに色が付きます。現在再生中の曲には♪マークが付きます。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生（ランダム再生など）はできません。選曲操作が必要な場合は、**REC** にタッチするかリモコンの **削除/字幕** を押して録音を中止してください。
- CD からの録音は 4 倍速で録音しています。録音中に再生している音はミュージックサーバーに録音された音になります。
- CD 録音中に他のソースを楽しむことができます。他のソースに切り替えても CD の録音は継続しています。
- CD からの録音中は、画面右上に **R** (赤) マークが表示されます。

CD を手動で録音する

CD の中から、好みの曲だけを録音することができます。

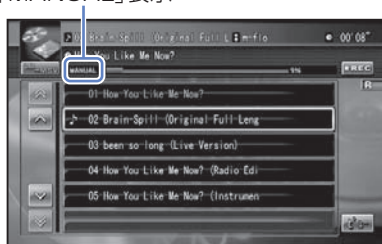
1 録音モードを**マニュアル**にする (→ P46)

※出荷時は「オート」になっています。

2 録音したい曲を再生する (→ P22)

3 **REC** にタッチする

「MANUAL」表示



再生中の曲は始めに戻って録音が始まります。録音が終了すると、CD 再生画面に切り替わります。

- リモコンの **削除/字幕** を押して操作することもできます。

CD の 1 曲目だけを自動的に録音する

CD の 1 曲目だけを録音することができます。シングル CD などを連続して録音するときに便利なモードです。

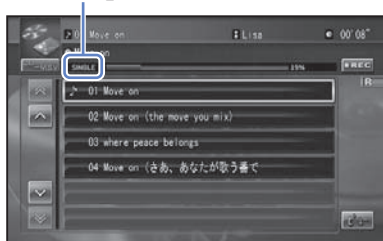
1 録音モードを**シングル**にする (→ P46)

※出荷時は「オート」になっています。

2 録音したい CD を挿入する

自動的に録音が始まります。

「SINGLE」表示



1 曲目の録音が終了すると、CD 再生画面に切り替わります。

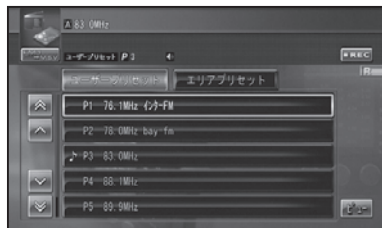
CD以外のソースを録音する

CD以外のソースを録音するときは、アナログ録音となります。

- アナログ録音の場合は、CDの録音と異なり、録音の開始と終了のタイミングは手動となります。
- 「録音時間」で設定された時間が経過すると、録音は自動停止します。
- DVDビデオ、DivX、ROM(WMA/MP3/AAC)、DTV、iPod、VTR、EXTソースは録音できません。

1 録音するソースに切り替える(→P12)

2 ●RECにタッチする



録音が始まります。

- リモコンの **●/削除 字幕** を押して操作することもできます。
- アナログ録音中は、画面右上に **R** (橙) マークが表示されます。
- 実際に録音が始まるまで数秒かかります。
- アナログ録音の場合、1回の操作で1つのプレイリストが作成されます。
- 「録音設定」の「無音検出」(→P46)を「ON」に設定しておく、無音箇所を検出し自動的にトラックを区切り、以降を新しいトラックとして作成します。
- 無音検出により作成されるトラックは、最大で99個までです。

3 □RECにタッチして録音を停止する

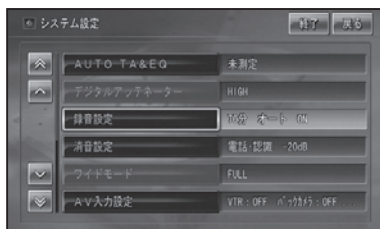
- リモコンの **●/削除 字幕** を押して操作することもできます。

録音設定

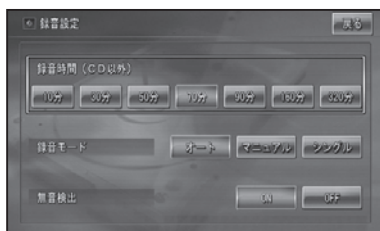
CDの録音モード(自動録音、手動録音)やCD以外のソースの録音時間、無音検出などの録音設定を行います。

- 録音中は設定できません。

1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定**→**録音設定**にタッチする



2 設定する



■録音時間 (CD 以外)

CD以外のソースをアナログ録音する場合の設定をします。設定された時間になると、録音は自動停止します。

工場出荷時は「70分」です。

- AVIC-H009では、録音時間の設定はありません。

10分、30分、50分、70分、90分、160分、320分から選んでタッチします。

録音モード

CD の録音モードを設定します。

工場出荷時は「オート」です。

オート	CD を再生すると、自動的に全ての曲を録音します。
マニュアル	録音したい曲を手動で選び、録音します。
シングル	CD の 1 曲目だけを自動的に録音します。

無音検出

MD、マルチ CD、AUX ソースのアナログ録音時に、2 秒間の無音箇所が検出された時点でトラックを区切り、その箇所以降を新しいトラックとして作成します。

工場出荷時は「ON」です。

ON	無音箇所を検出します。
OFF	無音箇所を検出しません。



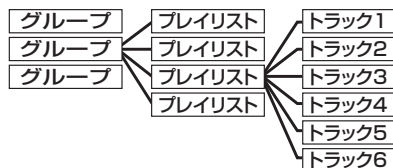
- 録音する曲によっては、曲の途中を終わりと判断したり、曲の終わりの判断ができない場合があります。

ミュージックサーバーの聴きかた

ハードディスクに録音した音楽は、ミュージックサーバー (MSV) というソースで聴きます。

グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの3つの階層で構成されています。



グループには以下のようなものがあります。

ALL グループ	オリジナルグループ、AnyMusicグループ、ATRAC3 (PC) グループの全てを再生・表示するグループです。2つ以上ある場合に表示されます。
オリジナル (録音/WMA/MP3) グループ	録音した曲データそのものが格納されているグループです。CDを1枚録音すると1つのプレイリストが作成されます。またWMA/MP3などのファイルをナビスタジオを経由して転送された場合も、プレイリストが作成されます。
AnyMusic グループ	エニーミュージックよりコンテンツを購入すると、自動的に作成されるグループです。
ATRAC3(PC) グループ	音楽ファイルをPC内のBeatJamを使用してパソコン経由で転送された場合に、自動的に作成されるグループです。
アーティストグループ	タイトル情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

ユーザーグループ	ユーザーが好みに応じて作成したお好みの曲順プレイリストが格納されているグループです。
カスタマイズグループ 1~5	ユーザーが好みに応じて作成したお好みのプレイリストが格納されているグループです。

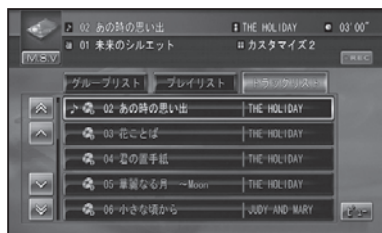
再生する

ミュージックサーバーに録音した曲を再生します。

1 [SRC]を押してソースをMSV (ミュージックサーバー) に切り替える (→ P12)

前回再生していたトラックリストが表示され、再生されます。

2 聴きたい曲 (トラック) にタッチする



オーディオコントローラーで操作する場合：

	プレイリストを順に送る
	トラックを順に送る
	早戻し / 早送り
(倒し続ける)	

つづく→



- **グループリスト**や**プレイリスト**のタブにタッチしてリストを切り替え、グループやプレイリストを選んで再生することもできます。
- 再生中のグループ、プレイリスト、トラックには、項目名の頭にマークが付きます。
- プレイリストおよびトラック名には項目名の頭に以下のマークが付きます。
 - : アナログ録音した曲
 - : PC から転送した楽曲データ
 - : BeatJam を使用して転送した楽曲データ
 - : エニーミュージックで購入した楽曲データ
- PC から転送した曲のプレイリストおよびトラックは、デジタル録音中は再生できません。
- AnyMusic や ATRAC3 (PC) の再生期限付きデータは、再生することができませんが、本機の日時が正しく設定されていない場合など、再生することができないことがあります。
- AnyMusic や ATRAC3 (PC) コンテンツにリンクした画像データがある場合は、再生画面に表示されます。
- パソコンと USB 接続すると、パソコンから転送した ATRAC3 の楽曲は表示されません。
- パソコンと USB 接続中は AnyMusic の楽曲再生はできません。
- 再生を中止するには、ソースを OFF にします。(→P13)

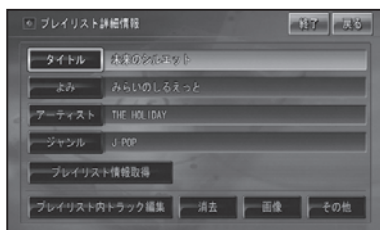
詳細情報を表示する

現在再生中のグループ、プレイリスト、トラックの詳細情報を見ることができます。

1 再生中の曲にタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 詳細情報 / 編集にタッチする



詳細情報 (タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなど) が表示されます。

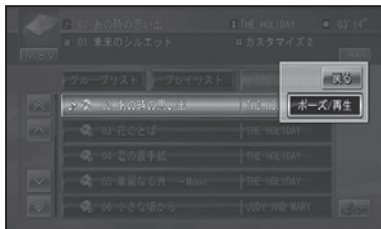
戻るにタッチすると、元の画面に戻ることができます。

再生を一時停止する

1 再生中の曲にタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポーズ / 再生にタッチする



ディスクの再生が一時停止します。

ポーズ / 再生にもう一度タッチすると、再生を再開することができます。



- タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなどを選ぶとそれぞれの編集画面が表示され、編集することができます。→「プレイリストやグループ、トラックを編集する」(P65)
- 詳細情報表示画面内に**その他**がある場合は、タッチすることで他の情報も表示することができます。

表示画面を切り替える

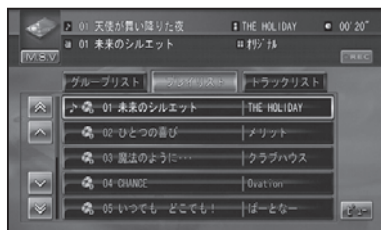
ミュージックサーバーの表示画面を切り替えることができます。

1 **ビュ**にタッチする

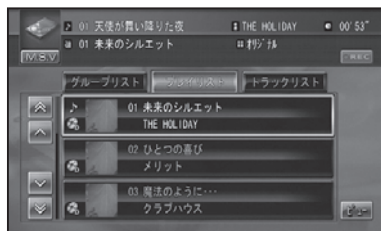
タッチすることにより、画面表示が以下のようになり切り替わります。

- リモコンの**ビュ**を押して操作することもできます。
- プレイリストに画像を設定しておくと、プレイリストおよびトラックリスト表示中に、通常リストを除き、設定した画像が表示されます。→「プレイリストに画像を設定する」(P69)
- ヒットチャートプレイおよびフィーリングプレイ再生中は、3行リストには切り替わりません。
- フィーリングプレイ再生中は、再生中のフィーリングに応じた画像が背景に表示されます。

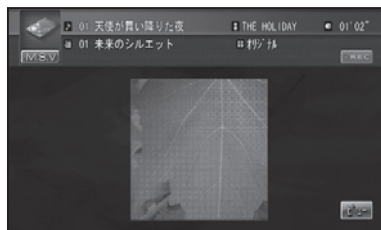
通常リスト画面



3行リスト画面



リストオフ画面



オールオフ画面



- リストオフ画面、およびオールオフ画面のときに画面にタッチすると、通常リストに戻ります。
- ATRAC3 (PC) の場合、3行リスト画面に表示される画像とリストオフ、オールオフ画面に表示される画像が異なる場合があります。
- オールオフ画面のときにリモコンの**ビュ**を押すと、通常リストに戻ります。

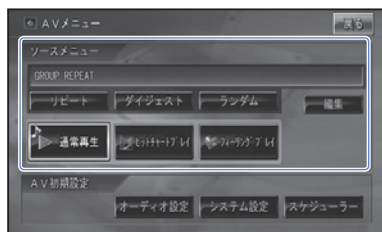
いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

AVメニューが表示されます。

2 機能にタッチする

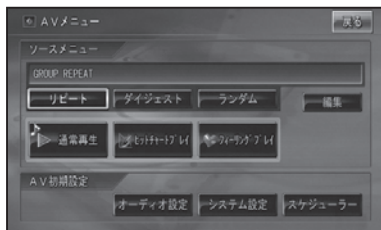


■ リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをTRACK REPEATにすると再生中のトラックを繰り返して聴くことができます。

つづく→

1 AVメニュー(→P49)で**リピート**にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

GROUP REPEAT → TRACK REPEAT → PLAYLIST REPEAT → 元に戻る

GROUP REPEAT	通常の再生状態です。再生中のグループを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
PLAYLIST REPEAT	再生中のプレイリストを繰り返します。

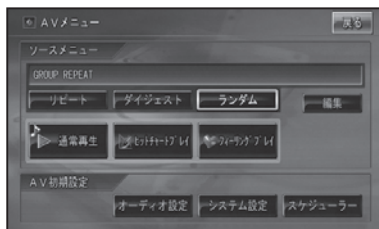


- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- TRACK REPEAT 再生中に、ランダム再生、ダイジェストスキャン再生を行うと、リピート範囲はPLAYLIST REPEATに切り替わります。
- ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたリピート再生をします。
- フィーリングプレイ再生中は、リピート再生できません。
- 通常再生である GROUP REPEAT は、ソースプレートに表示されません。

■ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

1 AVメニュー(→P49)で**ランダム**にタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。



- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、ランダム再生を ON にすると、リピートの範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り替わります。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたランダム再生をします。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生、ダイジェストスキャン再生など）やリピートの範囲を越える操作（プレイリストの切り替えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。
- 通常の再生リスト（→P47）から、グループやプレイリストを選んで再生している場合のランダム再生は、選んだグループまたはプレイリスト内で行われます。

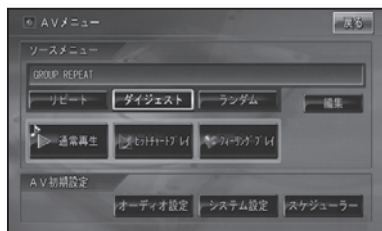
■ダイジェストスキャン再生

選んだリピートの範囲内で、各トラックや各プレイリストの先頭曲のハイライト部分を、約 15 秒間ずつ聴くことができます。



- ハイライト部分は、本機の曲調・ハイライト検出処理機能で検出します。検出できなかったトラックに関しては、演奏開始部分約 15 秒間を再生します。
- AnyMusic や ATRAC3 (PC) のコンテンツ、VBR 方式のファイルに対するダイジェストスキャンは先頭からの再生になります。

1 AVメニュー(→P49)で**ダイジェスト**にタッチする



タッチすることにより、ダイジェストスキャン再生の ON/OFF が切り替わります。

- 聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度**ダイジェスト**にタッチします。
- ダイジェストスキャン再生を始めたトラックまで戻ると、ダイジェストスキャン再生は解除されます。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたダイジェストスキャン再生をします。
- ダイジェストスキャン再生中にその他の再生やリピートの範囲を越える操作を行うと、ダイジェストスキャン再生が中止される場合があります。
- フィーリングプレイ再生中は、ダイジェストスキャン再生できません。

ヒットチャートプレイ

ヒットチャートプレイとは、ミュージックサーバーに録音されている曲をヒットチャート順に再生する機能です。

ヒットチャートについて

チャート情報は、本機のハードディスクまたは専用サーバーから取得することができます。また、画面でチャート情報を見ることができます。

ヒットチャートプレイ

年別のヒット曲	1996年～2005年までの最大100位までの年間チャート、タイアップ（テレビ、CMなど）別チャート (毎年1月15日更新)
最近のヒット曲	3ヶ月前までの発売日順のリスト(100曲まで) (毎月10日更新)

最新チャート表示

週間チャート	3週間前までの30位 (毎週水曜日更新)
月間チャート	3ヶ月前までの50位 (毎月10日更新)

※ヒットチャートの専用サーバーのデータベースへのアクセスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なく、その提供を中止することがあります。

- ヒットチャートはオリコンヒットチャートをもとに作成されています。
- 専用サーバーから取得したヒットチャート情報（年間チャート、最近のヒット曲、月間チャート3ヶ月分、週間チャート3週間分）は、ハードディスク内に保存されます。
- 専用サーバーから取得できるのは、チャート情報のみで、曲そのもののダウンロードはできません。
- ヒットチャートプレイは、タイトル情報取得で自動的にリンクされた曲のみ有効です。しかし、自動的にリンクされなかった場合は、自分でリンクを付けることができます。→「リンクを付ける」(P55)

- 2006年のチャート情報は、2007年以降にダウンロードできます。
- 年別のヒット曲は、最大10年分まで記憶しています。そのため、2006年のチャート情報を取得すると、1996年のチャート情報は削除されます。

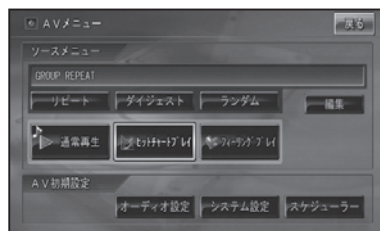
ヒットチャート順に再生する(ヒットチャートプレイ)

選んだヒットチャート順にしたがってミュージックサーバー内の曲が再生されます。



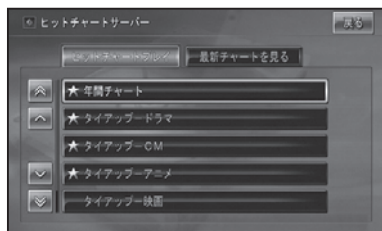
- 最新のヒットチャート情報は、通信で更新することができます。更新のしかたは「チャート情報を更新する」(→P54)を参照してください。
- BeatJamで転送した曲はヒットチャートプレイの対象となりません。
- AnyMusicコンテンツは、マニュアルでリンク付けされたものだけが、ヒットチャートプレイの対象となります。
- ATRAC3(PC)コンテンツは、ヒットチャートプレイできません。

1 **メニュー**を押し、**ヒットチャートプレイ**にタッチする



- ヒットチャート再生を解除（通常再生）するには、ソースメニューの**通常再生**にタッチします。(→P54)

2 ★マークの付いている項目にタッチする



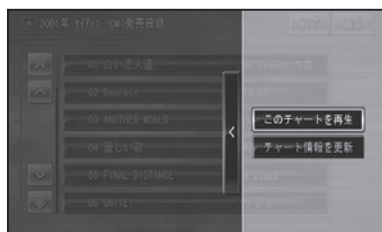
- チャート内に録音済み（再生可能）の曲がある場合のみ★マークが表示されます。
- **最新チャートを見る**にタッチすると、最新の週間、月間チャートを見ることができます。（→P55）

3 ★マークの付いているチャートにタッチする



- 走行中は、選んだヒットチャートで再生が始まり、通常操作画面が表示されます。

4 >-このチャートを再生にタッチする

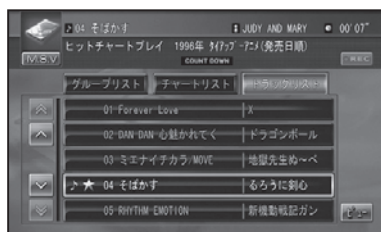


選んだチャートをカウントダウンしながら再生します。

- ★マークが表示されている曲を選び、**この曲から再生**にタッチすると、選んだ曲からチャートをカウントダウンしながら再生していきます。
- リスト中の曲を選び、**チャート情報**または**ディスク情報**にタッチすると、選んだ曲の情報を表示させることができます。

■ヒットチャートのリスト画面について

ヒットチャートの各リスト画面は、チャート種別、順位（「最近のヒット曲」、タイアップチャートは除く）、トラックタイトル、アーティスト名、チャート再生順を表示します。



再生できる曲がある場合は、★が表示されます。通常のミュージックサーバー同様リストから選曲できます。

オーディオコントローラーで操作する場合：

	次の年 / 前の年のヒットチャートを選びます。
	リスト内で前の曲 / 次の曲を選びます。

- 自動でリンク付けされたタイトルには★マーク、マニュアルでリンク付けしたタイトルには★マークが表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機能

オーディオ設定

システム設定

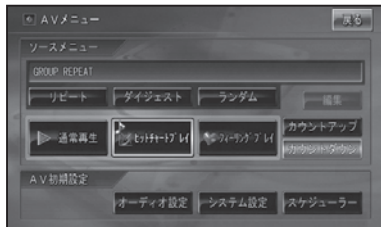
その他の機能

付録

■ カウントダウンとカウントアップを切り替える

ヒットチャートプレイ中に、チャートに沿ったカウントダウン（下位から上位へ）、カウントアップ（上位から下位へ）を切り替えることができます。

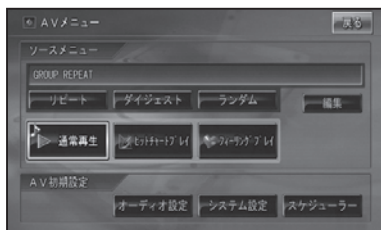
1 ヒットチャート再生中に **メニュー** を押し、**カウントアップ** または **カウントダウン** にタッチする



ヒットチャートプレイを中止して通常再生に戻る

ヒットチャートプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻します。

1 ヒットチャート再生中に **メニュー** を押し、**通常再生** にタッチする



通常再生に戻ります。

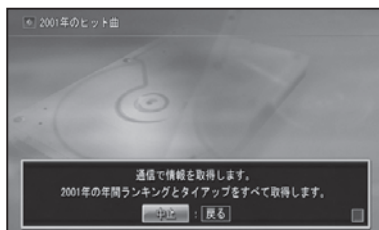
チャート情報を更新する

ヒットチャートの情報を更新します。
最近発売された CD などをヒットチャートプレイで再生するには、チャート情報を更新してください。

- ヒットチャート情報を更新するには、本機が専用サーバーに接続できる環境になっている必要があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「通信接続設定」をご覧ください。

1 ヒットチャートのトラックリストを表示する（→ P53）

2 一チャート情報を更新にタッチする



通信が開始されます。

ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

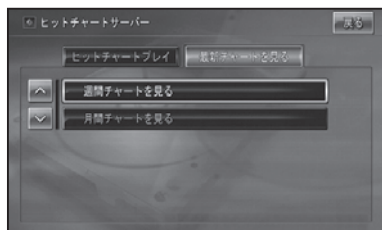
最新のヒットチャートを見る

専用サーバーから最新の週間、月間チャートをダウンロードして見るができます。



- ヒットチャート情報を更新するには、本機が専用サーバーに接続できる環境になっている必要があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「通信接続設定」をご覧ください。

1 **メニュー**を押し、**ヒットチャートプレイ**最新チャートを見るにタッチする



2 **週間チャートを見る**または**月間チャートを見る**にタッチする

3 **はい**にタッチする



ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

4 見たい週や月にタッチする

▼
チャートが表示されます。



リンクを付ける

ヒットチャートリンク情報はタイトル情報と一緒にダウンロードされますが、発売直後のCDなどは、リンク情報が更新されていない場合があります。そのような場合は、タイトル情報とのリンクをマニュアルで行います。



- BeatJam で転送した曲はヒットチャートプレイの対象となりません。
- エニーム्यूジックのコンテンツをヒットチャートプレイで再生したい場合も、以下の手順でリンク付けを行ってください。

1 リンク付けしたい曲をリスト表示する

2 曲名にタッチする

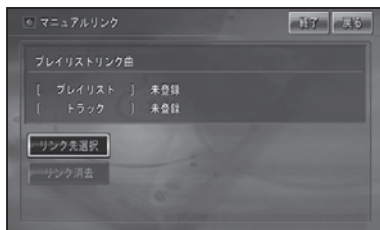


3 **マニュアルリンク**にタッチする



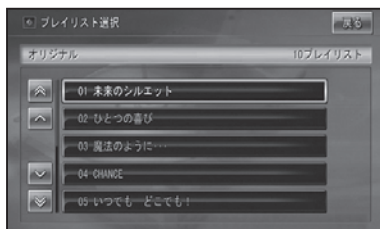
つづく→

4 リンク先選択にタッチする

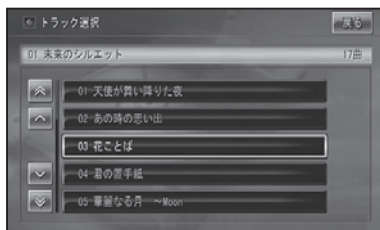


- エニーミュージックコンテンツが存在する場合は、マニュアルリンクグループを選ぶ画面が表示されます。
- リンク設定後に**リンク消去**にタッチすると、リンクを解除できます。

5 リンクする曲のプレイリストにタッチする



6 リンクする曲にタッチする



リンク付けが完了すると、手順 **4** の画面に戻ります。**終了**にタッチするとリンク付けを終了します。

- 1つのトラックに対して最大5件までのチャートをリンクさせることができます。
- この操作でリンク付けしたトラックが優先して再生されます。

フィーリングプレイ

お使いになるときの気分や車の走行状態などに合わせた曲を集めて、自動的に再生する機能です。

フィーリングプレイとは

録音時に抽出した曲の特徴（明るい、ノリがいい、静かな、かなしい、癒される）から、周りの環境（走行状態・天気・時間）に合った曲を本機が自動的に選曲したり、お客様が曲の特徴を選び、それに合った選曲で再生することができる機能です。また、最後まで聴いた曲を学習して、よりお客様好みの選曲をするよう成長していきます。

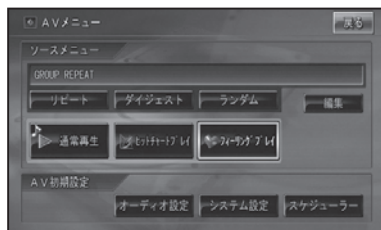
なお、以下の場合にはフィーリングプレイの選曲対象外となります。

- 音楽でないもの
- 1分以下の楽曲
- アナログ録音（→P45）されたもの
- エニーミュージックで購入した曲
- BeatJam で転送した曲

- フィーリングプレイ機能は、ポップスやロックなどの音楽に調節されています。
- フィーリングプレイで再生したくない場合は、対象外設定を行うことができます。（→P60）
- フィーリングプレイを解除（通常再生）するには、ソースメニューの**通常再生**にタッチします。（→P59）
- 表示されるトラックリストは、これまでの学習内容（曲を最後まで聴く / UNFIT）を考慮した上で、曲調にマッチする曲をランダムに並べたものです。
- オートモード時の「天気」は、ウェザーライブ（→『ナビゲーションブック』）による天候情報が取得されているときに考慮されます。
- 再生中の曲調に応じて背景が変化します。

プレイモード選択画面を表示する

- 1 **メニュー** を押し、**フィーリングプレイ** にタッチする



プレイモード選択画面が表示されます。

オートモードで再生する

走行状態や天気、現在の時間を考慮して、現在のシチュエーションに合った曲を自動的に選曲し再生します。

- 1 **メニュー** を押し、**フィーリングプレイ** オートモードにタッチする



つづく→

オートモードの操作画面が表示されます。

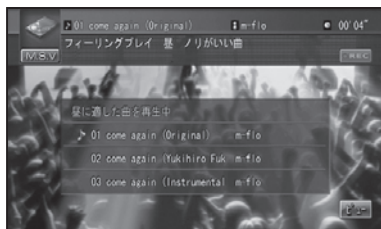


- 現在のシチュエーションに該当する曲がない場合は、フィーリングプレイ対象の曲をランダムに再生します。
- 再生される曲はマニュアルモードにおける学習を反映したものです。

■オートモードの操作画面について

オートモードの操作画面には、走行状態や天気、時間などで選曲された曲のリストが表示されます。

現在再生中の曲には♪マークが表示されます。



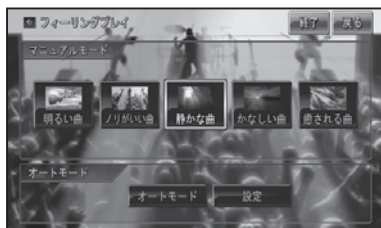
■マニュアルモードで再生する

フィーリング（明るい、ノリがいい…）からお好みの曲調を選べると、それに合った曲を自動的に選曲し再生します。

マニュアルモードでの再生操作は、基本的にミュージックサーバーと同様です。（→P47）

選べるプレイリストがフィーリングリストになります。

1 [メニュー] を押し、**フィーリングプレイ** 聴きたい曲調にタッチする



選んだ曲調の曲が再生され、マニュアルモード操作画面が表示されます。

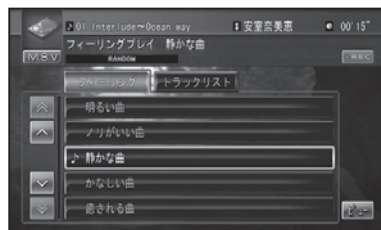


- 選んだ曲調に該当する曲がないときは、メッセージが表示されます。
- AVメニューで**ランダム**にタッチすると、再生順をランダムまたは曲調にマッチする順のどちらかに切り替えることができます（→P50）。

■マニュアルモードの操作画面について

マニュアルモードの操作画面には、フィーリング（リスト）とトラックリストの表示があります。

フィーリング（リスト）



リストには本機で選択できるジャンル（曲調）の名前が表示されます。

現在再生中の曲調には♪マークが表示されます。

表示されている曲調を選択すると、その曲調にマッチした曲が選択されます。

トラックリスト



リストには選曲した曲の情報（タイトル、アーティスト名）が表示されます。

現在再生中の曲調には♪マークが表示されます。

選曲した曲の曲調との一致度合いが右側のバーに表示されます。

トラックリストから選曲した場合は、その曲からリスト順に再生されます。
通常のミュージックサーバー同様リストから選曲できます。

オーディオコントローラーで操作する場合：

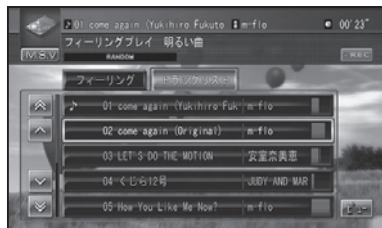


リスト内で前の曲 / 次の曲を選びます。

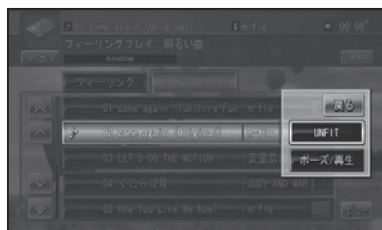
■再生曲が選択した曲調と合わないとき

再生している曲が選択した曲調と合わないときは、次の操作をすることにより本機に学習させることができます。

1 トラックリストを表示し再生中のトラックにタッチする



2 UNFIT にタッチする



再生している曲が選択した曲調と合わないと判断し、次回以降のトラックリスト作成に反映します。

再生は次のトラックに切り替わります。

フィーリングプレイを中止して通常再生に戻る

フィーリングプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻します。

1 フィーリングプレイ再生中に **メニュー** を押し、**通常再生** にタッチする



通常再生に戻ります。

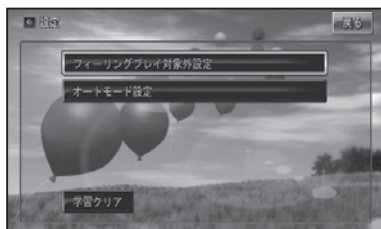
フィーリングプレイの設定

フィーリングプレイで再生したくないプレイリストがある場合、そのプレイリストをフィーリングプレイの対象外として設定することができます。また、オートモードの周りの環境に対する曲調を変更したり、学習値をクリアすることもできます。

1 **メニュー** を押し、**フィーリングプレイ設定** にタッチする



フィーリングプレイ設定画面が表示されます。



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

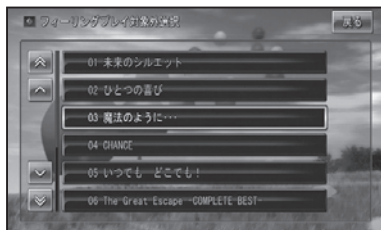
付録

■ フィーリングプレイ対象外設定

プレイリストをフィーリングプレイ対象から外すことができます。

1 フィーリングプレイ設定画面(→ P59)で**フィーリングプレイ対象外設定**にタッチする

2 対象から外すプレイリストにタッチする



選ばれたプレイリストには (禁止マーク) が付き、フィーリングプレイでは再生できなくなります。



- もう一度 (禁止マーク) の付いたプレイリストにタッチすると、設定した対象外設定は解除されます (禁止マークが消えます)。
- アナログ録音されたプレイリストは選ぶことはできません。
- 対象外の設定は、次にフィーリングプレイで再生するときから有効となります。

■ オートモード設定

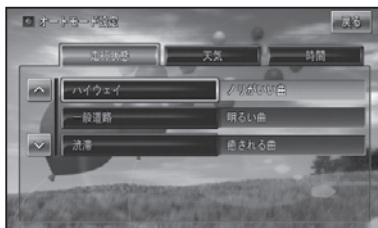
オートモード再生時の、周りの環境に適した曲調の設定を変更することができます。

1 フィーリングプレイ設定画面(→ P59)で**オートモード設定**にタッチする

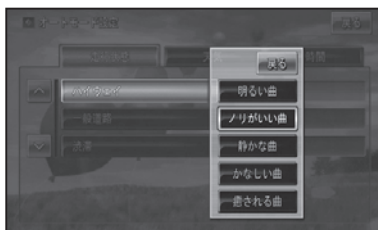
2 設定にタッチする



3 変更したい項目にタッチする



4 変更する曲調にタッチする





- 「走行状態」・「天気」・「時間」に適した曲調を設定できます。
- 手順 2 で**初期化**にタッチすると、設定した曲調を工場出荷時の状態に戻すことができます。工場出荷時の状態は以下のとおりです。

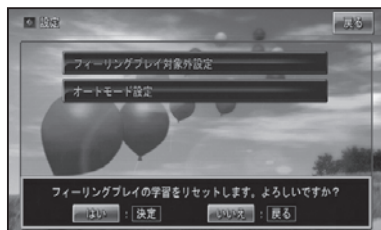
走行状態	ハイウェイ	ノリがいい曲
	一般道路	明るい曲
	渋滞	癒される曲
天気	晴れ	ノリがいい曲
	曇り	明るい曲
	雨	静かな曲
	雪	かなしい曲
時間	早朝	癒される曲
	朝	明るい曲
	昼	ノリがいい曲
	夜	静かな曲
	深夜	かなしい曲

学習クリア

本機がマニュアルモード (→ P58) により学習してきた学習値をクリアします。

1 フィーリングプレイ設定画面 (→ P59) で**学習クリア**にタッチする

2 **はい**にタッチする



▼
学習値をクリアします。

プレイリストやグループを作成する

プレイリストやグループを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番で再生することができます。

AnyMusic グループ、ATRAC3(PC)グループ、ALL グループについて

AnyMusic グループと ATRAC3 (PC) グループは、コンテンツデータを PC や LAN 経由でミュージックサーバーに登録すると、自動的にグループとして作成されます。

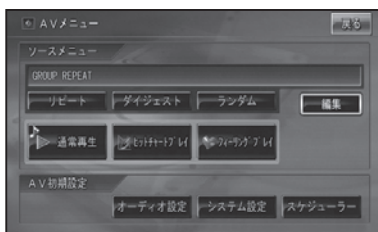
- プレイリストは、999 個まで登録できます。
- プレイリストは 999 個、1 つのプレイリストには 99 曲、最大 5000 曲までの制限をこえる ATRAC3 (PC) コンテンツは転送できません。
- 1 つのプレイリストには、99 曲（トラック）まで登録できます。
- AnyMusic のコンテンツデータは登録順に、ATRAC3 (PC) コンテンツデータは BeatJam からの転送結果に基づいてプレイリストが作成されます。
- ALL グループとは、オリジナルグループ、AnyMusic グループ、ATRAC3 (PC) グループを集約したグループです。
- プレイリストは ALL グループとして 999 個まで登録できます。（オリジナル、AnyMusic、ATRAC3 (PC) の合計です。）
- 登録できるトラック数は、ALL グループとして 5000 曲（トラック）まで登録できます。（オリジナル、AnyMusic、ATRAC3 (PC) の合計です。）
- 本機 HDD 上での、ALL グループが使用するデータ領域を変更することができます。→ [MSV 使用領域設定] (P120, 123)

ユーザーグループにプレイリストを作成する

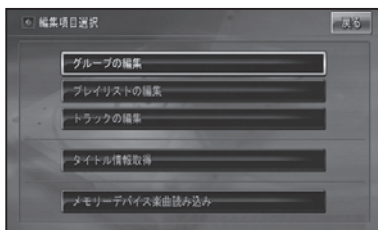
ミュージックサーバーに録音した曲から、曲を選んでプレイリストを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番で曲を再生することができます。作成したプレイリストはユーザーグループに保存されます。

- プレイリストは 99 個まで作成できます。
- 1 つのプレイリストには、99 曲（トラック）まで登録できます。
- ATRAC3 (PC) コンテンツデータは、ユーザープレイリストに登録できません。

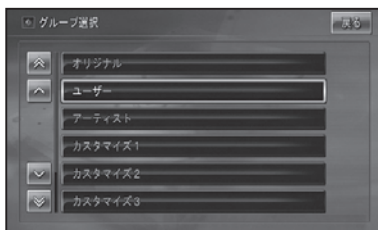
1 **メニュー** を押し、**編集** にタッチする



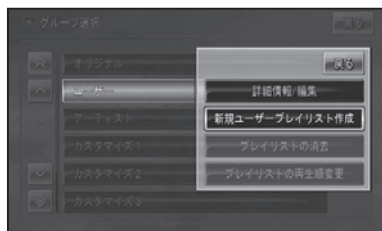
2 **グループの編集** にタッチする



3 **ユーザー** にタッチする



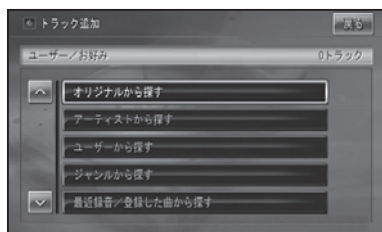
4 新規ユーザープレイリスト作成にタッチする



5 タイトルを入力し、入力終了にタッチする

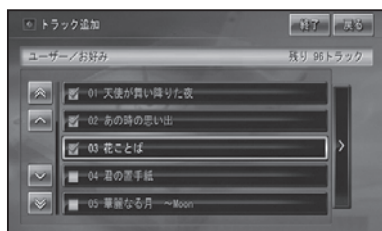


6 トラックを探す方法にタッチする



- 最近録音／登録した曲から探す以外を選んだ場合は、プレイリストやジャンルを順に選びます。

7 登録したいトラックにタッチする

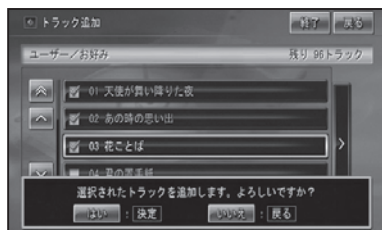


他のリストからもトラックを選びたい場

合は、戻るにタッチして手順 6 に戻り、他のリストからトラックを選びます。

- > にタッチしてサイドメニューを表示すると、全選択が表示され全ての曲を選択することができます。ただしリストに 100 曲以上ある場合は、選択できません。選択を解除するには、全解除にタッチするか解除したい曲にタッチします。

8 終了—はい—toタッチする



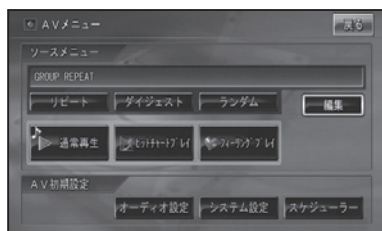
ユーザープレイリストが作成され、ユーザーグループに登録されます。

カスタマイズグループにプレイリストを作成する

ミュージックサーバー内のプレイリストを選んでグループを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番でプレイリストを再生することができます。作成したグループには好きな名前が付けられます。

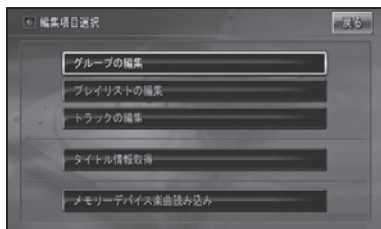
- グループは 5 個までで作成できます。
- 1 つのグループには、99 個までのプレイリストが登録できます。
- ATRAC3 (PC) プレイリストは、カスタマイズグループには登録できません。

1 メニューを押し、編集にタッチする

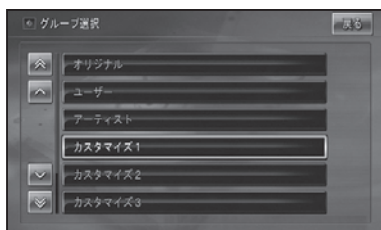


つづく→

2 グループの編集にタッチする

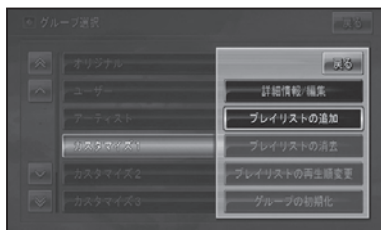


3 カスタマイズグループ 1～カスタマイズグループ 5のいずれかにタッチする

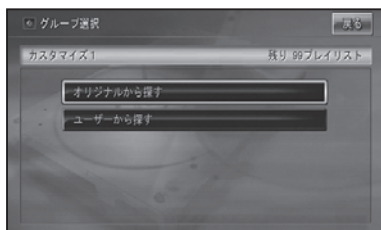


- カスタマイズグループ名(カスタマイズグループ 1～5)は、他の名称に変更することができます。→「グループを編集する」(P65)

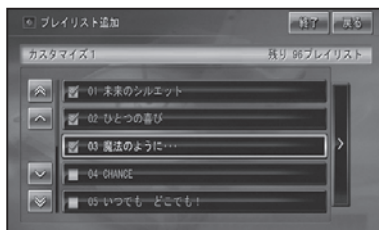
4 プレイリストの追加にタッチする



5 プレイリストを探すグループにタッチする



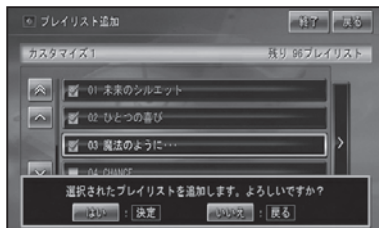
6 登録したいプレイリストにタッチする



他のグループからもプレイリストを選びたい場合は、**戻る**にタッチして手順 **5** まで戻り、他のグループからプレイリストを選びます。

- **>**にタッチしてサイドメニューを表示すると、**全選択**が表示され全てのプレイリストを選択することができます。ただしリストにプレイリストが 100 以上ある場合は、選択できません。選択を解除するには、**全解除**にタッチするか解除したいプレイリストにタッチします。

7 終了—はい—toタッチする



選んだプレイリストが追加され、カスタマイズグループに登録されます。

プレイリストやグループトラックを編集する

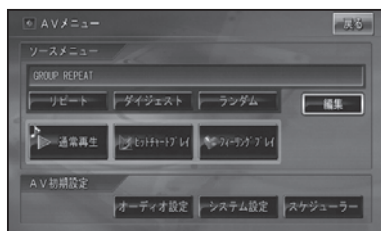
ミュージックサーバーに録音した曲やユーザーが作成したグループやプレイリストの編集や削除をすることができます。

グループを編集する

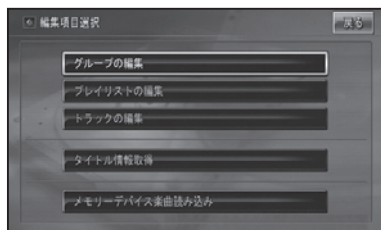
グループ内のプレイリストの消去や再生順の変更などを行います。

- カスタマイズグループ内のプレイリストは、直接編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されます。
- AT-RAC3 (PC) グループは編集できません。編集する場合は BeatJam をご使用ください。

1 **メニュー** を押し、**編集** にタッチする

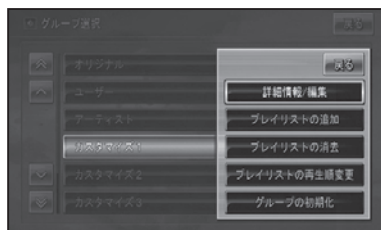


2 **グループの編集** にタッチする



3 **編集するグループ** を選ぶ

4 **編集したい内容** にタッチする



詳細情報 / 編集

グループの詳細情報の表示と名称やよみの編集ができます。

新規ユーザープレイリスト作成

ユーザーグループにユーザープレイリストを新規作成します。(→ P62)

プレイリストの追加

カスタマイズグループに、プレイリストを追加します。(→ P63)

プレイリストの消去

プレイリストを消去します。(→ P66)

プレイリストの再生順変更

プレイリストの再生順を変更します。(→ P66)

グループの初期化

カスタマイズグループのグループを初期化します。(→ P67)

- 選択したグループによって編集できる内容(表示される内容)は異なります。

■ **グループの詳細情報** を表示する

グループの詳細情報を表示します。カスタマイズグループを選んだときは、名称とよみの編集ができます。

1 前記手順 4 で **詳細情報 / 編集** にタッチする

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

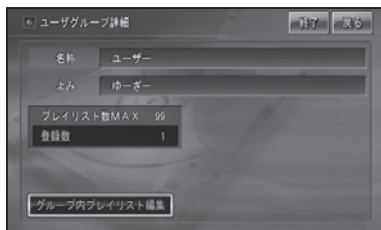
オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

2 詳細情報を確認する



グループ内プレイリスト編集 グループ内のプレイリストの編集ができます。
(→ P67)



- ・カスタマイズグループを選んだときは、**名称**または**よみ**にタッチするとそれぞれの内容を編集することができます。「よみ」は音声操作で再生するグループを呼び出すときに使われます。

■グループ内のプレイリストを消去する

オリジナル、AnyMusic ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストをそれぞれ消去します。

消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

オリジナルグループのプレイリスト	ユーザーが録音した曲データがプレイリストごと消去されます。
AnyMusic グループのプレイリスト	エニームュージックから購入した楽曲データがプレイリストごと消去されます。
ユーザーグループのプレイリスト	ユーザーが作成した曲順データがプレイリストごと消去されます。
カスタマイズグループ1～5のプレイリスト	ユーザーが作成したプレイリスト順データがプレイリストごと消去されます。

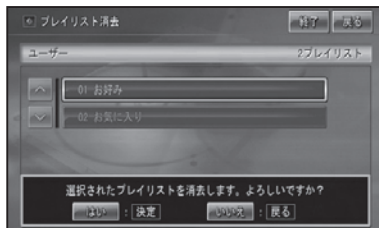


- ・アーティストグループはプレイリストを消去できません。
- ・ATRAC3 (PC) のプレイリストはBeatJamを使用するとデータを消去することができます。
- ・AnyMusic のプレイリストを消す前にバックアップしておくことをおすすめします。

1 P65 手順 4 でプレイリストの消去にタッチする

2 消去するプレイリストにタッチする

3 はいにタッチする



- ・オリジナルグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックおよびプレイリストがユーザーグループおよびカスタマイズグループ内で登録されていた場合は、そのトラックおよびプレイリストも同時に消去されます。

■グループ内のプレイリストの再生順を変更する

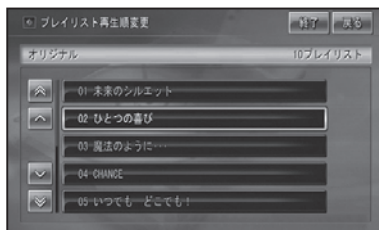
オリジナル、AnyMusic、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。



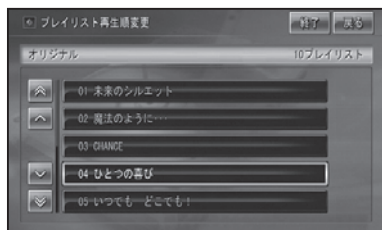
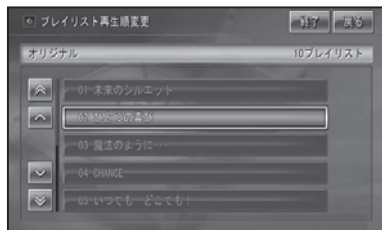
- ・ATRAC3 (PC)、アーティストグループは再生順を変更できません。

1 P65 手順 4 でプレイリストの再生順変更

2 順番を変更したいプレイリストにタッチする



3 ▲/▼にタッチして移動先を決め、もう一度プレイリストにタッチする



4 編集を終了する場合は終了にタッチする

- 戻るにタッチすると引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

■ カスタマイズグループを初期化する

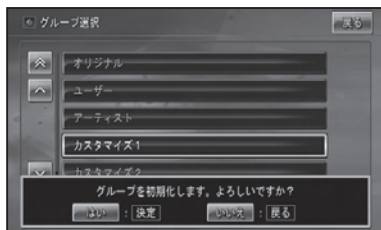
お好みで作成したカスタマイズグループは、初期化して全てのプレイリストを消去できます。

- カスタマイズグループ以外は初期化できません。

1 P65 手順 3 で初期化するカスタマイズグループ(1~5)にタッチする

2 P65 手順 4 でグループの初期化にタッチする

3 はいにタッチする

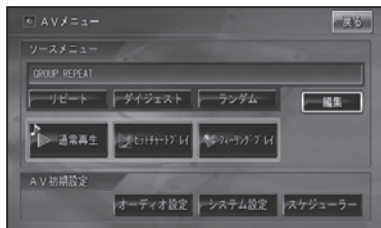


プレイリストを編集する

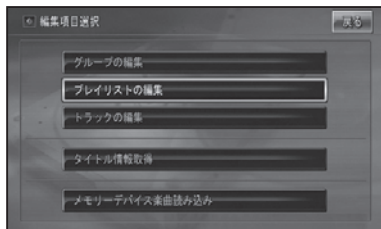
各グループに登録されているプレイリストの情報を編集します。また、プレイリストの再生順を変更したり、トラックの追加・消去を行うことができます。

- カスタマイズグループ内のプレイリストは、直接編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されます。

1 メニューを押し、編集にタッチする

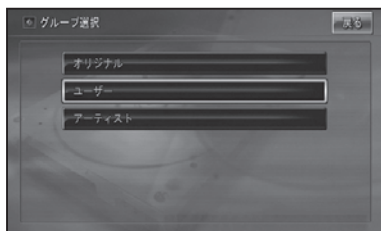


2 プレイリストの編集にタッチする

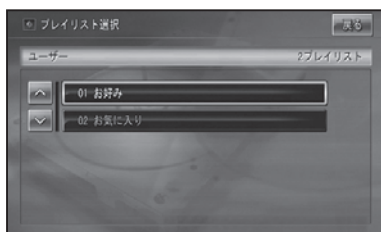


つづく→

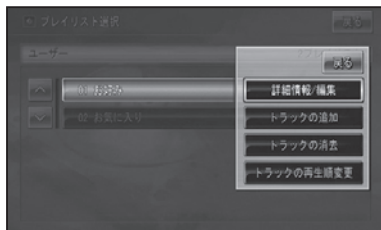
3 編集したいプレイリストが登録されているグループにタッチする



4 編集するプレイリストにタッチする



5 編集したい内容にタッチする



詳細情報 / 編集	プレイリストの詳細情報の表示とタイトルやよみなどの編集ができます。
トラックの追加	ユーザーグループのプレイリストに、トラックを追加します。(→ P70)
トラックの消去	オリジナルグループとユーザーグループ、AnyMusicグループのトラックを消去します(→ P70)。
トラックの再生順変更	ユーザーグループのトラックの再生順を変更します。(→ P71)

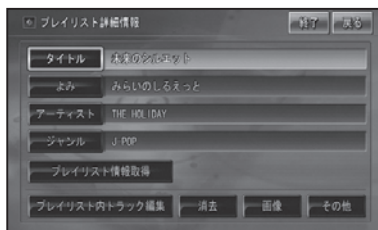
- 選択したグループやプレイリストによって編集できる内容(表示される内容)は異なります。

■プレイリストの詳細情報を表示する

プレイリストの詳細情報を表示します。この画面からタイトルやよみなどの編集ができます。

1 前記手順 5 で詳細情報 / 編集にタッチする

2 詳細情報を確認する



タイトル、よみ	プレイリストのタイトルとよみが変更できます。
アーティスト	プレイリストのアーティスト名が変更できます。
ジャンル	プレイリストのジャンルが変更できます。
プレイリスト内トラック編集	オリジナルプレイリストおよび AnyMusic プレイリストのトラック情報が変更できます。(→ P72)
消去	プレイリストを消去できます。
画像	プレイリストにオリジナル画像を設定できます。
その他	プレイリストの「再生時間」や「曲数」などの詳細情報が表示されます。



- 各項目の編集後は、プレイリスト詳細画面に戻ります。終了するときは、**終了**にタッチします。

■プレイリストのタイトルやよみを変更する

プレイリストのタイトルとよみを変更します。タイトルは表示用に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルはCD やミュージックサーバーの再生画面に表示されます。

1 プレイリスト詳細情報画面で タイトルまたはよみにタッチ する

2 文字を入力して入力終了にタッチする

プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

■プレイリストのアーティスト名 を変更する

オリジナルグループまたはユーザーグループ内のプレイリストのアーティスト名を変更します。

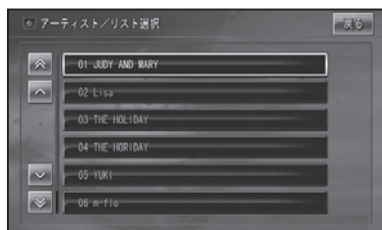
1 プレイリスト詳細情報画面で アーティストにタッチする

2 リスト選択にタッチする

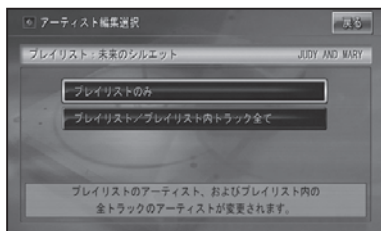


- **マニュアル**にタッチすると文字入力画面になり、文字が入力できます。
- **消去**にタッチするとアーティスト選択画面が表示され、消去するアーティストを選択できます。他のプレイリストにも登録されているアーティストは消去できません。

3 変更するアーティストにタッチする



4 編集方法にタッチする(オリジナルプレイリスト選択時のみ)



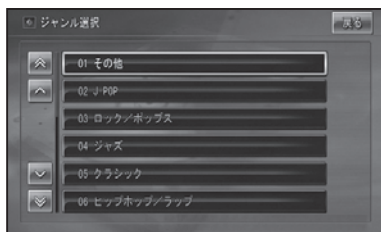
プレイリストのみ	プレイリストに表示されるアーティスト名のみを変更します。
プレイリスト / プレイリスト内トラック全て	プレイリストとプレイリスト内の全トラックで表示されるアーティスト名を変更します。

プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

■プレイリストのジャンルを変更する

1 プレイリスト詳細情報画面で ジャンルにタッチする

2 ジャンルにタッチする



プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

■プレイリストに画像を設定する

ミュージックサーバー再生時に、AVソース画面に画像を表示させることができます(プレイリスト画像リンク)。あらかじめ収録されている8つの画像以外に、スキャナーなどで取り込んだ画像をメモリーデバイス経由で読み込ませることができます。

つづく→

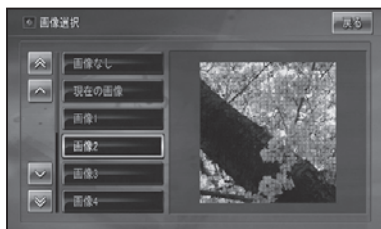


- AnyMusic のプレイリスト画像は、購入時に自動で付加されます。ATRA3 (PC) のプレイリスト画像は、BeatJam を使って付加することができます。
- PCリンクソフト「ナビスタジオ Ver.2」を使用すると、簡単にプレイリスト用画像を最適サイズに加工してメモリーデバイスに転送することができます。
- PCリンクソフトを使用しない場合は、次の形式の画像データを、メモリーデバイスに保存して本機にセットします。
 - 画像形式：JPEG
 - ファイル拡張子：.jpg
 - 推奨画像サイズ：400 × 400 ピクセル
 - 最大ファイルサイズ：300KB
 - 検索フォルダ：ルートディレクトリを含み 8 階層以内
 - 検索ファイル数：最大 200 (本機収録画像数を含む)
- 推奨画像サイズを越える画像の場合は、縦横比率を変えずに縮小表示されますが、読み込めない場合もあります。
- プログレッシブ JPEG には対応していません。
- 長いファイル名や特殊なコードを使ったファイル名は認識できない場合があります。

1 メモリーデバイスをセットする (→『スタートブック』)

2 プレイリスト詳細情報画面で 画像にタッチする

3 お好みの画像を選んで、画像名 にタッチする



選んだ画像が設定されます。

■ ユーザープレイリストにトラック を追加する

ユーザープレイリストには、トラックを追加することができます。



- オリジナルグループ、AnyMusic グループ、ATRA3 (PC) グループ、アーティストグループのプレイリストには追加できません。

1 P68 手順 5 でトラックの追加 にタッチする

以降は、「ユーザーグループにプレイリストを作成する」(P62) の手順 7 以降と同様です。

■ プレイリストからトラックを消 去する

オリジナルグループ、AnyMusic グループ、ユーザーグループのプレイリスト内のトラックを消去します。

消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

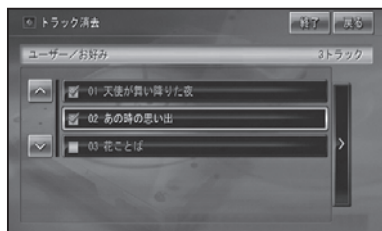
オリジナルグループ のトラック	ユーザーが録音した曲 データが消去されます。
AnyMusic グループ のトラック	エニーミュージックから 購入した曲 (トラック) が消去されます。
ユーザーグループの トラック	ユーザーが作成した曲順 データが消去されます。



- オリジナルプレイリストのトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがユーザーグループおよびカスタマイズグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。
- ATRA3 (PC) グループ、アーティストグループ、カスタマイズグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。
- AnyMusic のトラックは、消去する前にバックアップ (→ P136) をしておくことをおすすめします。

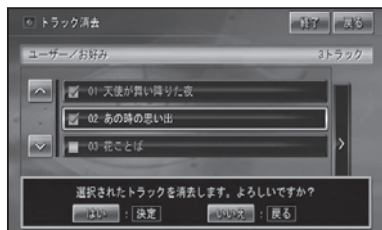
1 P68 手順 5 でトラックの消去 にタッチする

2 消去したいトラックにタッチする



- > にタッチしてサイドメニューを表示すると、**全選択**が表示され全ての曲を選択することができます。選択を解除するには、**全解除**にタッチするか解除したい曲にタッチします。

3 終了-はいにタッチする

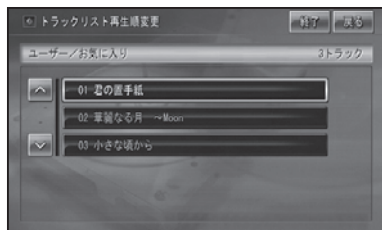


■ ユーザープレイリストのトラック再生順を変更する

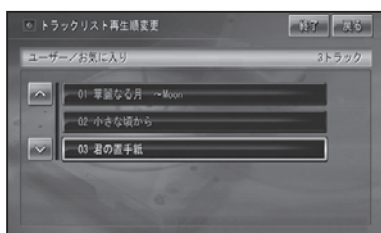
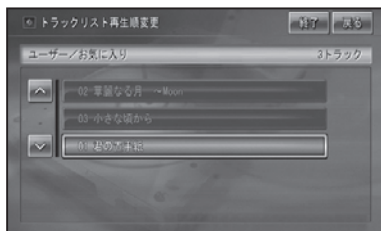
ユーザープレイリスト内のトラックの再生順を変更します。

1 P68 手順 5 でトラックの再生順変更 にタッチする

2 順番を変更したいトラックにタッチする



3 ▲/▼ にタッチして移動先を決め、もう一度トラックにタッチする

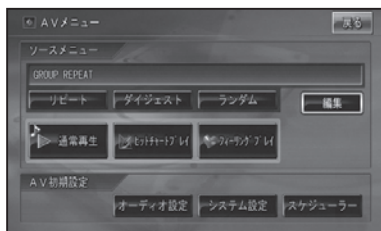


4 編集を終了する場合は終了にタッチする

トラックを編集する

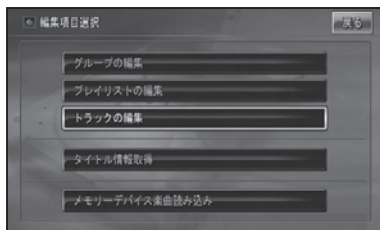
オリジナルプレイリストまたは AnyMusic プレイリストのトラックの詳細情報を編集します。プレイリストのトラックの内容を編集すると、ユーザープレイリストのトラックの内容も変更されます。

1 メニュー を押し、編集 にタッチする

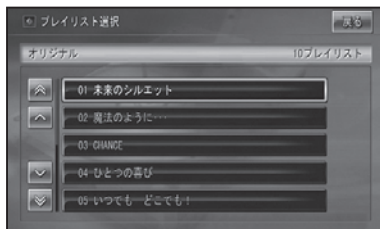


つづく→

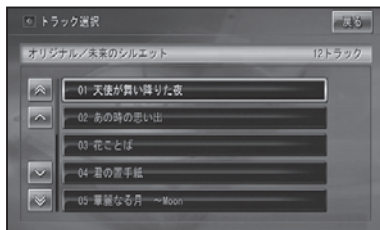
2 トラックの編集にタッチする



3 編集したいトラックが登録されているプレイリストにタッチする



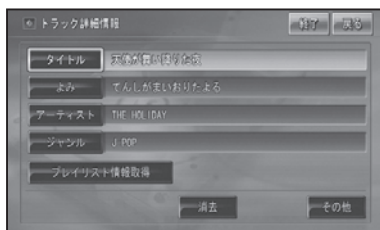
4 編集するトラックにタッチする



- プレイリスト詳細情報画面 (→ P68) から **プレイリスト内トラック編集** にタッチして、この画面を表示することもできます。

5 編集したい項目にタッチする

各項目の編集操作は、「プレイリストを編集する」(→ P67) とほぼ同様ですので、参照してください。



タイトル、よみ	トラックのタイトルとよみが変更できます。(→ P68)
アーティスト	トラックのアーティスト名が変更できます。(→ P69)
ジャンル	トラックのジャンルが変更できます。(→ P69)
プレイリスト情報取得	タイトル情報を取得できます。
消去	編集中のトラックを消去できます。
その他	トラックの「再生時間」、「録音 / 登録日時」、「録音ビットレート」などの詳細情報が表示されます。

タイトル情報を取得する

ハードディスク内の Gracenote 音楽認識サービス (CDDb) にタイトル情報が見つからなかったときは、専用サーバーやテキストファイルからタイトル情報を取得することができます。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CD やミュージックサーバーの再生画面などに表示されます。

取得できる情報

CD または曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティストのよみ
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのアーティストのよみ
- トラックのジャンル

- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- 専用サーバーから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で探すには、本機が専用サーバーに接続できる環境になっている必要があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「通信接続設定」をご覧ください。

NO TITLE 表示について

CD やミュージックサーバーの再生画面に「NO TITLE」と表示されたときは、次のことが考えられます。

- タイトル情報が見つからなかった
- タイトル情報が複数候補あった

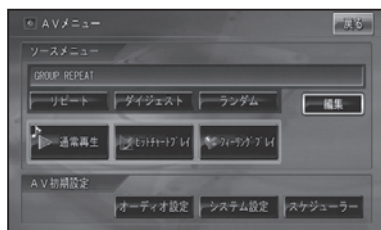
タイトル情報が複数候補あった場合は、タイトル情報の取得を行うと、複数のタイトルの中から選択することができます。

タイトル情報を取得する

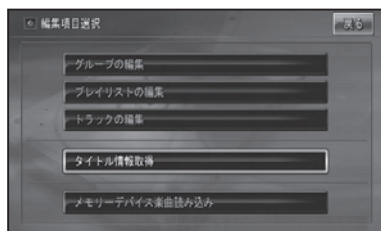
タイトル情報の取得は、まず本機の Gracenote 音楽認識サービス (CDDb) から検索され、該当する情報がなかった場合は、自動的に専用サーバーの Gracenote 音楽認識サービス (CDDb) に検索しに行きます。また、メモリーデバイスからタイトル情報を取得することもできます (マイデータベース)。

- プレイリスト詳細情報画面 (→ P68) やトラック詳細情報画面 (→ P72) の**プレイリスト情報取得**にタッチして情報を取得することもできます。

1 メニューを押し、編集にタッチする



2 タイトル情報取得にタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

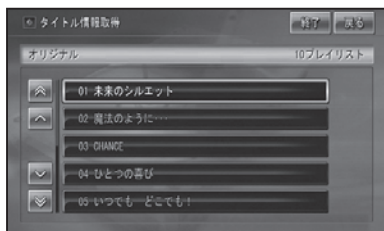
オーディオ設定

システム設定

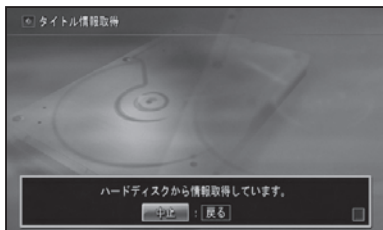
その他の機能

付録

3 情報を取得するプレイリストにタッチする

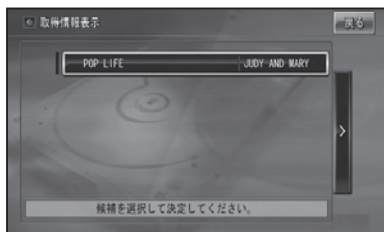


自動的に情報の探索が開始されます。



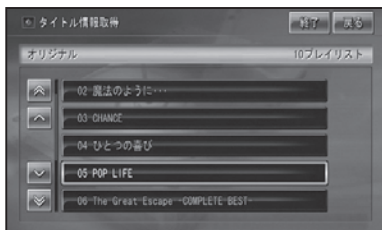
- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。
- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

4 タイトルにタッチする



- ▶通信で取得にタッチして通信でタイトルを再取得することができます。
- メモリーデバイス内にマイデータベース(→後記)がある場合は、タイトル候補の選択画面から曲数が一致しているタイトルを選ぶことができます。テキストファイルのタイトルは頭に📄が付きます。
- タイトル候補は、メモリーデバイス内のマイデータベースのタイトルを含め、最大105タイトルを表示できます。

5 終了にタッチする



■マイデータベースの作成

タイトル情報が見つからなかった場合は、PCリンクソフト「ナビスタジオ Ver.2」を使って簡単にタイトル情報(MSV my DB)を作成することができます。



- 専用ソフトを使うと、テキストエディターを使わずに簡単にマイデータベースを作成することができます。詳しくは、専用ソフトの説明書をご覧ください。

マイデータベースを読み込む

マイデータベースの保存されているメモリーデバイスをナビゲーション本体にセットし、タイトル情報の取得(→P73)を行います。タイトル候補の選択画面から曲数が一致しているタイトルを選ぶことができます。(マイデータベースのタイトルの頭に📄が付きます。)

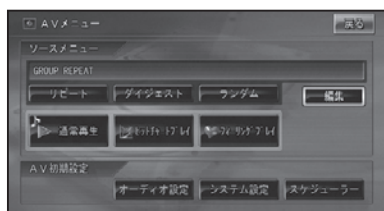
メモリーデバイスから楽曲を読み込む

PCリンクソフト「ナビスタジオ Ver.2」を使用すると、パソコンからメモリーデバイスを経由して音楽データ（WMA/MP3 ファイル）を転送することができます。

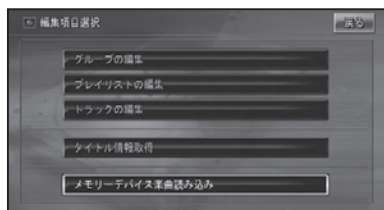
メモリーデバイスから楽曲を読み込む

PCリンクソフト「ナビスタジオ Ver.2」を使用してパソコンからメモリーデバイスに転送した音楽データをミュージックサーバーに読み込みます。読み込まれた音楽データは、オリジナルグループのプレイリストとして保存されます。

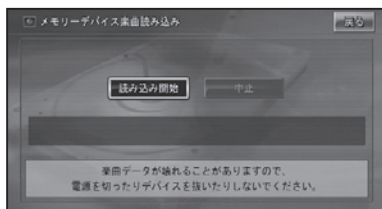
1 **メニュー** を押し、**編集** にタッチする



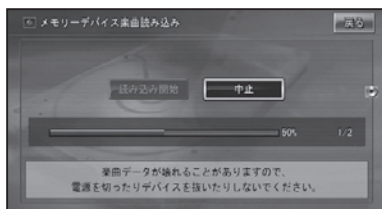
2 **メモリーデバイス楽曲読み込み** にタッチする



3 **読み込み開始** にタッチする



読み込み状況を示すバーが表示されます。



- 読み込み中は、エンジンを切ったり、かけたりしないでください。
- 読み込みが途中で中止された場合、すでに読み込みを完了したファイルのみがプレイリストとして保存されます。
- 読み込まれた音楽データには **WMA/MP3** マークが表示されます。
- VBR 形式の WMA ファイルは分秒がずれる場合があります。

オプション機器

地上デジタル TV チューナーの操作のしかた (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	78
地上デジタルテレビジョン放送を見る	78
アイコン一覧	78
地上デジタル放送の操作画面について	78
プリセットの種類を切り替える	79
放送局の手動記憶	79
物理チャンネルを切り替える	79
音声を切り替える	80
サービスリストから放送局を選ぶ	80
いろいろな操作のしかた	80
AV メニューを表示する	80
放送局の自動記憶 (チャンネルスキャン)	80
番組情報を取得する	80
リストを切り替える	81
機能設定を行う	81
設定内容の詳細	81

iPod の操作のしかた (AVIC-VH009MD/VH009)	83
再生する	83
聴きたい曲を探す	83
いろいろな再生操作のしかた	84
リピート再生	84
シャッフル再生	84

マルチ CD の操作のしかた (AVIC-VH009MD/VH009)	85
再生する	85
再生画面について	85
いろいろな再生操作のしかた	86
リピート再生	86
ランダム再生	86
スキャン再生	86
再生の一時停止	87
CD の音質を調節する	87
登録した曲だけを再生する	87
ITS を登録する	87
ITS で再生する	88
ITS の登録を消去する	88

エクスターナルユニットの操作のしかた (AVIC-VH009MD/VH009)	89
基本操作	89

ビデオなどを見る (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	90
ビデオなどの見かた	90

外部機器 (AUX) の音声を聞く (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	91
---	----

地上デジタルTVチューナーの操作のしかた

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

接続したパイオニア製地上デジタルTVチューナーを本機で操作することができます。



- ・地上デジタル TV チューナーは別売です。
- ・地上デジタル TV チューナーの画面の操作については、地上デジタル TV チューナーに付属の説明書をご覧ください。
- ・地上デジタルテレビジョン放送については、別添えの「地上デジタルテレビジョン放送について」をご覧ください。

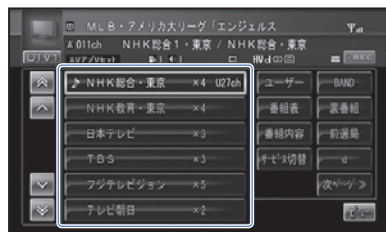
地上デジタルテレビジョン放送を見る

地上デジタルテレビジョン放送を受信します。

1 **[SRC]**を押してソースをDTV(地上デジタルTV)に切り替える(→P12)

AV ソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 放送局にタッチする



オーディオコントローラーで操作する場合：

	リストの放送局順に送ります。
	3桁チャンネルを順に送ります。
	物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)



- ・テレビのリスト画面は約8秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- ・受信をやめるには、ソースをOFFにします(→P13)。
- ・リモコンのモードスイッチを「DTV」に切り替えると、一部のボタンが地上デジタルTVの機能に切り替わります。(→「スタートブック」)

- ・本機に地上デジタルTVチューナー「GEX-P7DTV」を接続したときは、ユーザープリセットのプリセット番号のみのリストとなります(放送局名、番組タイトル、各種アイコンは表示されません)。また、表示されるタッチキーは、リスト画面では「BAND」と「サービス切替」、ソースメニューでは「スキャン」のみとなり、放送画面のタッチ操作はできません。本機で操作できない機能は、「GEX-P7DTV」に付属のリモコンで操作してください。

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがソースプレートに表示されます。

	2ヶ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り替え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV (ハイビジョン放送)
	SDT (標準画質放送)
	ワンセグ (1セグメント放送)
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

地上デジタル放送の操作画面について

地上デジタルテレビジョン放送の操作画面(AVソース画面)では、以下のような操作が行えます。

1 ページ目：

エリア または ユーザー	プリセットの種類 (→ P16) を切り替えます。
番組表	番組表を表示します。*
番組内容	番組内容を表示します。*
サービス切替	同じ放送局内のサービスを切り替えます。
BAND	バンド (DTV 1 ↔ DTV 2) を切り替えます。
裏番組	裏番組表を表示します。長くタッチすると、番組情報を更新します* (→ P 80)。
前選局	一つ前に視聴したサービスに切り替えます。
d	データ放送画面に切り替えます。*
次ページ>>	2 ページ目を表示します。

2 ページ目：

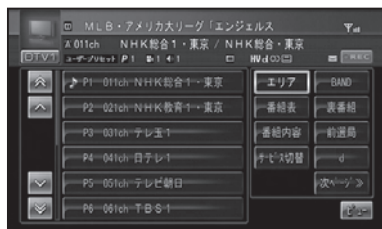
映像切替	番組に複数の映像 (マルチビュー) があるときに、切り替えます。*
字幕切替	複数の字幕がある場合、字幕を切り替えます。*
音声切替	番組に複数の音声があるときに、切り替えます。*
サービスリスト	サービスリストを表示します。
<<前ページ	1 ページ目を表示します。

※ これらの機能の詳細については、地上デジタル TV チューナーに付属の取扱説明書をご覧ください。

■ プリセットの種類を切り替える

ユーザーが記憶した放送局 (ユーザープリセット) を呼び出すか、ハードディスクに記憶されている自車位置付近の放送局 (エリアプリセット) を呼び出すかを選びます。

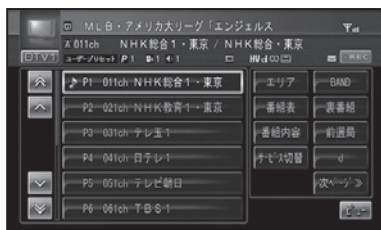
1 ユーザーまたはエリアにタッチする



■ 放送局の手動記憶

ユーザープリセットメモリにバンドごとに12局まで手動で記憶させることができます (マニュアルプリセット)。

- 1 ユーザープリセットにタッチする
- 2 本体またはリモコンで記憶させたい放送局を選ぶ
- 3 記憶させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする

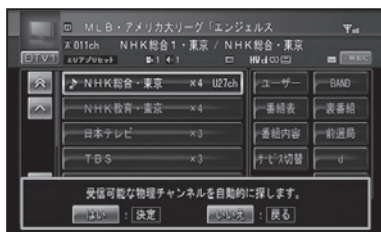


現在受信中の放送局が、選んだリストに記憶されます。

■ 物理チャンネルを切り替える

エリアプリセットで同じ放送局の別エリアのチャンネルが存在する場合は、放送局名の右側に「×2」などの物理チャンネル数が表示されます。次の操作で受信中の放送局の物理チャンネルを切り替えることができます

- 1 エリアプリセットに切り替える
- 2 受信中の放送局名にタッチし**はい**にタッチする



■ 音声を切り替える

番組に複数の音声があるときに、切り替えできます。

1 操作画面 2 ページ目の**音声切替**にタッチする

タッチするごとに次のように切り替わります。

- 複数の音声があるとき
第 1 音声 → 第 2 音声 → 第 3 音声 → 元に戻る
- 2ヶ国語放送 (2 重音声) のとき
主音声 → 副音声 → 主音声 + 副音声 → 元に戻る

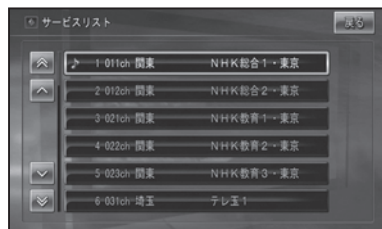


・本機と地上デジタルTVチューナーを光デジタルケーブルで接続している場合、「主音声」または「副音声」を選択しているときに「2ヶ国語放送」または「複数音声放送」を受信すると、スピーカーセッティングによってセンタースピーカーだけから音声が出力されたり、サブウーファーから音声が出力されない場合があります。この場合、2チャンネルモードに設定 (→ P94) すると、左右のスピーカーおよびサブウーファーから音声を出力させることができます。

■ サービスリストから放送局を選ぶ

1 操作画面 2 ページ目の**サービスリスト**にタッチする

2 受信したいサービスチャンネルにタッチする



いろいろな操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

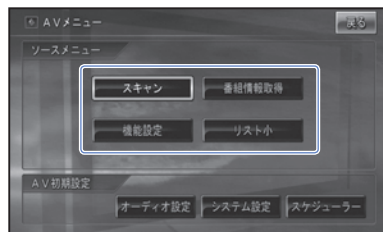
■ AVメニューを表示する

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューのソースメニューの中から機能を選びます。

1 **メニュー**を押す

AVメニュー画面が表示されます。

2 機能を選ぶ



■ 放送局の自動記憶 (チャンネルスキャン)

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザプリセットメモリとサービスリストに自動的に記憶させることができます。

1 AVメニューで**スキャン**に2秒以上タッチする



中止にタッチすると、スキャンを中止します。

■ 番組情報を取得する

番組情報を取得して、裏番組表を最新の状態にします。

1 AVメニューで**番組情報取得**に2秒以上タッチする



中止にタッチすると、取得を中止します。



- AVソース画面の**裏番組**(→P79)に長くタッチしても番組情報を取得できます。

■リストを切り替える

表示されるリストの大きさを切り替えます。

1 AVメニューで**リスト大**または**リスト小**にタッチする



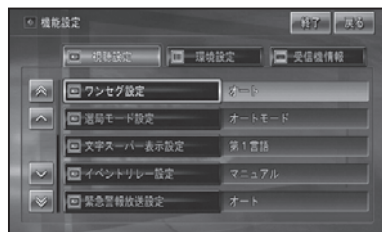
■機能設定を行う

地上デジタルテレビジョン放送を受信する際の機能を設定します。

機能設定には、視聴設定、環境設定、受信機情報メニューがあります。

1 AVメニューで**機能設定**にタッチする

2 メニューの種類(タブ)を選ぶ



視聴設定	[視聴設定] メニューが表示されます。
環境設定	[環境設定] メニューが表示されます。
受信機情報	[受信機情報] メニューが表示されます。

3 メニュー項目にタッチして設定を行う

■設定内容の詳細

【視聴設定】メニュー

青字は工場出荷時の設定です。

ワンセグ設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグを自動的に切り替えるか手動で切り替えるかを設定します。

「オート」

受信状況に応じて、通常の放送とワンセグを自動で切り替えます。

「マニュアル」

通常の放送とワンセグを手動で切り替えます。

選局モード設定

地上デジタル放送の受信モードを設定します。

「標準モード」

標準画質放送やハイビジョン放送だけを受信します。

「ワンセグモード」

ワンセグだけを受信します。

「オートモード」

全ての放送を受信します。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語と表示を設定します。

「第1言語」

第1言語で表示します。

「第2言語」

第2言語で表示します。

「OFF」

文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り替えるか、手動で切り替えるかを設定します。

「オート」

自動でチャンネルを切り替えます。

「マニュアル」

手動でチャンネルを切り替えます。

緊急警報放送設定

緊急警報放送が始まったときに、チャンネルを自動で切り替えるか、手動で切り替えるかを設定します。

「オート」

自動でチャンネルを切り替えます。

「マニュアル」

手動でチャンネルを切り替えます。

つづく→

【環境設定】メニュー

青字は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。

「マニュアル」 手動で地域を設定します。

※「BAND2」の工場出荷時は、「マニュアル」です。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。

「マニュアル」 手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

※「BAND2」の工場出荷時は、「マニュアル」です。

ダウンロード設定

放送波に含まれたデータをダウンロードして、本機内のデータや機能をバージョンアップするかどうかを設定します。

※ダウンロード中は、放送を見ることはできません。

「ON」 データをダウンロードします。

「OFF」 データをダウンロードしません。

番組名称情報取得設定

DTV 以外のソースのときに、自動的に最新の番組情報を取得 (→ P80) するかどうかを設定します。

「ON」 自動的に取得します。

「OFF」 自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで地上デジタル TV チューナーを手放すときに、地上デジタル TV チューナーに記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

※チャンネルおよび番組表、機能設定（視聴設定、環境設定）、データ連動放送のブックマークが消去されます。

「はい」 設定をクリアします。

「いいえ」 設定をクリアしません。

【受信機情報】メニュー

お知らせメッセージ

地上デジタル TV チューナーに送られてきたメッセージを表示します。

バージョン情報

地上デジタル TV チューナーのソフトウェアのバージョンや、B-CAS カードなどの情報を表示します。



・各機能の詳細につきましては、地上デジタル TV チューナーに付属の取扱説明書をご覧ください。

iPodの操作のしかた (AVIC-VH009MD/VH009)

本機に接続した iPod を操作することができます。

• 本機に iPod を接続するには、別売の iPod アダプター「CD-IB10 II」または「CD-IB10」が必要です。

再生する

1 [SRC]を押してソースを iPod に切り替える (→ P12)

前回再生していたトラックから再生されます。



曲を探す	選曲画面に切り替わります。
ポーズ / 再生	再生中の曲を一時停止したり、再生したりします。

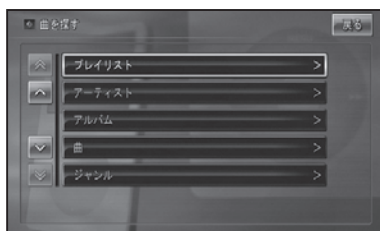
オーディオコントローラーで操作する場合：

	ソングアップ / ソングダウン
	早戻し / 早送り
(倒し続ける)	

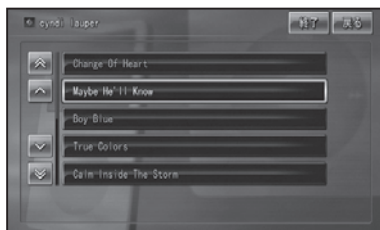
聴きたい曲を探す

1 再生画面で曲を探すにタッチする

2 カテゴリにタッチする



3 曲を絞り込み、聴きたい曲にタッチする



- 1 つ以上絞り込んだ後は、選択するリスト項目に長くタッチすると、絞り込んだ中の先頭曲を再生しながら次の画面に切り替わります。ただし、手順 2 でプレイリストを選択した場合は動作しません。
- iPod のリスト画面は約 30 秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**曲を探す**にタッチします。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サバーバック

オプション
機器

オーディオ
設定

システム
設定

その他の
機能

付録

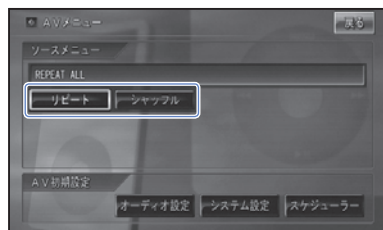
いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AV メニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

AV メニュー画面が表示されます。

2 機能を選ぶ



■ リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 AVメニューで**リピート**にタッチする

タッチするごとに、画面表示が以下のように切り替わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL



- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作 (REPEAT ONE 中の選曲操作など) を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

■ シャッフル再生

曲順を変えて再生することができます。

1 AVメニューで**シャッフル**にタッチする

タッチするごとに、画面表示が以下のように切り替わります。

OFF (表示なし) → SHUFFLE SONGS
→ SHUFFLE ALBUMS → 元に戻る



- シャッフル再生中にその他の操作 (リピート再生、早送り/早戻しなど) を行うと、シャッフル再生が中止される場合があります。

マルチCDの操作のしかた

(AVIC-VH009MD/VH009)

接続したマルチ CD プレーヤーを本機で操作することができます。

再生する

1 [SRC]を押してソースをM-CD (マルチ CD) に切り替える (→ P12)

ソースプレートとディスクリストが表示され、再生が開始されます。

2 聴きたいディスクにタッチする



- タッチ操作では、トラックの選択はできません。
- 再生を中止するには、ソースを OFF にします (→ P13)。

再生画面について

「CD TEXT」に対応しているマルチ CD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」再生中にソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- タイトルやアーティスト名は、半角、全角の混在はできません。
- 「CD TEXT」が収録されていない場合は、ソースプレートに「No Title」、「No Artist Name」と表示されます。
- 「CD TEXT」の内容はミュージックサーバーには反映されません。

オーディオコントローラーで操作する場合：

	ディスクを選択します
	トラックを選択します
	早戻し / 早送りになります (押し続ける)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

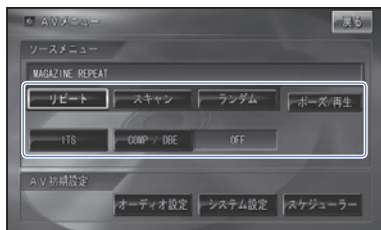
いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

AVメニュー画面が表示されます。

2 機能を選ぶ



■リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 AVメニューで**リピート**にタッチする

タッチすることにより、リピート範囲が以下のように切り替わります。

MAGAZINE REPEAT → TRACK REPEAT
→ DISC REPEAT → 元に戻る

MAGAZINE REPEAT	マガジン内の全てのディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。

- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作 (TRACK REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

■ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 AVメニューで**ランダム**にタッチする

タッチすることにより、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。

- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、ランダム再生を ON にすると、リピートの範囲は DISC REPEAT に切り替わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作 (リピート再生、スキャン再生など) やリピートの範囲を越える操作 (DISC REPEAT 中のディスクの切り替えなど) を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

■スキャン再生

選んだリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各ディスクの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。

1 リピート範囲を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

リピートの範囲を DISC REPEAT に指定します。
再生中のディスク内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、スキャン再生を ON にすると、リピートの範囲は DISC REPEAT に切り替わります。

聴きたいディスクを探すとき

リピートの範囲を MAGAZINE REPEAT に指定します。
マガジン内の全ディスクの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

2 AVメニューで**スキャン**にタッチする

タッチすることにより、スキャン再生の ON/OFF が切り替わります。

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはディスクが再生されたら、もう一度スキャンにタッチする

スキャン再生が OFF になり、選んだ曲が再生されます。

- スキャン再生中にその他の再生 (リピート再生、ランダム再生など) やリピートの範囲を越える操作 (DISC REPEAT 中のディスクの切り替えなど) を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

■再生の一時停止

1 AVメニューでポーズ / 再生にタッチする

▼
ディスクの再生が一時停止します。
もう一度**ポーズ / 再生**にタッチすると再生を再開することができます。

■CD の音質を調節する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。(デジタルコンプレッション)

- COMP/DBE 機能付きのマルチ CD プレーヤーを接続したときに操作できます。
- COMP とは、「Compression」の略で、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。
- DBE とは、「Dynamic Bass Emphasis」の略で、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 AVメニューでCOMP/DBEにタッチする

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

OFF → COMP1 → COMP2 → OFF → DBE1 → DBE2 → 元に戻る

- COMP、DBE とともに、1 より 2 のほうが効果が大きくなります。
- コンプレッション非対応のチェンジャーが接続されている場合は、**COMP/DBE**は選択できません。

登録した曲だけを再生する

聴きたい曲を登録しておき、登録した曲だけを再生する機能です。この機能を使うには、ITS メニューを表示させてから操作します。

- ITS とは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。
- 曲の登録は CD ごとに行われます。CD を入れ替えても、その CD の指定は消えません。
- CD 1 枚につき 99 曲まで登録することができます。(一部のマルチ CD プレーヤーでは 24 曲までになります。)
- ITS は、CD 100 枚分の登録ができます。(100 枚を超えたときは、いちばん古い CD から消去されます。)

1 [メニュー] を押し、[ITS] にタッチする



▼
ITS メニューが表示されます。





■ITS を登録する

聴きたい曲を登録します。

1 ITS登録したい曲のあるディスクを再生する

つづく→

- 2 ITS メニュー (→P87) で  または  にタッチして曲を選び、**1曲登録**にタッチする**



「登録しました。」のメッセージが表示され、曲が登録されます。以降、手順 **2** の操作を繰り返し複数の曲を登録します。

■ ITS で再生する

ITS登録された曲だけを検索して再生します。

- 1 ITS登録された曲のあるディスクを再生する**
- 2 ITSメニュー (→P87) で **ON** にタッチする**





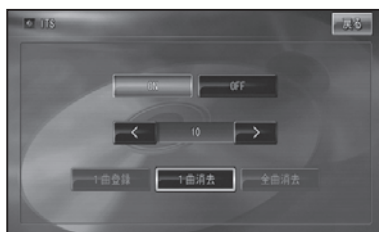
ITS登録された曲だけが順番に再生され、再生状態表示部に「ITS」と表示されます。

OFF にタッチすると通常の再生に戻ります。

■ ITS の登録を消去する

ITS 登録した曲を消去（解除）することができます。

- 1 ITS で再生する**
- 2  または  にタッチして消去する曲を選び、**1曲消去**にタッチする**



選んだ曲の ITS 登録が消去されます。



• **OFF** にタッチして ITS 再生 OFF にしてから **全曲消去** にタッチすると、再生中のディスク内の ITS 登録曲を全曲消去することができます。


エクスターナルユニットの操作のしかた

(AVIC-VH009MD/VH009)

本機では、地上デジタルTVチューナー、iPodアダプター、マルチCDプレーヤー以外のIPバス機器は、エクスターナルユニットとして扱われます。

- エクスターナルユニットは、最大2台まで接続することができます。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニット(マルチDVDプレーヤー「XDV-P9 II」など)を接続したときは、「システム設定」の「AV入力設定」でVTRを「EXT」に設定する必要があります。(→P117)

基本操作

- 1 **[SRC]**を押してソースをEXT1またはEXT2に切り替える(→P12)
- 2 オーディオコントローラー()または**[1]~[6]**で操作する(→操作例)



- 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合は、しばらくすると映像画面に切り替わります。操作画面を再表示させたい場合は画面にタッチするか、リモコンの**[決定]**を押してください。

1~6キーの操作

基本操作画面で**[1]~[6]**にタッチすると、接続機器に割り当てられた操作を行うことができます。



ファンクションキーの操作

基本操作画面で**[メニュー]**を押してAVメニューを表示すると、ファンクションキーの操作を行うことができます。(→操作例)



操作例

- 接続した製品によって、操作内容が異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。

マルチDVDプレーヤー「XDV-P9 II」の場合:

BAND/ESC	ディスク送り
1~6	ディスク番号選択
FUNCTION 1	表示切り替え
FUNCTION 2	一時停止、ランダム再生*
FUNCTION 3	スキャン再生
FUNCTION 4	リピート範囲切り替え
AUTO/MANU	モード切り替え

※ CD再生時に2秒以上タッチしたときの動作です。

ビデオなどを見る

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。



• ビデオなどの映像を見るためには、「システム設定」の「AV 入力設定」で VTR を「ON」に設定する必要があります。(→ P117, 122)

ビデオなどの見かた

ソースを VTR に切り替えて、ビデオなどの映像を見ます。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

1 **(SRC)**を押してソースを VTR に切り替える (→ P12)



ビデオなどの画面が表示されます。

外部機器 (AUX) の音声を聞く

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

本機にポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

- 「AVIC-VH009MD/VH009」の場合、RCA 音声入力端子 (AUX1) または IP-BUS 入力端子 (AUX2) に外部音声を入力できます。
- 「AVIC-VH009MD/VH009」の IP-BUS 入力端子に、RCA 出力の外部機器を接続するには、別売の RCA インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」が必要です。
- ナビゲーション本体または TV チューナーに外部機器を接続したときは、「システム設定」の「AV 入力」で AUX を「ON」に設定する必要があります。(→ P117, 122)

1 **[SRC]** を押してソースを AUX に切り替える (→ P12)



外部機器の音声が出力されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

オーディオ設定

オーディオ設定のしかた (AVIC-VH009MD/VH009)	94
チャンネルモードを切り替える	94
設定項目について	94
2 チャンネルモードのオーディオ設定	95
フェーダー / バランス	95
ソースレベルアジャスター	95
デジタルダイレクト	95
ダイナミックレンジコントロール	96
ダウン MIX	96
オートサウンドセッティング	96
サウンドセッティング (詳細設定)	96
マルチチャンネルモードのオーディオ設定	102
フェーダー / バランス	102
ソースレベルアジャスター	102
デジタルダイレクト	103
Dolby Pro Logic II	103
Neo: 6	104
ダイナミックレンジコントロール	105
ダウン MIX	105
オートサウンドセッティング	105
サウンドセッティング (詳細設定)	106
車に合わせて音場を自動で補正する (AUTO TA&EQ) (AVIC-VH009MD/VH009)	112
AUTO TA&EQ を行う前に	112
スピーカー破損防止について	112
AUTO TA&EQ 機能について	112
AUTO TA&EQ を行う前にお読みください ..	112
AUTO TA&EQ の調節内容について	113
AUTO TA&EQ の設定方法	113

オーディオ設定のしかた (AVIC-VH009MD/VH009)

本機では、スピーカーの数やお好みに合わせて、2チャンネルモードとマルチチャンネルモードの設定を行うことができます。

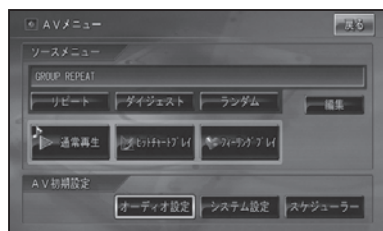
チャンネルモードを切り替える

本機は、お好みに応じて2チャンネルモードとマルチチャンネルモードを選ぶことができます。オーディオ設定も、それぞれのモードごとに行います。

1 AVソース画面で「メニュー」を押す

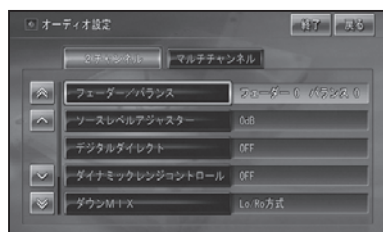
AVメニューが表示されます。

2 オーディオ設定にタッチする



オーディオ設定画面が表示されます。

3 2チャンネルまたはマルチチャンネルにタッチする



選んだモードに切り替わり、モードごとの設定画面が表示されます。

4 各項目にタッチし、設定を行う



- オーディオ設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあった場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- 走行中は操作できない設定項目があります。

■ 設定項目について

2チャンネル、マルチチャンネルの各モードの設定項目は、以下のとおりです。

2チャンネルモード

フロントとリアそれぞれ同じ音 (L/R 2ch) で鳴らすモードです。

- フェーダー / バランス (→ P95)
- ソースレベルアジャスター (→ P95)
- デジタルダイレクト (→ P95)
- ダイナミックレンジコントロール (→ P96)
- ダウン MIX (→ P96)
- オートサウンドセッティング (→ P96)
- 詳細設定 (→ P96)

マルチチャンネルモード

フロント、リアそれぞれのスピーカーごとの音で鳴らすことができるモードです。DVDなどのマルチチャンネルの音源を臨場感豊かに再生することができます。

- フェーダー / バランス (→ P102)
- ソースレベルアジャスター (→ P102)
- デジタルダイレクト (→ P103)
- Dolby Pro Logic II (→ P103)
- Neo : 6 (→ P104)
- ダイナミックレンジコントロール (→ P105)
- ダウン MIX (→ P105)
- オートサウンドセッティング (→ P105)
- 詳細設定 (→ P106)



- フェーダー / バランス、ソースレベルアジャスター、ダイナミックレンジコントロール、ダウン MIX の設定は、2つのモードに共通の設定となります。

2 チャンネルモードのオーディオ設定

2 チャンネルステレオオーディオを楽しむ場合の調整を行うことができます。「チャンネルモードを切り替える」で2チャンネルモードに切り替えてから設定します。

■フェーダー / バランス

前後左右の音量バランスを調節することができます。

1 2チャンネルモードで**フェーダー / バランス**にタッチする

2 **▲、▼、◀、▶**にタッチして前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右のバランスを確認できます。

- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。

■ソースレベルアジャスター

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の差をそろえることができます。工場出荷時は「0dB」です。

- FMの音量を基準に他のソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX、マルチCD
 - AM、交通情報
 - EXT1、EXT2

1 2チャンネルモードで**ソースレベルアジャスター**にタッチする

2 **+**または**-**にタッチする



- -14dB ~ +14dB の範囲で 2dB ごとに調節できます。
- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

■デジタルダイレクト

調節した各設定内容に影響されない、オリジナルの音質で聴くことができます。調節したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

工場出荷時は「OFF」です。

1 2チャンネルモードで**デジタルダイレクト**にタッチする

2 **ON** または **OFF** にタッチする



- | | |
|------------|---------------------------------------|
| ON | 強制的にマルチチャンネルモードに移行し、デジタルダイレクト機能が働きます。 |
| OFF | 現状を維持します。 |

- ON に設定すると、音量調整、Dolby Pro Logic II、Neo: 6 以外の設定はできません。
- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

■ ダイナミックレンジコントロール

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げた楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。工場出荷時は「OFF」です。

- ダイナミックレンジコントロールの効果を得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

1 2チャンネルモード(→P94)でダイナミックレンジコントロールにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

■ ダウン MIX

マルチチャンネル音声を2チャンネルにダウンミックスして再生することができます。工場出荷時は「Lo/Ro」です。

1 2チャンネルモード(→P94)でダウンMIXにタッチする

2 Lo/Ro または Lt/Rt にタッチする



Lo/Ro	サラウンド成分を復元(デコード)できるようにダウンミックスします。
Lt/Rt	オリジナルの音声サラウンド成分を含まないようなチャンネルモードをステレオミックスします。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

■ オートサウンドセッティング

AUTO TA&EQ (→P112) の測定結果を、有効にします。

- AUTO TA&EQ (→P112) を行っていない場合は、操作できません。

1 2チャンネルモード(→P94)でオートサウンドセッティングにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

■ サウンドセッティング(詳細設定)

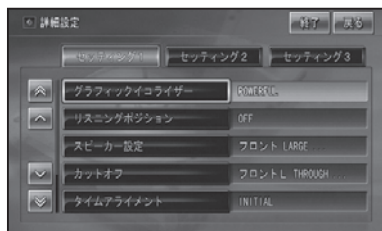
3パターンの設定を記憶することができます。

- オートサウンドセッティング(→前記)をONにしている場合は、詳細設定を行うことができません。

セッティングパターンを切り替える

1 2チャンネルモード(→P94)で詳細設定にタッチする

2 セッティング1～セッティング3にタッチする



選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。

詳細設定の項目

詳細設定の項目は、以下のとおりです。

- グラフィックイコライザー
- リスニングポジション (→ P98)
- スピーカー設定 (→ P99)
- カットオフ (→ P99)
- タイムアライメント (→ P100)
- スピーカー出力レベル (→ P101)
- オートイコライザー (→ P102)

CUSTOM メモリーについて

各設定画面で**メモリー**にタッチしたときや、設定値を変更した後に画面を終了した時に表示される「メモリー選択画面」で、設定値を「CUSTOM1」～「CUSTOM3」に記憶しておくことが可能です。



選んだ CUSTOM 番号に記憶されます。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

グラフィックイコライザー

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調節した設定（CUSTOM）からイコライザーカーブを選ぶことができます。
工場出荷時は「POWERFUL」です。

- 設定した調節値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 詳細設定の項目画面でグラフィックイコライザーにタッチする

2 お好みの設定にタッチする



タッチすることにより、イコライザーカーブが切り替わります。

POWERFUL、NATURAL、VOCAL、FLAT、SUPER BASS	選んだファクトリーカーブが表示されます。
CUSTOM1、CUSTOM2、CUSTOM3	お好みに合わせて調節した設定が表示されます。
メモリー	CUSTOM1 ～ 3 の選択画面に切り替わります。
詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。
LAST MEMORY	詳細設定で、設定途中だった場合の値を表示します。

- **FLAT** は何も補正しません。
- **詳細設定** にタッチすると CUSTOM 用のグラフィックイコライザーカーブ詳細設定に切り替わります。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、周波数ごとにさらに細かく補正することができます。
補正した値は、CUSTOM1～3に記憶することができます。
イコライザーの値を補正した場合は LAST MEMORY に自動的に記憶されます。

1 補正したいファクトリーカーブにタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 補正する周波数を選び、▲または▼にタッチしてレベルを補正する



50Hz、80Hz、125Hz、200Hz、315Hz、500Hz、800Hz、1.25kHz、2kHz、3.15kHz、5kHz、8kHz、12.5kHz から周波数を選べます。

- ±0 を基準に ±6 段階の範囲で調節ができます。
- 交通情報を受信しているときは、調節できません。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。

4 戻るにタッチする

確認のメッセージが表示されます。

5 はいにタッチする

メモリー番号選択画面が表示されます。

6 登録したい CUSTOM 番号にタッチする



選んだ CUSTOM 番号に補正値が記憶されます。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 詳細設定の項目画面(→P97)でリスニングポジションにタッチする

2 お好みのポジションにタッチする



フロントR	右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。
フロントL	助手席の同乗者のみに出力したいときに切り替えます。
フロント	同乗者が助手席にいるときに切り替えます。
オール	同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。



- ポジションが選ばれていないときは、OFF になります。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。
- 選択中のポジションに再度タッチすると、OFF になります。

スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100Hz 以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

1 詳細設定の項目画面 (→P97) でスピーカー設定にタッチする

2 各項目の、◀または▶にタッチして設定する



タッチすることにより、以下のように切り替わります。

CUSTOM1	CUSTOM1 → CUSTOM2 → CUSTOM3 → LAST MEMORY → 元に戻る
フロント	SMALL ↔ LARGE
リア	OFF ↔ SMALL ↔ LARGE
サブウーファー	OFF ↔ ON



- **AUTO** は、AUTO TA&EQ を行っていないと、切り替わりません。(→P112)
- **LAST MEMORY** は、設定中の値をCUSTOM1～3のいずれかに記憶していないときのみ切り替わります。
- 接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。

- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。
- 必要に応じて、**CUSTOM 1**、**CUSTOM 2**、**CUSTOM 3** をタッチで切り替えてください。

カットオフ

各スピーカーから出力される音の設定を行うことができます。

1 詳細設定の項目画面 (→P97) でカットオフにタッチする

2 各項目の、◀または▶にタッチして設定する



タッチすることにより、以下のように切り替わります。

CUSTOM1	CUSTOM1 → CUSTOM2 → CUSTOM3 → LAST MEMORY → 元に戻る
スピーカー	フロントL ↔ フロントR ↔ リアR ↔ リアL ↔ サブウーファー
周波数	50Hz ↔ 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz
スロープ	-18dB ↔ -12dB ↔ -6dB ↔ 0dB (サブウーファー選択時)
ミュート	OFF ↔ ON
PHASE	REVERSE ↔ NORMAL
メモリー	CUSTOM1～3の選択画面 に切り替わります。

つづく→



- **AUTO** は、AUTO TA&EQ を行っていないと、切り替わりません。(→P112)
- **LAST MEMORY** は、設定中の値をCUSTOM1～3のいずれかに記憶していないときのみ切り替わります。
- スピーカー設定で「OFF」にしているスピーカーは設定できません。また、スピーカー設定で「LARGE」に設定しているスピーカーは、周波数とスロープの設定ができません。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。
- サブウーファーの位相は、車内条件により、サブウーファーから出力される周波数帯域が、フロント/リアのスピーカーから出力される周波数帯域と打ち消し合ってしまう、聞き取りにくくなるような場合は、位相を逆にすることで聞き取りやすくすることができます。
- 必要に応じて、**CUSTOM 1**、**CUSTOM 2**、**CUSTOM 3** をタッチで切り替えてください。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。工場出荷時は「INITIAL」です。

1 詳細設定の項目画面(→P97)で**タイムアライメント**にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



INITIAL	距離補正をしません。 OFF ↔ INITIAL
AUTO TA	AUTO TA&EQ で作成されたタイムアライメントの設定に切り替えます。 OFF ↔ AUTO TA
CUSTOM 1 ~ CUSTOM 3	CUSTOM に記憶した設定値に切り替えます。 OFF ↔ CUSTOM 1,2,3
メモリー	CUSTOM1～3の選択画面に切り替わります。
詳細設定	タイムアライメントの詳細設定画面に切り替わります。
LAST MEMORY	詳細設定(→P96)で、設定途中だった場合の値を表示します。 OFF ↔ LAST MEMORY



- **AUTO TA** は、AUTO TA&EQ を行っていないと、操作できません。(→P112)
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。
- **メモリー** は、リスニングポジションがフロントLまたはフロントRのときのみ操作できます。
- **LAST MEMORY** は、設定中の値をCUSTOM1～3のいずれかに記憶していないときのみ操作できます。

タイムアライメント詳細設定

各スピーカーまでの距離を設定します。



- リスニングポジションがフロントLまたはフロントRのときに操作できます。

1 タイムアライメントの設定画面で**詳細設定**にタッチする

2 各スピーカーの、**◀または▶**にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーからの距離が0～500.0cmの間で2.5cm単位で切り替わります。



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを調節することができます。



- スピーカー設定 (→ P99) で OFF のスピーカーは操作できません。

1 詳細設定の項目画面 (→ P97) で **スピーカー出力レベル** にタッチする

2 各スピーカーの、**◀**または**▶**にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーの出力が -24dB ~ +10dB の間で切り替わります。

CUSTOM1	CUSTOM1 → CUSTOM2 → CUSTOM3 → LAST MEMORY → 元に戻る
メモリー	CUSTOM1 ~ 3 の選択画面に切り替わります。
テストトーン	テストトーン画面に切り替わります。



- AUTO** は、AUTO TA&EQ を行っていないと、切り替わりません。(→ P112)
- LAST MEMORY** は、設定中の値を CUSTOM1 ~ 3 のいずれかに記憶していないときのみ切り替わります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。
- 必要に応じて、**CUSTOM 1**、**CUSTOM 2**、**CUSTOM 3** をタッチで切り替えてください。

テストトーン

テストトーンを聴きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 スピーカー出力レベルの設定画面で **テストトーン** にタッチする

2 **開始** にタッチする



約 2 秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。

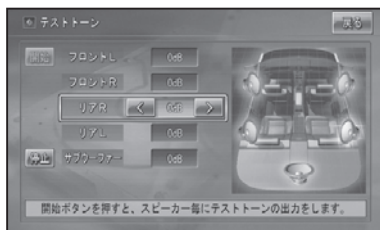
フロントL → フロントR → リアR → リアL → サブウーファー → 元に戻る

テストトーン出力中のスピーカーには、**◀**、**▶**が表示され、調節が可能になります。



- スピーカー設定 (→ P99) で「OFF」にしたスピーカーは飛び越されます。

3 **◀**または**▶**にタッチする



タッチするごとに、スピーカーの出力が -24dB ~ +10dB の間で切り替わります。

このモードで調節した出力レベルは、スピーカー出力レベルで調節したレベルと同じ値になります。



- 停止** にタッチすると、テストトーンの出力を停止することができます。
- ユニバーサルパッドを上/下に操作して開始/停止、左/右に操作して調節することもできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

オートイコライザー

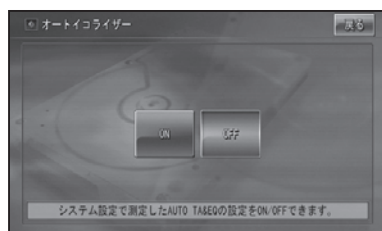
AUTO TA&EQ (→P112) で自動調節したイコライザーを使用する設定を行うことができます。

工場出荷時は「OFF」です。

- AUTO TA&EQ (→P112) を行っていない場合は、操作できません。

1 詳細設定の項目画面 (→P96) でオートイコライザーにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

マルチチャンネルモードのオーディオ設定

本機で、マルチチャンネルを楽しむ場合の調整を行うことができます。「チャンネルモードを切り替える」(→P94)でマルチチャンネルモードに切り替えてから設定します。

■フェーダー / バランス

前後左右の音量バランスを調整することができます。

1 マルチチャンネルモード (→P94) でフェーダー / バランスにタッチする

2 ▲、▼、◀、▶にタッチして前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右のバランスを確認できます。

- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。

■ソースレベルアジャスター

ソースを切り替えたときに音量の違いがないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の差をそろえることができます。工場出荷時は「OdB」です。

- FMの音量を基準に他のソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX、マルチ CD
 - AM、交通情報
 - EXT1、EXT2

1 マルチチャンネルモード (→P94) でソースレベルアジャスターにタッチする

2 + または - にタッチする



- -14dB ~ +14dB の範囲で 2dB ごとに調節できます。
- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

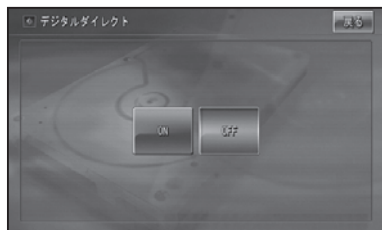
1 デジタルダイレクト

調節した各設定内容に影響されない、オリジナルの音質で聴くことができます。調節したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

工場出荷時は「OFF」です。

1 マルチチャンネルモード (→P 94) でデジタルダイレクトにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



ON	デジタルダイレクト機能が働きます。
OFF	2チャンネルモードから移行してきた場合、2チャンネルモードになります。マルチチャンネルモードでONにしていた場合、デジタルダイレクト機能が解除されます。

- ON に設定すると、音量調整、Dolby Pro Logic II、Neo: 6 以外の設定はできません。
- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

■ Dolby Pro Logic II

Dolby Pro Logic IIは、2チャンネルの音声マルチチャンネルで全帯域再生します。オリジナルの録音の空間情報から、より立体的なサウンド空間を作り出す先進的な機能です。

工場出荷時は「OFF」です。

- 交通情報受信中は、一旦強制的に「OFF」になります。
- センタースピーカーとリアスピーカーが「OFF」の場合は操作できません。
- Neo: 6 との、同時設定はできません。

1 マルチチャンネルモード (→P 94) で Dolby Pro Logic II にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



MOVIE	映画やテレビドラマなどのステレオ音声をマルチチャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。
MUSIC	広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。またパラメータを調節することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。
MATRIX	方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサウンド再生になります。FM やテレビなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。
MUSIC ADJUST	Dolby Pro Logic II 詳細設定画面に切り替わります ([MUSIC] 選択時のみ)。

- 設定した項目にもう一度タッチすると、「OFF」になります。
- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

Dolby Pro Logic II の MUSIC の詳細設定

Dolby Pro Logic II の詳細設定を行う場合は、以下のように操作します。

- 1 Dolby Pro Logic II の設定画面で **MUSIC** にタッチする
- 2 **MUSIC ADJUST** にタッチする

つづく→

3 お好みのモードにタッチし、それぞれを調節する



PANORAMA ON/OFF	フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みの効果を大きくします。
DIMENSION ◀/▶	音場の位置をフロント側、リア側に、-3～+3の間で調節します。▶はフロント側(+)に、◀はリア(サラウンド)側(-)に音を移動します。
CENTER WIDTH	センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーに、どのように振り分けるかを0～7の間で設定します。 ▶は7側に、◀は0側に調節します。 推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0はセンタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けます。



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

Neo: 6

高精度デジタルマトリクスデコーダーを従来の2チャンネル信号に応用し、マルチチャンネルのサラウンド再生を行う機能です。工場出荷時は「OFF」です。



- 交通情報受信中は、一旦強制的に「OFF」になります。
- センタースピーカーとリアスピーカーが「OFF」の場合は操作できません。
- Dolby Pro Logic IIとの、同時設定はできません。

1 マルチチャンネルモード (→P 94) で **Neo: 6** にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



CINEMA	映画やテレビドラマなどのステレオ音声をマルチチャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。
MUSIC	広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。またセンタースピーカーを調節することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。
MUSIC ADJUST	Neo: 6の詳細設定画面 (→後記) に切り替わります ([MUSIC] 選択時のみ)。



- 設定した項目にもう一度タッチすると、「OFF」になります。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

Neo: 6のMUSICの詳細設定

Neo: 6の詳細設定を行う場合は、以下のように操作します。

1 Neo: 6の設定画面で **MUSIC** にタッチする

2 **MUSIC ADJUST** にタッチする

3 ◀または▶にタッチしてセン タイメージを調節する



0～10の間で調節できます。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

■ダイナミックレンジコントロール

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げて楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。工場出荷時は「OFF」です。

- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

1 マルチチャンネルモード (→P 94) でダイナミックレンジコン トロールにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

■ダウン MIX

マルチチャンネル音声を2チャンネルにダウンミックスして再生することができます。工場出荷時は「Lo/Ro」です。

1 マルチチャンネルモード (→P 94) でダウンMIX にタッチする

2 Lo/Ro または Lt/Rt にタッチ する



Lo/Ro	サラウンド成分を復元（デコード）できるようにダウンミックスします。
Lt/Rt	オリジナルの音声サラウンド成分を含まないようなチャンネルモードにステレオミックスします。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

■オートサウンドセッティング

AUTO TA & EQ (→P112) の測定結果を、有効にします。

- AUTO TA&EQ (→P112) を行っていない場合は、操作できません。
- オートサウンドセッティングを ON にしている場合は、詳細設定を行うことができません。

1 マルチチャンネルモード (→P 94) でオートサウンドセッティ ングにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

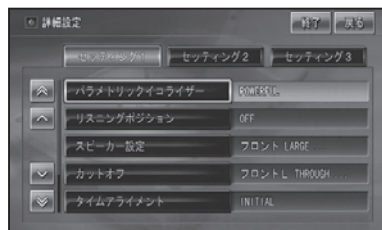
■サウンドセッティング(詳細設定)

ソースごとに3パターンの設定を記憶することができます。

セッティングパターンを切り替える

1 マルチチャンネルモード(→P94)で**詳細設定**にタッチする

2 **セッティング1**~**セッティング3**にタッチする



選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

- ユニバーサルパッドを上/下に操作して調節することもできます。

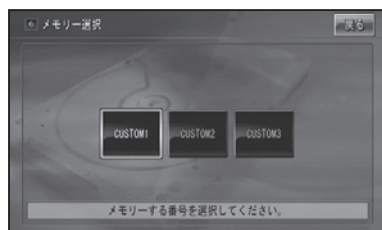
詳細設定の項目

詳細設定の項目は、以下のとおりです。

- パラメトリックイコライザー
- リスニングポジション (→P108)
- スピーカー設定 (→P108)
- カットオフ (→P109)
- タイムアライメント (→P109)
- スピーカー出力レベル (→P110)
- オートイコライザー (→P111)

CUSTOM メモリーについて

各設定画面で**メモリー**にタッチしたときや、設定値を変更した後に画面を終了した時に表示される「メモリー選択画面」で、設定値を「CUSTOM1」~「CUSTOM3」に記憶しておくことが可能です。



選んだ CUSTOM 番号に記憶されます。

- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

パラメトリックイコライザー

あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM1、CUSTOM2、CUSTOM3)からイコライザーカーブを選ぶことができます。また、各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り替えを行うことができます。工場出荷時は「POWERFUL」です。

イコライザーの調節について

センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声(CDなど)を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調節した後、5.1チャンネルの音声(ドルビーデジタルやDTS)を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節すると、スムーズに行うことができます。

中心周波数について

各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り替えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。

- 設定した調節値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 詳細設定の項目画面(→P106)で**パラメトリックイコライザー**にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



タッチすることにより、イコライザーカーブが切り替わります。

POWERFUL、 NATURAL、 VOCAL、FLAT、 SUPER BASS	選んだファクトリーカーブが表示されます。
CUSTOM 1、 CUSTOM 2、 CUSTOM 3	お好みに合わせて調節した設定が表示されます。
メモリー	CUSTOM1 ~ 3 の選択画面に切り替わります。
詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。
LAST MEMORY	詳細設定で、設定途中だった場合の値を表示します。

- FLAT は何も補正しません。
- 詳細設定にタッチすると CUSTOM 用のパラメトリックイコライザーカーブ詳細設定に切り替わります。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、周波数ごとにさらに細かく補正することができます。補正した値は、CUSTOM 1~3 に記憶することができます。

1 補正したいファクトリーカーブを選ぶ

2 詳細設定にタッチする



3 補正する周波数を選び、またはにタッチして設定する



「ポジション」:

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

- ▶ フロント → リア → センター → 元に戻る
- ◀ フロント → センター → リア → 元に戻る

「バンド」:

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

- LOW (低音) ↔ MID (中音) ↔ HIGH (高音)

「周波数」:

タッチすることにより、各バンドの中心周波数が、以下のように切り替わります。

- 40Hz、50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz、160Hz、200Hz、250Hz、315Hz、400Hz、500Hz、630Hz、800Hz、1kz、1.25kHz、1.6kHz、2kHz、2.5kHz、3.15kHz、4kHz、5kHz、6.3kHz、8kHz、10kHz、12.5kHz

「レベル」:

タッチすることにより、-12dB ~ +12dB の間で調節できます。

「Q ファクタ」:

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

- NARROW (急な傾き) ↔ WIDE (緩やかな傾き)

- 交通情報を受信しているときは、調節できません。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。

つづく→

4 戻るにタッチする

確認のメッセージが表示されます。

5 はいにタッチする

メモリー番号選択画面が表示されます。

6 登録したいCUSTOM 番号にタッチする



選んだ CUSTOM 番号に補正値が記憶されます。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 詳細設定の項目画面(→P106)でリスニングポジションにタッチする

2 お好みのポジションにタッチする



フロントR	右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。
フロントL	助手席の同乗者のみに出力したいときに切り替えます。
フロント	同乗者が助手席にいるときに切り替えます。

オール

同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。



- ポジションが選ばれていないときは、OFF になります。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。
- 選択中のポジションに再度タッチすると、OFF になります。

スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100Hz 以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

1 詳細設定の項目画面(→P106)でスピーカー設定にタッチする

2 各項目の、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、以下のように切り替わります。

CUSTOM1	CUSTOM1 → CUSTOM2 → CUSTOM3 → LAST MEMORY → 元に戻る
フロント	SMALL ↔ LARGE
センター	OFF ↔ SMALL ↔ LARGE
リア	OFF ↔ SMALL ↔ LARGE
サブウーファー	OFF ↔ ON



- **AUTO** は、AUTO TA&EQ を行っていないと、切り替わりません。(→P112)
- **LAST MEMORY** は、設定中の値をCUSTOM1～3のいずれかに記憶していないときのみ切り替わります。
- 接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。
- 必要に応じて、**CUSTOM 1**、**CUSTOM 2**、**CUSTOM 3** をタッチで切り替えてください。

カットオフ

各スピーカーから出力される音の設定を行うことができます。

1 詳細設定の項目画面(→P106)で**カットオフ**にタッチする

2 各項目の、**◀または▶**にタッチして設定する



タッチするごとに、以下のように切り替わります。

CUSTOM1	CUSTOM1 → CUSTOM2 → CUSTOM3 → LAST MEMORY → 元に戻る
スピーカー	フロントL ↔ センター フロントR ↔ リアR ↔ リアル ↔ サブウーファー
周波数	50Hz ↔ 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz
スロープ	-18dB ↔ -12dB ↔ -6dB ↔ 0dB (サブウーファー選択時)

ミュート	OFF ↔ ON
PHASE	REVERSE ↔ NORMAL
メモリー	CUSTOM1～3の選択画面 に切り替わります。



- **AUTO** は、AUTO TA&EQ を行っていないと、切り替わりません。(→P112)
- **LAST MEMORY** は、設定中の値をCUSTOM1～3のいずれかに記憶していないときのみ切り替わります。
- スピーカー設定で「OFF」にしているスピーカーは設定できません。また、スピーカー設定で「LARGE」に設定しているスピーカーは、周波数とスロープの設定ができません。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。
- サブウーファーの位相は、車内条件により、サブウーファーから出力される周波数帯域が、フロント/リアのスピーカーから出力される周波数帯域と打ち消し合ってしまう、聞き取りにくくなるような場合は、位相を逆にすることで聞き取りやすくなることができます。
- 必要に応じて、**CUSTOM 1**、**CUSTOM 2**、**CUSTOM 3** をタッチで切り替えてください。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。工場出荷時は「INITIAL」です。

1 詳細設定の項目画面(→P106)で**タイムアライメント**にタッチする

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

チューニング

オプション機能

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

2 お好みの設定にタッチする



INITIAL	距離補正をしません。 OFF ⇔ INITIAL
AUTO TA	AUTO TA&EQ で作成されたタイムアライメントの設定に切り替えます。 OFF ⇔ AUTO TA
CUSTOM 1 ~ CUSTOM 3	CUSTOM に記憶した設定値に切り替えます。 OFF ⇔ CUSTOM 1,2,3
メモリー	CUSTOM1 ~ 3 の選択画面に切り替わります。
詳細設定	タイムアライメントの詳細設定画面に切り替わります。
LAST MEMORY	詳細設定 (→ P106) で、設定途中だった場合の値を表示します。 OFF ⇔ LAST MEMORY

- **AUTO TA** は、AUTO TA&EQ (→ P112) を行っていないと、操作できません。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。
- **メモリー** は、リスニングポジションがフロント L またはフロント R のときのみ操作できます。
- **LAST MEMORY** は、設定中の値を CUSTOM1 ~ 3 のいずれかに記憶していないときのみ操作できます。

タイムアライメント詳細設定

各スピーカーまでの距離を設定します。

- リスニングポジションがフロント L またはフロント R のときに操作できます。

1 タイムアライメントの設定画面で詳細設定にタッチする

2 各スピーカーの、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーからの距離が 0 ~ 500.0cm の間で 2.5cm 単位で切り替わります。

- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを調節することができます。

- スピーカー設定で OFF のスピーカーは操作できません。

1 詳細設定の項目画面(→P106)でスピーカー出力レベルにタッチする

2 各スピーカーの、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーの出力が -24dB ~ +10dB の間で切り替わります。

CUSTOM1	CUSTOM1 → CUSTOM2 → CUSTOM3 → LAST MEMORY → 元に戻る
メモリー	CUSTOM1 ~ 3 の選択画面に切り替わります。
テストトーン	テストトーン画面に切り替わります。



- **AUTO** は、AUTO TA&EQ を行っていないと、切り替わりません。(→P112)
- **LAST MEMORY** は、設定中の値をCUSTOM1～3のいずれかに記憶していないときのみ切り替わります。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して調節することもできます。
- 必要に応じて、**CUSTOM 1**、**CUSTOM 2**、**CUSTOM 3** をタッチで切り替えてください。

タッチするごとに、スピーカーの出力が-24dB～+10dBの間で切り替わります。このモードで調節した出力レベルは、スピーカー出力レベルで調節したレベルと同じ値になります。



- **停止** にタッチすると、テストトーンの出力を停止することができます。
- ユニバーサルパッドを上 / 下に操作して開始 / 停止、左 / 右に操作して調節することもできます。

テストトーン

テストトーンを聴きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。工場出荷時は「OFF」です。

1 スピーカー出力レベルの設定画面で**テストトーン**にタッチする

2 **開始**にタッチする



約2秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。

フロントL→センター→フロントR→リアR→リアL→サブウーファー→元に戻る

テストトーン出力中のスピーカーには、**◀▶**が表示され、調節が可能になります。



- スピーカー設定 (→P108) で「OFF」にしたスピーカーは飛び越されます。

3 **◀または▶**にタッチする



オートイコライザー

AUTO TA&EQ で自動調節したイコライザーを使用する設定を行うことができます。工場出荷時は「OFF」です。



- AUTO TA&EQ (→P112) を行っていない場合は、操作できません。

1 詳細設定の項目画面(→P106)で**オートイコライザー**にタッチする

2 **ON**または**OFF**にタッチする



- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して調節することもできます。

車に合わせて音場を自動で補正する(AUTO TA&EQ)

(AVIC-VH009MD/VH009)

車室内の音響特性を自動的に計測して、最適に自動補正することができます。

AUTO TA&EQを行う前に

AUTO TA&EQ（オートタイムアライメント&イコライジング）を行う前に必ずお読みください。



警告

- 走行中に AUTO TA&EQ を行わない。



禁止

- 自動車が走行中に AUTO TA&EQ を行わないでください。AUTO TA&EQ 機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

■スピーカー破損防止について

次の状態で AUTO TA&EQ を行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。AUTO TA&EQ を行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている場合
(例: サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

■AUTO TA&EQ 機能について

- 車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

- 本機の AUTO TA&EQ 機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、AUTO TA&EQ により乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。) また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節します。

■AUTO TA&EQ を行う前にお読みください

- AUTO TA&EQ は、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってから AUTO TA&EQ を行ってください。計測音以外の音(車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など)によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。
- AUTO TA&EQ は、必ず付属の音響特性測定用マイクを使用して行ってください。付属の音響特性測定用マイク以外のマイクでは、AUTO TA&EQ が実行できません。
- フロントスピーカーが接続されていない場合は、AUTO TA&EQ が実行できません。
- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていますと、AUTO TA&EQ が実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。

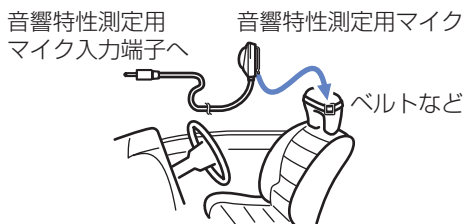
AUTO TA&EQ の設定方法

1 車の環境を整える

- ・静かな所に停車し、ドア、窓ガラス、サンルーフなどを閉める。
- ・エアコンやエンジンを止める。

2 マイクを設置する

テープ・ベルト・輪ゴムなどで付属の音響特性測定用マイクを座席のヘッドレストの中央に仮止めします。



3 車のエンジンスイッチを ACC または ON にする

4 **NAVI/AV** ボタンを押し、AV 画面に切り替える



- ・AVソースがOFFになっていないときは、**SRC** を 1 秒以上押し、ソースを OFF にします。(→P13)

5 **メニュー** ボタンを押し、**システム設定 - AUTO TA&EQ** の順にタッチする

既に設定されている場合、「測定済」と表示されます。

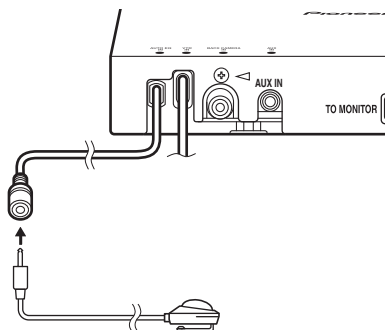
つづく→

- ・ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターは OFF にして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。
- ・AUTO TA&EQ 測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なる場合がありますが、計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。
 - ー車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
 - ーパワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。
- ・AUTO TA&EQ を行うと、各モードの内容が次のように変更されます。
 - ー前後左右の音量バランス調節（フェーダー/バランス）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
 - ーイコライザーカーブは、フラット (FLAT) になります。
 - ーオートサウンドセッティングは、全ソース ON に設定されます。
 - ーフロントやセンター、リアハイパスフィルターの設定が調節されます。内蔵 DSP でサブウーファーを接続している場合は、サブウーファー出力とリアハイパスフィルターの設定が調節されます。

AUTO TA&EQ の調節内容について

一度 AUTO TA&EQ を行ったあとに、再度 AUTO TA&EQ を行うと、前の AUTO TA&EQ の調節内容は消去されます。

6 マイクをハイダウェイTVチューナーに接続する



• 外したマイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。

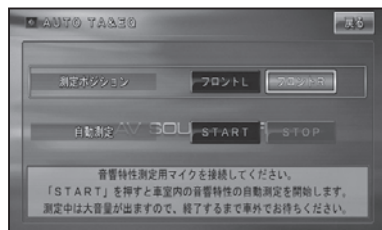
7 測定ポジションを選ぶ



• 測定ポジションは、マイクを設置した側（通常はフロントR／運転席）を選びます。

8 START にタッチする

中止するときは、**STOP** を選びます。



9 車外に出る

10 秒のカウントダウンが始まるので、10 秒以内に車外に出て、ドアを閉めます。計測音（ノイズ）が各スピーカーから出力され、測定が始まります。

10 分程度で自動的に終了します。



AUTO TA&EQ 操作が終わったら、セットしたマイクを取り外してください。

システム設定

システム設定のしかた (AVIC-VH009MD/VH009)	116
システム設定をする	116
AUTO TA&EQ	116
デジタルアッテネーター	116
録音設定	116
消音設定	117
ワイドモード	117
AV 入力設定	117
サブディスプレイ設定	118
オートフラップ設定	118
ガイド/ハンズフリー SP 設定	119
オーディオ設定リセット	119
オートアンテナ・ACC 電源連動	119
光デジタル入力設定	119
DivX VOD コード	120
MSV 使用領域設定	120
システム設定のしかた (AVIC-XH009/H009)	121
システム設定をする	121
録音設定	121
消音設定	121
ワイドモード (AVIC-XH009)	122
AV 入力設定 (AVIC-XH009)	122
ガイド出力設定 (AVIC-XH009)	122
FMトランスミッター設定 (AVIC-XH009) ...	123
DivX VOD コード	123
MSV 使用領域設定	123

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

オプション
機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

システム設定のしかた (AVIC-VH009MD/VH009)

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。



• ここでは「AVIC-VH009MD/VH009」のシステム設定について説明しています。AVIC-XH009/H009のシステム設定については、(P121)をご覧ください。

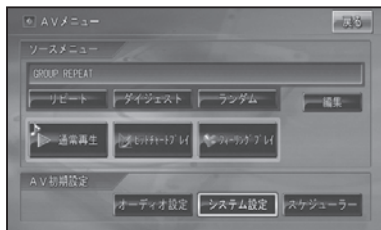
システム設定をする

本機の動作環境の設定を行います。

1 AVソース画面で**メニュー**を押す

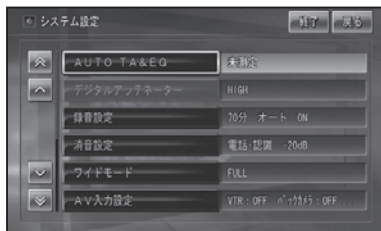
AVメニューが表示されます。

2 システム設定にタッチする



システム設定画面が表示されます。

3 各項目にタッチし、設定を行う



• ユニバーサルパッドを上/下に操作して選ぶこともできます。

AUTO TA&EQ

車の特性に合わせて音場を自動で補正します。
→説明は本書の「車に合わせて音場を自動で補正する」(→P112)に記載しています。

デジタルアッテネーター

デジタルアッテネーターはイコライザーカーブの調節による音の歪みをなくすることができます。
工場出荷時は「HIGH」です。



• イコライザーカーブの調節(→P98, 106)で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調節で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLOWに切り替えてください。

1 ソースをOFFにする(→P13)

2 システム設定画面で**デジタルアッテネーター**にタッチする

3 HIGH または LOW にタッチする



• ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

録音設定

ミュージックサーバーへの録音時間や録音モードを設定します。

→説明は本書の「ミュージックサーバーに録音する」(→P43)に記載しています。

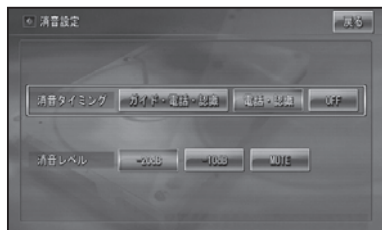
■ 消音設定

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。
工場出荷時は以下のとおりです。

- 消音タイミング（電話、認識）
- 消音レベル（-20dB）

1 システム設定画面で消音設定にタッチする

2 消音タイミングと消音レベルを設定する



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

消音タイミング

消音するタイミングを設定します。

ガイド・電話・認識	音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。
電話・認識	ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

消音のレベルを設定します。

-20dB	音量が 1/10 になります。
-10dB	音量が 1/3 になります。
MUTE	音量が 0 になります。

- 消音タイミングが OFF のときは消音レベルは設定できません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

■ ワイドモード

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

→説明は本書の「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(→P130)に記載しています。

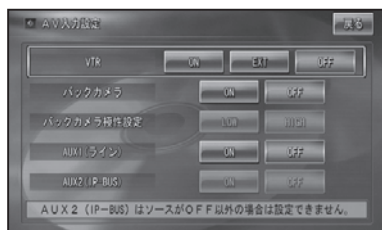
工場出荷時は DVD/DivX ソース時：「AUTO」、それ以外のソース：「FULL」です。

■ AV 入力設定

VTR（ビデオなど）や別売のバックカメラユニット「ND-BC2」などの外部機器を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

1 システム設定画面で AV 入力設定にタッチする

2 機器を接続した端子に応じて、以下のように設定する



VTR

ON	接続したビデオなどの映像を表示するとき (→P90)
EXT	接続したエクスターナルユニットの映像を表示するとき (→P89)
OFF	何も接続されていないとき

バックカメラ

ON	接続したバックカメラの映像を表示するとき (→『ナビゲーションブック』)
OFF	バックカメラが接続されていないとき

バックカメラ極性設定

LOW	グラウンド（バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧が LOW となる車両の場合に選択します。）
HIGH	バッテリー（バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧が HIGH となる車両の場合に選択します。）

つづく→

AUX 1 (ライン)

ON	AUX に接続した機器の音声を聞くと き (→ P91)
OFF	何も接続されていないとき

AUX 2 (IP-BUS)

ON	AUX に IP-BUS 接続した機器の音 声を聞くととき (→ P91)
OFF	AUX の IP-BUS には何も接続され ていないとき



- AUX2 はソースが OFF のときのみ設定
できます。
- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に
操作して選ぶこともできます。
- バックカメラを接続するときは、必ずバック
信号入力線（紫 / 白）を接続してくだ
さい。バック信号の極性については、ナビ
ゲーションの情報メニューから「ハー
ドウェア情報」で確認できます。→『ナ
ビゲーションブック』

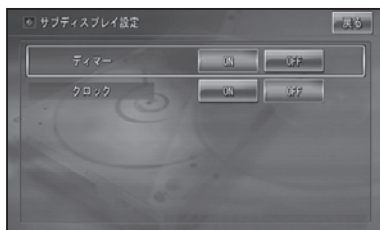
■サブディスプレイ設定

サブディスプレイの設定を行います。
工場出荷時は以下のとおりです。

- ディマー (ON)
- クロック (OFF)

1 システム設定画面 (→ P116) でサブディスプレイ設定にタッチ する

2 ディマーとクロックを設定する



ディマー

車のライト ON/OFF に合わせて、サブ
ディスプレイの明るさ調節する設定をし
ます。

ON	ライトが ON になると暗くなります。
OFF	ライトが ON になっても暗くなりません。

クロック

時計表示を ON/OFF する設定をします。

ON	時計が表示されます。
OFF	時計は表示されません。



- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に
操作して選ぶこともできます。

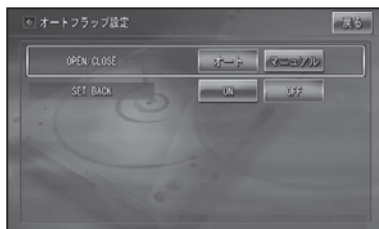
■オートフラップ設定

エンジンスイッチの ACC が ON になった
とき自動的にモニターを立ち上げ、OFF に
なったとき自動的に収納する設定をします。
また、モニターが立ち上がったときのセッ
トバック (前後位置) を設定します。
工場出荷時は以下のとおりです。

- OPEN/CLOSE (オート)
- SET BACK (OFF)

1 システム設定画面 (→ P116) でオートフラップ設定にタッチ する

2 自動開閉とセットバックを設定 する



OPEN/CLOSE (自動開閉)

モニターの開閉を自動で行うか、手動で
行うかの設定をします。

オート	ACC の ON/OFF でモニターを 自動開閉します。
マニュアル	モニターの開閉を手動で行います。

SET BACK (セットバック)

立ち上がったモニターを後に下げる設定
をします。

ON	モニターを後に下げます。
OFF	モニターを後に下げません。

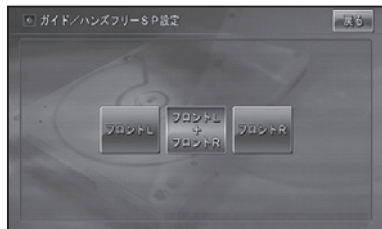


- ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に
操作して選ぶこともできます。

■ ガイド / ハンズフリー SP 設定
ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音、音声操作音などを、どのスピーカーから出力するかを設定します。工場出荷時は「フロントL + フロントR」です。

1 システム設定画面 (→ P116) でガイド / ハンズフリー SP 設定にタッチする

2 スピーカーにタッチする



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントL + フロントR	フロント左右から出力します。
フロントR	フロント右側から出力します。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して選ぶこともできます。

■ オーディオ設定リセット

オーディオの各種設定や調節をリセットすることができます。

- ソースがOFFのときにリセットできます。

1 システム設定画面でオーディオ設定リセットにタッチする

2 リセットにタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 はいにタッチする

各設定・調節がリセットされ、工場出荷時の状態に戻ります。

■ オートアンテナ・ACC 電源連動

オートアンテナの ON/OFF 動作を、ACC 電源（本機の電源）に連動させるかさせないかを設定します。工場出荷時は「しない」です。

1 システム設定画面 (→ P116) でオートアンテナ・ACC 電源連動にタッチする

2 するまたはしないにタッチする



しない	ラジオソース (FM/AM) 選択に連動して ON にします。
する	ACC 電源 (本機の電源) ON と連動して ON にします。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して選ぶこともできます。

■ 光デジタル入力設定

地上デジタル TV の光デジタル入力の ON/OFF 設定を行います。

1 ソースを OFF にする (→ P13)

2 システム設定画面 (→ P116) で光デジタル入力設定にタッチする

つづく→

3 **ON** または **OFF** にタッチする



- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して選ぶこともできます。

■ DivX VOD コード

DivX VOD のレジストレーションコードを表示します。表示されたコード (8 桁) を使用すると、VOD サーバーからコンテンツをダウンロードできるようになります。

1 ソースを DVD・CD・ROM (WMA/MP3/AAC) にする

2 システム設定画面 (→ P116) で **DivX VOD コード** にタッチする

レジストレーションコードが表示されます。

■ MSV 使用領域設定

MSV の各グループ (ATRAC3 (PC)・オリジナル / AnyMusic) で使用する HDD 上の領域の配分を変更することができます。

- ソースが OFF のときのみ設定できます。
- 録音中は設定できません。

で注意

- 使用領域の変更を行うと、ATRAC3 (PC) に登録されている全てのデータが消去されます。
- オープニング画面のクリア項目選択画面 (→『ナビゲーションブック』) から、この設定を行うと、MSV に登録されている全てのデータが消去されます。MSV に何も録音されていない状態で設定するか、MSV に録音したデータを消去してもいい場合に限って操作してください。
- システム設定からこの操作を行う場合は、ATRAC3 (PC) の領域を減らすことはできますが、増やすことはできません。オープニング画面からこの設定を行う場合は、ATRAC3 (PC) の領域の増減が行えます。

1 システム設定画面で **MSV 使用領域設定** にタッチする

2 使用領域を変更する



- ◀ 増やしたオリジナル / AnyMusic の領域を減らすとき
- ▶ オリジナル / AnyMusic の領域を増やすとき

3 **戻る** にタッチする

確認画面が表示されます。

4 **はい** にタッチする

ナビゲーションが再起動し、変更が有効になります。

- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して選ぶこともできます。

システム設定のしかた (AVIC-XH009/H009)

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。

- ここでは AVIC-XH009/H009 のシステム設定について説明しています。AVIC-VH009MD/VH009 のシステム設定については、(P116) をご覧ください。

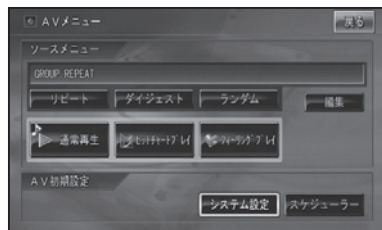
システム設定をする

本機の動作環境の設定を行います。

1 AV ソース画面で **メニュー** を押す

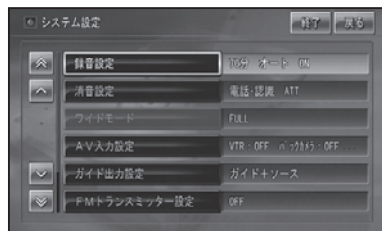
AV メニューが表示されます。

2 **システム設定** にタッチする



システム設定画面が表示されます。

3 各項目にタッチし、設定を行う



録音設定

ミュージックサーバーへの録音時間や録音モードを設定します。

→説明は本書の「ミュージックサーバーに録音する」(→P43) に記載しています。

消音設定

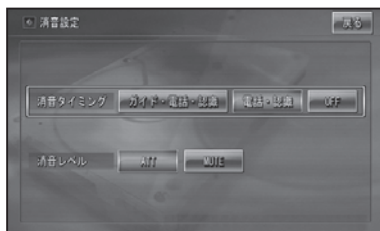
音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

AVIC-H009 は、「消音レベル」の設定はできません。組み合わせた製品の「TEL/GUIDE」などを設定してください。工場出荷時は以下のとおりです。

- 消音タイミング (電話、認識)
- 消音レベル (ATT)

1 システム設定画面で **消音設定** にタッチする

2 消音タイミングと消音レベルを設定する



消音タイミング

消音するタイミングを設定します。

ガイド・電話・認識	音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。
電話・認識	ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

つづく→

消音レベル

消音のレベルを設定します。

ATT	音量が 1/10 になります。
MUTE	音量が 0 になります。



- ・消音タイミングが OFF のときは消音レベルは設定できません。
- ・ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して選ぶこともできます。

■ワイドモード (AVIC-XH009)

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

→説明は本書の「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(→P130)に記載しています。

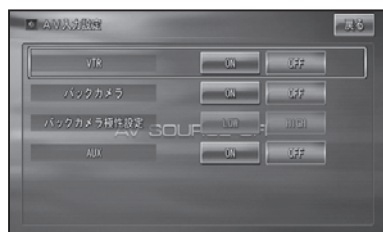
工場出荷時は DVD/DivX ソース時：「AUTO」、それ以外のソース：「FULL」です。

■AV 入力設定 (AVIC-XH009)

AUX (外部音声入力)、VTR、別売のバックカメラユニット「ND-BC2」などの外部機器を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

1 システム設定画面(→P121)で AV入力設定にタッチする

2 機器を接続した端子に応じて、 以下のように設定する



VTR

ON	接続したビデオなどの映像を表示するとき (→P90)
OFF	何も接続されていないとき

バックカメラ

ON	接続したバックカメラの映像を表示するとき (→『ナビゲーションブック』)
OFF	バックカメラが接続されていないとき

バックカメラ極性設定

LOW	グラウンド (バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧が LOW となる車両の場合に選択します。)
HIGH	バッテリー (バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧が HIGH となる車両の場合に選択します。)

AUX

ON	AUX に接続した機器の音声を聞くと き (→P91)
OFF	何も接続されていないとき



- ・AUX はソースが OFF のときのみ設定できます。
- ・ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して選ぶこともできます。
- ・バックカメラを接続するときは、必ずバック信号入力線 (紫 / 白) を接続してください。バック信号の極性については、ナビゲーションの情報メニューから「ハードウェア情報」で確認できます。→『ナビゲーションブック』

■ガイド出力設定 (AVIC-XH009)

モニターの内蔵スピーカーから、ナビゲーションの音声案内と各ソースの音声を出力するか、ナビゲーションの音声案内のみ出力するかの設定をします。

工場出荷時は「ガイド+ソース」です。

1 システム設定画面(→P121)で ガイド出力設定にタッチする

2 出力する音声にタッチする



ガイド	ナビゲーションの音声案内のみを出力します。
ガイド+ソース	ナビゲーションの音声案内と各ソースの音声を出力します。



- ・ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して選ぶこともできます。

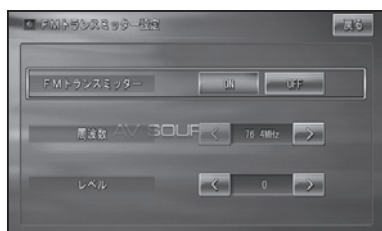
■FMトランスミッター設定 (AVIC-XH009)

テレビ、DVD、CD・ROM (WMA/MP3/AAC)、ミュージックサーバーなどの音声をFM電波で送信し、FM付きカーステレオで受信することによって、カーステレオのスピーカーで聴くことができるように設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 システム設定画面(→P121)で FMトランスミッター設定にタッチする

2 各項目を設定する



FMトランスミッター

ON	FMトランスミッターをONにします。
OFF	FMトランスミッターをOFFにします。

周波数

76.4MHz ~ 78.4MHz の間で 0.1MHz ごとに設定できます。

<	低くするとき
>	高くするとき

レベル

－6 ~ +6 の間で 1 ステップごとに設定できます。

<	下げるとき
>	上げるとき

- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

3 カーステレオをFMに切り替え、手順 2 で選んだ周波数を受信する

本機の音声をカーステレオのスピーカーで聞けるようになります。

- ナビゲーションの音声案内を聞くことはできません。
- 送信用アンテナの配置場所や受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。
- FM 放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FM トランスミッターの実用到達距離は、約 2 m です。(法律により電波の強さが規制されています。)
- FM トランスミッターを使わないときは、必ず OFF にしてください。

■DivX VOD コード

DivX VOD のレジストレーションコードを表示します。表示されたコード (8 桁) を使用すると、VOD サーバーからコンテンツをダウンロードできるようになります。

1 ソースをDVD・CD・ROM (WMA/MP3/AAC) にする

2 システム設定画面(→P121)で DivX VODコードにタッチする

レジストレーションコードが表示されます。

■MSV 使用領域設定

MSV の各グループ (ATRAC3 (PC)・オリジナル /AnyMusic) で使用する HDD 上の領域の配分を変更することができます。

- ソースが OFF のときのみ設定できます。
- 録音中は設定できません。

で注意

- 使用領域の変更を行うと、ATRAC3 (PC) に登録されている全てのデータが消去されます。
- オープニング画面のクリア項目選択画面(→『ナビゲーションブック』)から、この設定を行うと、MSV に登録されている全てのデータが消去されます。MSV に何も録音されていない状況で設定するか、MSV に録音したデータを消去してもいい場合に限って操作してください。
- システム設定からこの操作を行う場合は、ATRAC3 (PC) の領域を減らすことはできませんが、増やすことはできません。オープニング画面からこの設定を行う場合は、ATRAC3 (PC) の領域の増減が行えます。

つづく→

1 システム設定画面(→P121)で MSV使用領域設定にタッチする

2 使用領域を変更する



- | | |
|---|-------------------------------|
| ◀ | 増やしたオリジナル /AnyMusic の領域を減らすとき |
| ▶ | オリジナル /AnyMusic の領域を増やすとき |

3 戻るにタッチする



確認画面が表示されます。

4 はいにタッチする



ナビゲーションが再起動し、変更が有効になります。



- ユニバーサルパッドを左 / 右に操作して選ぶこともできます。

その他の機能

AV スケジューラー	
(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	126
AV スケジューラーとは.....	126
スケジュールを作成する.....	126
スケジュールが実行されると	127
予約したスケジュールを確認・編集する	128
予約したスケジュールを消去する.....	128
画面を設定する	
(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	130
画質を調整する	130
ワイド画面の拡大方法を切り替える.....	130
ワイドモードの種類.....	131
画面の表示モードを切り替える	131
ピクチャーサイドピクチャーに変更する	131
ピクチャーインピクチャーに変更する	132
タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション)	
(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	133
リビングキットで操作できる機能	134
リビングキットとは.....	134
再生する	134
情報を取得する.....	134
コンテンツや曲をダウンロードする.....	134
録音する	134
エニーミュージックのサービスを利用する...	135
楽曲をダウンロードする.....	135
ユーザー認証時の操作について	135
お気に入りを登録する	135
お気に入りを呼び出す.....	136
お気に入りを削除する	136
楽曲をバックアップする.....	136
バックアップした楽曲を復元する.....	137
USB ハードディスクをフォーマットする.....	138
エニーミュージックについて	138
リアモニターを組み合わせる	
(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)	139
リアモニターに表示される映像について	139

AV スケジューラー

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

AV スケジューラーとは

AV スケジューラーとは、指定した時刻に AV 機能 (MSV や DVD など) を実行するものです。

で注意

- 音声を再生するスケジュールが実行されると、大きな音量で再生されることがあります。音量設定にご注意ください。



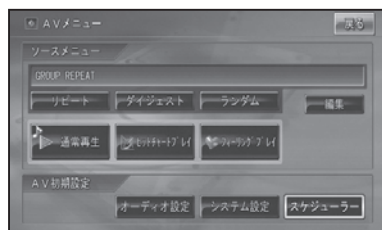
- 最大 100 件までのスケジュールを作成できます。
- ATRAC3 (PC) のコンテンツデータはスケジューラーでは指定できません。

スケジュールを作成する

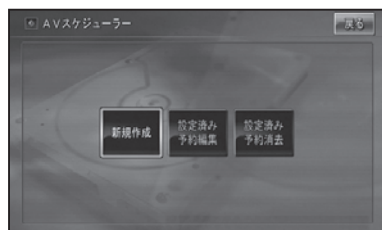
ここでは、スケジュールの例として、指定した時刻になるとミュージックサーバーを実行 (再生) するスケジュールの作成方法を説明します。

1 AV ソース画面で **メニュー** を押す (→ P10)

2 **スケジューラー** にタッチする



3 **新規作成** にタッチする

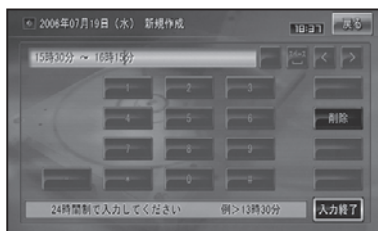


4 実行する日付を指定する



- **毎日**または**毎週**にタッチすると、毎日の同じ時間、毎週の同じ曜日の同じ時間を指定することができます。
- **次月**または**前月**にタッチすると、カレンダーの月を切り替えることができます。
- すでにスケジュールが予約されている日付には、青色の枠が表示されます。

5 時間を指定し、**入力終了**にタッチする



時刻は 1 分単位で、24 時間制で入力します。

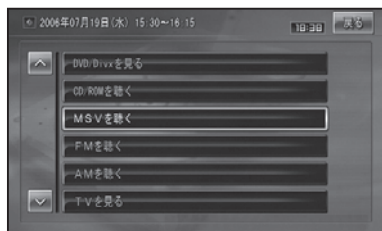
例：09：15 と入力 → 9 時 15 分
になるとスケジュールが実行される

例：09：15 ～ 10：15 と入力 →
9 時 15 分 ～ 10 時 15 分の間に
本機の電源が入るとスケジュールが
実行される



- 現在の時刻より前の時刻は入力できません。
- 同じ日の同じ時刻に複数のスケジュールを作成することはできません。

6 実行する AV ソースにタッチする



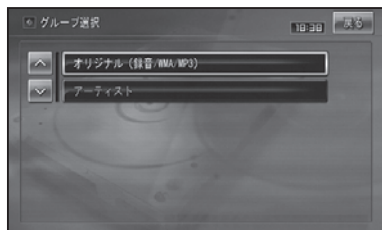
ここでは例として、**MSVを聴く**を選びます。

選んだソースにより以降の操作が異なりますが、操作のしかたは各ソースの操作と同様です。

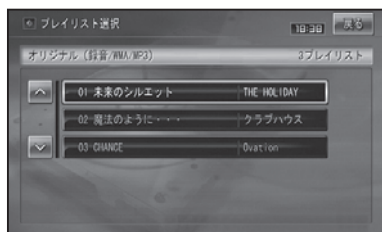
テレビ・ラジオ放送の受信	プリセットメモリのリストが表示されますので、受信したい放送局を選ぶと、手順 10 に進みます。
DVD・DivX・CD・ROMの再生	手順 10 に進みます。
オプション機器・VTR・EXTなどの実行	手順 10 に進みます。

- 接続されていないソースは選択できません。

7 グループにタッチする



8 再生するプレイリストにタッチする

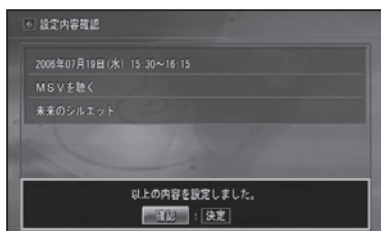


9 決定にタッチする



- **トラック**にタッチすると、再生するトラックを選ぶことができます。

10 確認にタッチする



スケジュールが作成され、予約されます。

■ スケジュールが実行されると

予約した時刻になると、以下の画面が表示され、スケジュールが実行されます。



はい	スケジュールを実行します。
いいえ	スケジュールをキャンセルします。

- エニーミュージックを利用中に予約した時間になった場合、スケジュールの実行画面は表示されません。他のソースに切り替えると、スケジュールの実行画面が表示されます。
- リモコンの **決定** または **発話** を押しても、スケジュールを実行できます。
- リモコンの **戻る** または **訂正** を押しても、スケジュールをキャンセルできます。

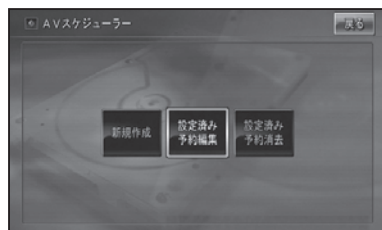
予約したスケジュールを確認・編集する

日付から予約したスケジュールを確認・編集することができます。

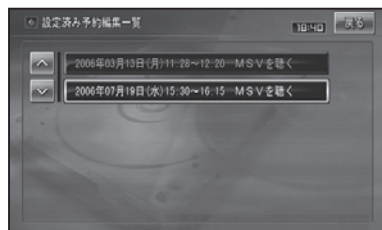
✎ ・編集できる内容は、日時のみです。

1 AV ソース画面で(メニュー)を押し、スケジューラーにタッチする (→ P126)

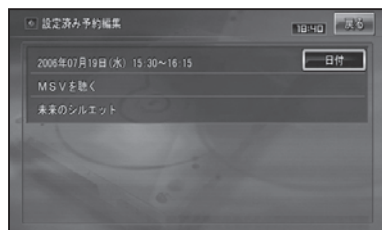
2 設定済み予約編集にタッチする



3 確認・編集したいスケジュールにタッチする



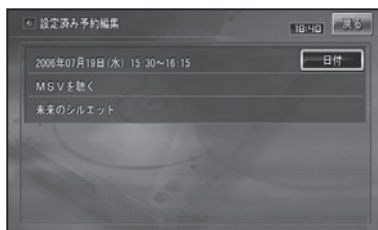
▼
予約したスケジュールの内容が表示されます。



- ✎ ・スケジュールは、毎週、毎日、日時の順番にリスト表示されます。
- ・確認して終了する場合は、**戻る**にタッチします。
- ・スケジュールを編集する場合は、手順 **4** に進んでください。

4 日付にタッチする

スケジュールを作成し直します。



▼
選んだスケジュールのカレンダーが表示されます。

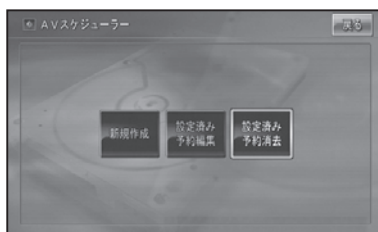


以降の操作手順は、「スケジュールを作成する」(→ P126) の手順 **4**、**5** と同様です。

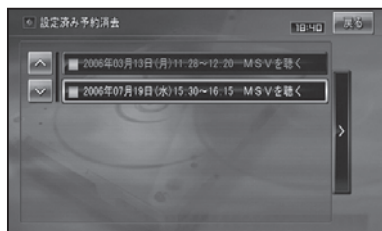
予約したスケジュールを消去する

1 AV ソース画面で(メニュー)を押し、スケジューラーにタッチする (→ P126)

2 設定済み予約消去にタッチする



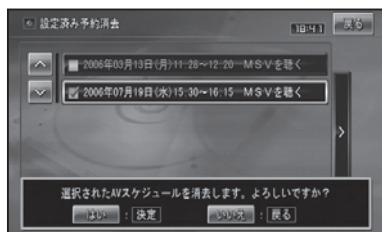
3 消去したいスケジュールにタッチする



- タッチすると、**【✓】** チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。再度タッチすると、選択が解除されます。
- **▶** にタッチしてサイドメニューを表示すると、**全選択**が表示され、全てのスケジュールを選択することができます。選択を解除するには、**全解除**または解除したいスケジュールにタッチします。

4 戻るにタッチする

5 はいにタッチする



▼
選んだスケジュールが消去されます。

画面を設定する (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

画質を調整する

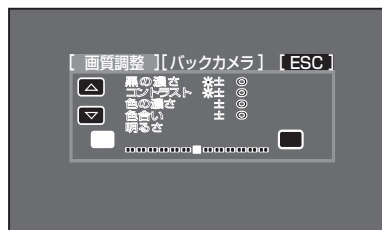
周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「明るさ」を調整することができます。



- 「黒の濃さ」、「コントラスト」の設定は、昼（☀）と夜（🌙）で別々に設定記憶できます。
- 走行中は操作できません。

1 調節したい画像の表示画面で **V.ADJUST** または **V.ADJ** を押す

2 **△** / **▽** にタッチする



バックカメラ

バックカメラ接続時にバックカメラの画質調整を行います。

黒の濃さ

<input type="checkbox"/> (白)	薄くなります。
<input checked="" type="checkbox"/> (黒)	濃くなります。

コントラスト (明暗)

低	白黒の差が小さくなります。
高	白黒の差が大きくなります。

色の濃さ

淡	薄くなります。
濃	濃くなります。

色合い

■ (赤)	赤が強くなります。
■ (緑)	緑が強くなります。

明るさ

暗	暗くなります。
明	明るくなります。



- 「色の濃さ」と「色合い」は、画面によって調整できない場合があります。

3 **ESC** にタッチする

ワイド画面の拡大方法を切り替える

DVDやTV、DTVおよびVTR(ビデオなど)の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。



- 通常映像は縦横比 4 : 3、ワイド映像は縦横比 16 : 9 です。
- DVD、TV、DTV、VTR で設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーションや音声系ソース (CD、WMA/MP3/ACC、MD、ミュージックサーバーなど) は、ワイドモードの切り替えはできません。

1 ソースを切り替える (→ P12)

2 **メニュー** を押し、**システム設定** - **ワイドモード** にタッチする

3 お好みの表示方法にタッチする



→それぞれの表示の説明は、「ワイドモードの種類」を参照してください。



- 通常のテレビ放送の番組で ZOOM、NORMAL 以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（FULL、ZOOM などで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

4 戻るにタッチする

■ワイドモードの種類

FULL (フル)

4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



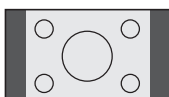
ZOOM (ズーム)

4 : 3 の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4 : 3 の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



AUTO (オート)

DVD ソースまたは DivX ソース表示中に選択できます。画面サイズを最適な大きさに自動設定します。

画面の表示モードを切り替える

本機の画面の表示のしかたには、次の 3 種類があります。

1 画面	地図の 1 画面表示です。
ピクチャー サイド ピクチャー	画面を 2 分割して、ナビゲーション画面と AV ソース画面を同時に表示します。
ピクチャー イン ピクチャー	ナビゲーション画面の中に AV ソース画面を小さく（子画面）表示します。



- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **(NAVI/AV)** を押すとソースの 1 画面に切り替わります。再度押すと 2 画面に戻ります。
- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **(メニュー)** を押すとナビゲーションメニューが表示されます。AV メニューを表示させるには **(NAVI/AV)** を押してソースを 1 画面にしてから **(メニュー)** を押してください。2 画面に戻るには、**(現在地)** を押してください。

■ピクチャーサイドピクチャーに変更する

1 **(DISP. SEL)** または **(DISP)** を押す



- 「AVIC-H009」の場合は、TV モニターの「DISP」ボタンを 2 秒以上押しします。

画面表示モード選択画面が表示されます。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サバービック

オプション
機器

オーディオ
設定


システム
設定


その他の
機能

付
録

2 「PsideP」の または にタッチする




1 画面に戻すには「1 画面」の  にタッチします。

-  ・2 画面とも同じ画面にすることはできません。
- ・AV ソース画面どうし（テレビと DVD、DVD とビデオなど）の 2 画面表示はできません。
- ・ナビゲーションの操作をやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる（1 画面になる）ことがあります。

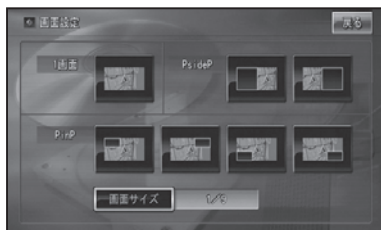
■ピクチャーインピクチャーに変更する

1 **DISP. SEL** または **DISP** を押す

-  ・「AVIC-H009」の場合は、TV モニターの「DISP」ボタンを 2 秒以上押します。

画面表示モード選択画面が表示されます。

2 **画面サイズ** にタッチする





画面サイズ 子画面の大きさを以下のように変更することができます。

1/16 → 1/9 → 1/4 → 元に戻る

3 「PinP」の 、、、 のいずれかにタッチする



1 画面に戻すには「1 画面」の  にタッチします。

-  ・テレビ、ビデオ、DVD/DivX を選んでいる場合のみ子画面のサイズを変更することができます。
- ・走行中は子画面のサイズを変更することはできません。
- ・ピクチャーインピクチャーで表示される子画面は、ワイドモードの設定にかかわらず、「ワイド」（テレビアスペクトが 16：9）で表示されます。
- ・ナビゲーションの操作をやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる（1 画面になる）ことがあります。
- ・ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。
- ・ユニバーサルパッドを上 / 下 / 左 / 右に操作して選ぶこともできます。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

(タッチパネルキャリブレーション) (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなど、以下の方法で調整することができます。調整には画面四隅で行う4点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。

❗注意

- 必ず付属のタッチパネル用調整ペンを使用して画面に軽く触れてください。タッチパネルを強く押すとタッチパネルが破損することがあります。また、ボールペンやシャープペンなどの先の尖った物は使用しないでください。

- ✎
- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、**現在地**を押すか**(V.ADJUST)**または**(V.ADJ)**を長く押してください。ナビゲーションの画面に戻ります。

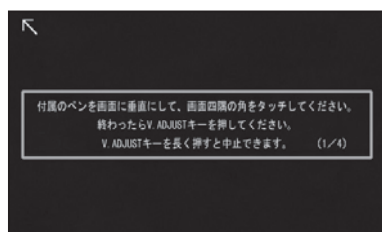
1 **(V.ADJUST)** または **(V.ADJ)** を押す

画質調整画面が表示されます。

2 **(V.ADJUST)** または **(V.ADJ)** を長く押す

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅にタッチする



4 **(V.ADJUST)** または **(V.ADJ)** を押す

調整結果が保存されます。

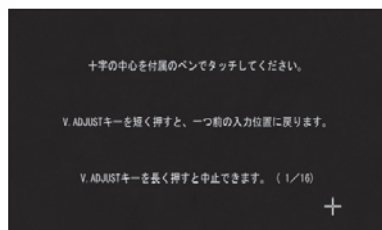
- ✎
- 保存中はエンジンを切らないでください。
 - 4点調整で終了する場合は、**(V.ADJUST)** または **(V.ADJ)** を長く押してください。ナビゲーションの画面に戻ります。

5 もう一度 **(V.ADJUST)** または **(V.ADJ)** を押す

16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする

全てタッチすると調整結果が保存されます。



- ✎
- 保存中はエンジンを切らないでください。
 - 一つ前の調整に戻るには、**(V.ADJUST)** または **(V.ADJ)** を押してください。
 - 調整を取り止めるには、**現在地**を押してください。

7 **(V.ADJUST)** または **(V.ADJ)** を長く押す

調整を終了し、ナビゲーション画面に戻ります。

- ✎
- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

オフショ機能

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

リビングキットで操作できる機能

リビングキットとは

リビングキットにブレインユニットを挿入することにより、ご家庭のテレビやオーディオ機器でナビゲーションの一部の機能やミュージックサーバーを楽しむことができます。また、インターネットに接続すれば、エニーミュージックポータルサイトより楽曲を購入してブレインユニットに直接ダウンロードしたり、インターネット上のWebサイトの閲覧などができます。さらにUSBケーブルでパソコンに接続して、パソコンリンクソフト「ナビスタジオ Ver. 2」やデジタルオーディオソフト「BeatJam 2006 for carrozzeria」をインストールすれば、パソコン内の音楽ファイルの転送や、サイバーナビとのリンク機能などを簡単に使いこなすことができます。

再生する

ミュージックサーバーに録音されたデータを再生することができます。

→ミュージックサーバーの操作に関しては、「ミュージックサーバーの聴きかた」(P47)を参照してください。

情報を取得する

ご自宅のインターネット環境を利用して、ヒットチャートやタイトルなどの情報の取得操作が可能です。

→情報取得の操作に関しては、「ミュージックサーバー」の「最新のヒットチャートを見る」(P55)、「タイトル情報を取得する」(P73)を参照してください。

コンテンツや曲をダウンロードする

リビングキットをインターネットに接続すれば、エニーミュージックポータルサイトから楽曲を購入して直接ブレインユニットにダウンロードすることができます。また、リビングキットをパソコンと接続して、デジタルオーディオソフト「BeatJam 2006 for carrozzeria」をインストールすれば、音楽配信サイトからパソコンにダウンロードした楽曲をブレインユニットに転送することができます。

録音する

ご自宅のホームテレビやコンポなどから、音声入力でアナログ録音することができます。

→録音操作や録音中の操作に関しては、「ミュージックサーバー」の「CD以外のソースを録音する」(P45)を参照してください。

エニーミュージックのサービスを利用する

リビングキットを LAN 接続し、インターネットの利用が可能な環境にある場合は、エニーミュージックの各種サービス(曲のダウンロードなど)を利用することができます。

- この機能を使うには、リビングキットを LAN 接続し、通信接続設定(LAN)が必要です。→『ナビゲーションブック』『通信接続設定』
- エニーミュージックのサービスをご利用になるには、はじめに利用登録が必要です。利用登録のしかたについては、別添えの『エニーミュージックサービス利用ガイド』をご覧ください。
- エニーミュージックの利用と、パソコンとの USB 接続の同時使用はできません。
- サービスの変更により、実際の画面と手順が異なる場合があります。

楽曲をダウンロードする

エニーミュージックの音楽ダウンロードサービスにアクセスして、欲しい楽曲をダウンロードします。

- ダウンロードした楽曲は、ミュージックサーバーの「AnyMusic グループ」に登録されます。
- シングル楽曲の購入およびアルバム内楽曲の単曲購入をした場合は、コンテンツによっては「DL アルバム」プレイリストに登録されます。
- 1つのパッケージのプレイリストが99曲を超えた場合、同名のプレイリストを新たに作成し、残りの楽曲を登録します。
- 100以上楽曲が入ったアルバムは、ダウンロードできません。

1 [SRC] を押して、ソースを AnyMusic に切り替える

2 ポータルへ[はい]を選ぶ

ローカルトップ画面



エニーミュージックポータルへ接続されます。

以降は、『エニーミュージックサービス利用ガイド』をご覧ください。

■ ユーザー認証時の操作について

エニーミュージックのポータルサイトでユーザー認証が必要な場合は認証画面が表示されますので、利用登録時に登録したユーザー ID とパスワードを入力して接続を選びます。



- 「ユーザーIDとパスワードを保存する」のチェックボックスにチェックを入れておくと、次の接続から入力を省略することができます。ただし、第三者でもアクセスできるようになるため、ブレインユニットの盗難には十分ご注意ください。

お気に入り登録する

ポータルサイトのお気に入りのページを登録しておくと、簡単に呼び出して利用できるようになります。

- 「お気に入り」は30件まで登録できます。

1 エニーミュージックのポータルに接続する(→前記)

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

オプション機器

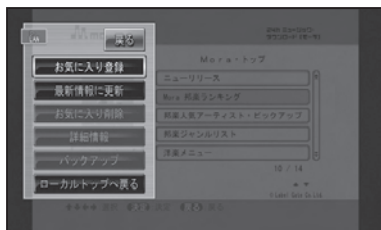
オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

2 登録したいページで**メニュー**を押し、**お気に入り登録**を選ぶ



- **最新情報に更新**を選ぶと、ページが最新の状態に更新されます。
- **ローカルトップへ戻る**を選ぶと、ローカルトップ画面に戻ります。

お気に入りに登録されます。

■お気に入りを呼び出す

1 ローカルトップ画面(→P135)でお気に入りの項目を選ぶ



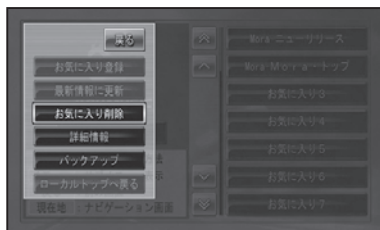
ID とパスワードを入力すると、お気に入りのページが表示されます。

■お気に入りを削除する

1 ローカルトップ画面(→P135)で削除したい項目にカーソルを合わせる



2 **メニュー**を押し、**お気に入り削除**を選ぶ



- **詳細情報**を選ぶと、登録されているページの詳細情報が表示されます。

お気に入りが削除されます。

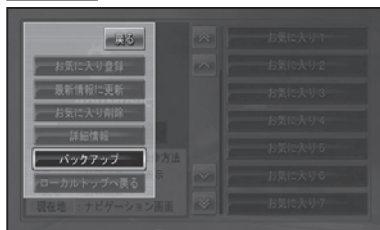
楽曲をバックアップする

ダウンロードした楽曲データをメモリーデバイスにバックアップすることができます。

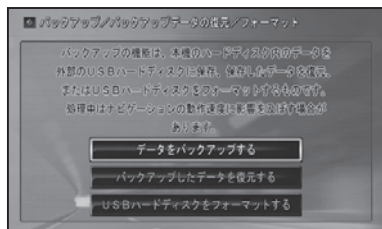
- バックアップした楽曲データを復元するときは、プレーンユニット内に収録されている楽曲データを全て消去してから復元されます。バックアップ後にダウンロードしたデータは全て消去されますのでご注意ください。
- メモリーデバイスは、「USB フラッシュメモリー」と「USB ハードディスク」どちらでも使用できますが、大容量の「USB ハードディスク」をおすすめします。
- 別電源タイプの USB ハードディスクを接続した場合、バックアップ後は本機の電源を切る前に USB ハードディスクを先に取り外してください。

1 メモリーデバイスを取り付ける(→『リビングキット取扱説明書』)

2 ローカルトップ画面(→P135)で**メニュー**を押し、**バックアップ**を選ぶ



3 データをバックアップするを選ぶ



4 はいを選ぶ



バックアップが開始されます。

- バックアップ中は他の操作はしないでください。

5 確認を選び、メモリーデバイスを取り外す (→『リビングキット取扱説明書』)



バックアップした楽曲を復元する

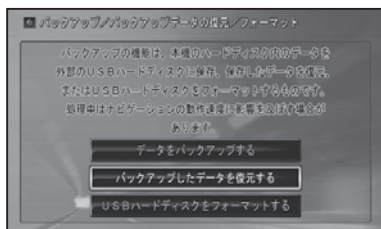
- バックアップした楽曲データを復元するときには、プレーンユニット内に収録されている楽曲データを全て消去してから復元されますのでご注意ください。

メモリーデバイスにバックアップした楽曲データをプレーンユニットに復元します。

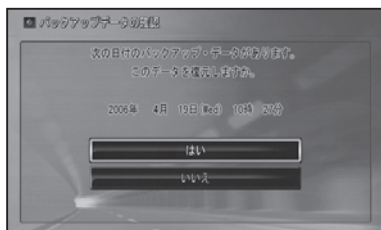
1 バックアップしたメモリーデバイスを取り付ける (→『リビングキット取扱説明書』)

2 ローカルトップ画面 (→P135) で **メニュー** を押し、**バックアップ** を選ぶ

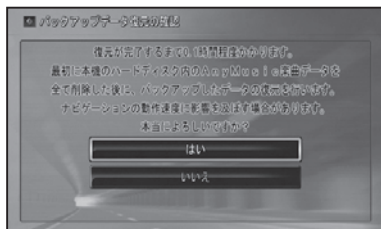
3 バックアップしたデータを復元するを選ぶ



4 はいを選ぶ



5 はいを選ぶ

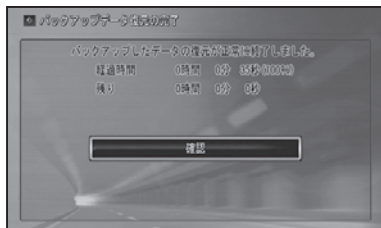


復元が開始されます。

- 復元中は他の操作はしないでください。

つづく→

6 確認を選び、メモリーデバイスを取り外す(→『リビングキット取扱説明書』)



USBハードディスクをフォーマットする

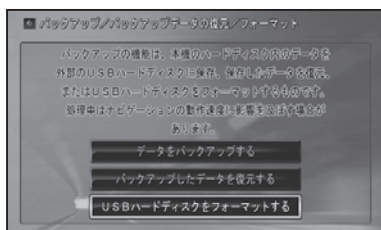
注意

- ハードディスクをフォーマットすると、ハードディスクに収録されている全てのデータ(本機以外で保存したデータも含む)が消去されますので、ご注意ください。

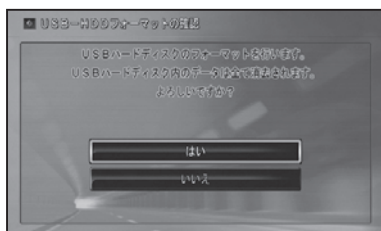
1 フォーマットするUSBハードディスクを取り付ける(→『リビングキット取扱説明書』)

2 ローカルトップ画面(→P135)で「メニュー」を押し、「バックアップ」を選ぶ

3 USBハードディスクをフォーマットするを選ぶ



4 はいを選ぶ



5 はいを選ぶ



フォーマットが開始されます。



- フォーマット中は他の操作はしないでください。

6 確認を選び、USBハードディスクを取り外す(→『リビングキット取扱説明書』)



■ エニーミュージックについて



エニーミュージックは、パソコンを利用せずにいつでも楽曲のダウンロード購入や音楽CDの購入、FM放送で聴いた楽曲の購入が可能な音楽サービスです。

詳しい内容は、別添えの「エニーミュージックサービス利用ガイド」またはエニーミュージックのホームページ (<http://www.anymusic.jp/>) をご覧ください。

※「エニーミュージック」はエニーミュージック株式会社の登録商標です。

リアモニターを組み合わせる

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

→接続のしかたは『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、TV、DTV、DVD、DivX、VTR の映像が表示されます。ナビゲーション、バックカメラ、AV ソース画面の映像は表示されません。
- リアモニターは、走行中 / 停車中に関係なく映像が表示されます。

注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。



- リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

付録

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定



その他の機能

付録

再生できるディスクの種類	142
DVD に表示されているマークの意味	143
ディスクの操作について	143
ディスクの構成について	144
DVD ビデオ	144
映画など	144
カラオケディスク	144
CD	144
WMA/MP3/AAC ディスクについて	145
フォルダーと WMA/MP3 および AAC ファイルについて	145
WMA とは?	146
再生できる WMA ディスクについて	146
MP3 とは?	146
再生できる MP3 ディスクについて	146
AAC とは?	147
再生できる AAC ディスクについて	147
DivX とは?	147
Gracenote について	148
故障かな?と思ったら	149
共通項目	149
TV	150
FM/AM	150
DVD	151
CD、ROM (WMA/MP3/AAC)	152
ミュージックサーバー	153
エラーメッセージと対処方法	154
共通項目	154
DVD、CD、ROM (WMA/MP3/AAC)	154
ミュージックサーバー	155
索引	156
メニュー索引	156
用語索引	158
五十音順	158
アルファベット順	159

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ / 再生面	最大再生時間
	DVD ビデオ	(MPEG 2 方式)
	12cm/ 片面 1 層	133 分
	2 層	242 分
	12cm/ 両面 1 層	266 分
	2 層	484 分
	DVD ビデオ	(MPEG 2 方式)
	8cm/ 片面 1 層	41 分
	2 層	75 分
	8cm/ 両面 1 層	82 分
	2 層	150 分
	CD	74 分
	CD シングル	20 分
	8cm/ 片面	

本機で再生できるのは、上記に記載されているマークの付いたディスクのみです。








- DVD オーディオディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RW ディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されファイナライズされたもの、および WMA/MP3/AAC ファイルが収録されたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-RW ディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録した DVD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-Extra は、音楽 CD として再生することができます。
- CCCD (Copy Control CD) は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていない CD-R/RW ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD (Double Density CD) 形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC (パソコン) で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVD に表示されているマークの意味

DVD ディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類
	再生可能な地域番号（リージョン番号） 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVD では、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル／チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

DVD ビデオ

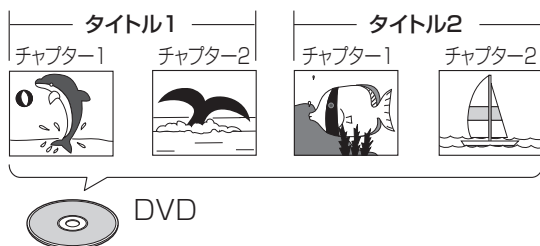
DVD ビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

■映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

■カラオケディスク

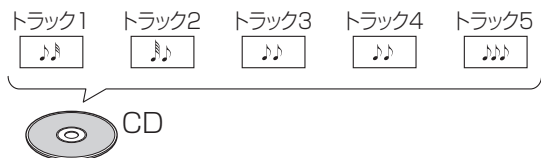
1曲が1タイトルとなっています。



• 上記のような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



WMA/MP3/AACディスクについて

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

オーディオ機器

オーディオ設定

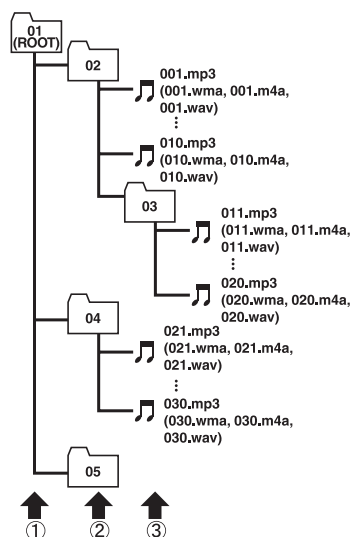
システム設定

その他の機能

付録

フォルダーと WMA/MP3 および AAC ファイルについて

- WMA/MP3/AAC ファイルを収録したディスクのイメージは下図のようになります。



1 階層 2階層 3階層

- 本機は WMA/MP3/AAC ファイルが記録された DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM (CD-ROM モードはモード1、モード2、FORM1、FORM2 に対応) の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660 のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。

- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma, .mp3, .m4a) を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。



- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CD ディスクに WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えることができます。WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA/MP3/AAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません (フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が255個まで再生可能です。

WMA とは？



WMA とは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。



- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

■再生できる WMA ディスクについて



- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7 / 7.1/8/9 を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。
- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ~ 48kHz です。
- 対応ビットレートは 5kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。
- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3 とは？

MP3 とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■再生できる MP3 ディスクについて



- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。
- ID3 Tag の Ver1.0 および Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3 の album(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)、genre(ジャンルとして表示)、year(発売年として表示)の表示に対応しています。
- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、8kHz ~ 48kHz です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。

AAC とは？

AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■再生できる AAC ディスクについて



- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機では、Ver. 4.8 以前の iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けないでください。
- 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ～ 48kHz です。
- 対応ステレオビットレートは 8kbps ～ 320kbps です。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
* Apple ロスレス・エンコーダ

DivX とは？



- DivX® は、DivX, Inc. が開発した評価の高いメディア技術です。DivX のメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivX で圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.com では、DivX メディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivX の専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。
- DivX Certified 製品は、DivX のクリエイタによってテストされ、全てのバージョンの DivX (DivX 6 も含む) でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certified の認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles 規格に準拠したポータブルビデオや HD ビデオであることを示しています。
- DivX® Certified 製品
- 標準の DivX® メディアファイル再生機能が付いた DivX® ビデオを再生 (DivX® 6 も含む全てのバージョンに対応)
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RW に記録された DivX® ファイルを再生できます。
- この取扱説明書では、それぞれの DivX® ファイルを DVD にあわせて「タイトル」と呼びます。DivX® ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

概要

音楽認識技術及び関連データ情報は、グレースノート及びグレースノート CDDB 音楽認識サービスにより提供されます。グレースノートは音楽認識技術及び関連データ情報配信における業界標準となっています。詳細については、www.gracenote.com をご覧ください。

特許及び商標

「グレースノート社からの CD 及び音楽関連データ情報」に関する著作権 (2000-2003) は、グレースノート社に帰属します。「グレースノート CDDB クライアントソフトウェア」に関する著作権 (2000-2003) は、グレースノート社に帰属します。これらの製品及びサービスは、米国特許番号 #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593 並びにその他の特許取得済みまたは申請中の技術の中の 1 つ或いは複数の技術により提供されます。「Gracenote」及び「CDDB」は米国グレースノート社の登録商標です。「Gracenote」のロゴ及びロゴタイプ、「CDDB」のロゴ及びロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」のロゴは、米国グレースノート社の商標です。

- 本機内蔵の Gracenote CDDB のデータベース、専用サーバーの Gracenote CDDB のデータベースともに、データの内容を 100%保証するものではありません。
- Gracenote CDDB の専用サーバーのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- CDDB の通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なく、その提供を中止することがあります。

エンドユーザー使用許諾書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市の Gracenote ("Gracenote") からの技術とデータが含まれています。この製品は Gracenote の技術 ("Gracenote Embedded Software") により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報 ("Gracenote Data") を得ることも可能です。この技術は Gracenote Database ("Gracenote Database") に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Data にアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded Software または Gracenote Data の譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外での Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたの Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Database の全ての使用をやめることに同意すること。
- Gracenote は Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenote はこの同意のもとで、Gracenote の名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded Software や Gracenote Data の各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenote は、すべての Gracenote Data の正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。Gracenote は Gracenote が明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Software が、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Software の機能が断絶しないものであるという保証は致しません。Gracenote は新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来 Gracenote が提供するかもしれないカテゴリについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenote は、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenote は、Gracenote Component またはいかなる Gracenote Server の利用により生じた結果について保証しません。

Gracenote はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	スタンバイ状態になっている。	スタンバイを解除してください。→『スタートブック』
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	(NAVI/AV)で画面を切り替えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。→「フェーダー／バランス」(P95, 102)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
バックガイドモニターに切り替わらない。	バックカメラの設定が適切でない。	適切に設定してください。→『ナビゲーションブック』
画質調節ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	－
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	－

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

TV

症状	原因	処置
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P16)
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	NAVI/AV で画面を切り替えてください。

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→「テレビやラジオの放送を受信する」 (P16)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「テレビやラジオの放送を受信する」(P16)

症状	原因	処置
再生できない。	PAL 方式のディスクを挿入している。	NTSC 方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	[NAVI/AV] で画面を切り替えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイ (→ P38) を ON に設定してください。
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイを OFF にして再生してください。→ 「オートプレイ」 (P38)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→ 「視聴制限」 (P38)
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていない DVD を再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD では、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。	複数のアングルが収録されていない DVD では、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出る場合があります (故障ではありません)。
Ⓢ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けけない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■にタッチしてから、もう一度再生してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシングオプション
機器オーディオ
設定システム
設定その他の
機能付
録

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-R や CD-RW、CD-ROM を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください(WMA 形式でないファイルに「.wma」、MP3 形式でないファイルに「.mp3」、AAC 形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けた CD-ROM を再生しないでください)。
聞きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AAC ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02 など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ミュージックサーバー

症状	原因	処置
CD が録音されていない。	CD の録音が中止された。	CD の録音には制限があります。 →「CD 録音の制限について」(P43)
プレイリストのタイトルに「CD - 日付 時刻」が表示されている。	タイトルが複数候補あったかタイトル情報が HDD に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続を確認してください。
	通信接続設定が正しくされていない。	通信接続設定を行ってください。 →「ナビゲーションブック」
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。 本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。 手動でタイトル情報を取得してください。→「タイトル情報を取得する」(P73)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

エラーメッセージと対処方法

異常が発生したときは、エラーメッセージが表示されます。

共通項目

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。

DVD、CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
再生できません。 ディスクを取り出して ください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」(P142)
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」(P142)
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出して ください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはサービスステーションにご相談ください。

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-R などコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCD など、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のため HDD にデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。→「グループ内のプレイリストを消去する」(P66)、「プレイリストからトラックを消去する」(P70)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

索引

メニュー索引

CD/ROM

- (メニュー) ▶ **リピート** → P24
スキャン → P25
ランダム → P25
CD 切替 → P26
ROM 切替 → P26
DivX 切替 → P26
サーチモード → P26
オーディオ設定 → P94
システム設定 → P116, 121
スケジューラー → P126

FM/AM (AVIC-VH009MD/VH009)

- (メニュー) ▶ **BAND** → P17
BSM → P17
オーディオ設定 → P94
システム設定 → P116
スケジューラー → P126

DVD/DivX

- (メニュー) ▶ **リピート** → P35
L/R 切替 → P36
CD 切替 → P36
ROM 切替 → P36
DVD 初期設定 → **基本字幕** → P37
オーディオ設定 → P94
システム設定 → P116, 121
スケジューラー → P126

TV (AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

- (メニュー) ▶ **BAND** → P17
音声多重 → P18
BSSM → P17
リスト小/リスト大 → P18
オーディオ設定 → P94
システム設定 → P116, 121
スケジューラー → P126

MSV

- (メニュー) ▶ **リピート** → P49
ダイジェスト → P50
ランダム → P50
通常再生 → P54
ヒットチャートプレイ → P52
フィーリングプレイ → P57
編集 → **グループの編集** → P65
オーディオ設定 → P94
システム設定 → P116, 121
スケジューラー → P126
プレイリストの編集 → P67
トラックの編集 → P71
タイトル情報取得 → P73

(AVIC-VH009MD/VH009)

オーディオ設定

- ▼
- 2チャンネル** → **フェーダー／バランス** → P95
- マルチチャンネル** → **ソースレベルアジャスター** → P95
→ **デジタルダイレクト** → P95
→ **ダイナミックレンジコントロール** → P96
→ **ダウンMIX** → P96
→ **オートサウンドセッティング** → P96
→ **詳細設定** → **グラフィックイコライザー** → P97
→ **リスニングポジション** → P98
→ **スピーカー設定** → P99
→ **カットオフ** → P99
→ **タイムアライメント** → P100
→ **スピーカー出力レベル** → P101
→ **オートイコライザー** → P102
- **フェーダー／バランス** → P102
→ **ソースレベルアジャスター** → P102
→ **デジタルダイレクト** → P103
→ **Dolby Pro Logic II** → P103
→ **Neo:6** → P104
→ **ダイナミックレンジコントロール** → P105
→ **ダウンMIX** → P105
→ **オートサウンドセッティング** → P105
→ **詳細設定** → **パラメトリックイコライザー** → P106
→ **リスニングポジション** → P108
→ **スピーカー設定** → P108
→ **カットオフ** → P109
→ **タイムアライメント** → P109
→ **スピーカー出力レベル** → P110
→ **オートイコライザー** → P111

(AVIC-VH009MD/VH009)

- システム設定** → **AUTO TA&EQ** → P116
→ **デジタルアッテネーター** → P116
→ **録音設定** → P116
→ **消音設定** → P117
→ **ワイドモード** → P117
→ **AV入力設定** → P117
→ **サブディスプレイ設定** → P118
→ **オートフラップ設定** → P118
→ **ガイド/ハンズフリーSP設定** → P119
→ **オーディオ設定リセット** → P119
→ **オートアンテナ・ACC電源連動** → P119
→ **光デジタル入力設定** → P119
→ **DivX VOD コード** → P120
→ **MSV 使用領域設定** → P120

(AVIC-XH009/H009)

- システム設定** → **録音設定** → P121
→ **消音設定** → P121
→ **ワイドモード** (AVIC-XH009) → P122
→ **AV入力設定** (AVIC-XH009) → P122
→ **ガイド出力設定** (AVIC-XH009) → P122
→ **FM トランスミッター設定** (AVIC-XH009) → P123
→ **DivX VOD コード** → P123
→ **MSV 使用領域設定** → P123

(AVIC-VH009MD/VH009/XH009)

- スケジューラー** → **新規作成** → P126
→ **設定済み予約編集** → P128
→ **設定済み予約消去** → P128

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバ
パー
ラッ
ク

オプション
機器

オーディオ
設定

システム
設定

その他の
機能

付
録

■五十音順

あ行	明るさ	130
	アシスト字幕	37
	アーティストグループ	47
	アングル	34
	アングル選択マーク	34
	暗証番号	38
	イコライザー	
	オートイコライザー	102, 111
	グラフィックイコライザー	97
	パラメトリックイコライザー	106
	色合い	130
	色の濃さ	130
	エクスターナルユニット	89
	エニーミュージック	47, 62, 135
	エリアプリセット	16
	エンファシス	146
	オーディオコントローラー	10
	オーディオ設定画面	94
	オーディオ設定リセット	119
	オート (ワイドモード)	131
	オートイコライザー	102, 111
	オートサウンドセッティング	96, 105
	オートプレイ	38
	音場	112
	音声言語	34, 37
	音声多重放送	18

か行	ガイド / ハンズフリー SP 設定	119
	外部機器	91
	画質	130
	画像	69
	基本音声	37
	基本字幕	37
	グラフィックコライザー	97
	グループリスト	48
	黒の濃さ	130
	交通情報	19
	コマ送り	30
	コントラスト	130

さ行	再生順変更	66
	サウンドセッティング (詳細設定)	96, 106
	サーチモード	26
	システム設定画面	116, 121
	視聴制限	38
	シネマ	131

字幕言語	33, 37
ジャスト	131
ジャンル	69
主音声	18, 80
消音タイミング	117
消音レベル	117
詳細情報	24, 48, 65, 68
情報取得	73
初期設定	11, 37
シングル	44
スキャン再生	25, 86
スケジューラー → AVスケジューラー	126
スロー再生	31
ズーム	131
静止画	30
操作タッチキー	28
ソース	12
ソースメニュー	10
ソースレベルアジャスター	95, 102

た行	タイトル	43
	タイトル情報	73
	ダイナミックレンジコントロール	96, 105
	ダイレクトサーチ	33
	ダウン MIX	96, 105
	タッチパネルキャリブレーション	133
	地上デジタルテレビジョン	78
	チャプター	30
	ディスクメニュー	29
	デジタルアッテネーター	116
	デジタルダイレクト	95, 103
	テレビ	16
	テレビアスペクト	38
	トラックリスト	58

な行	ノーマル	131
-----------	------	-----

は行	ハイダウェイ TV チューナー	114
	バックカメラ	117
	早送り	22, 26, 30, 31
	早戻し	22, 26, 30, 31
	パレンタルロック → 視聴制限	38
	バンド	17, 107
	ヒットチャートプレイ	52
	ファイナライズ	142
	フィーリングプレイ	57
	フェーダー / バランス	95, 102
	フォルダー	22, 23, 25, 32, 145
	副音声	18, 80
	ブックマーク	31
	フル	131
	プリセット	
	エリアプリセット	16

ユーザープリセット	16
プレイリスト	47
プレイリスト詳細情報画面	69
ポジション → リスニングポジション	98, 108
ポーズ / 再生	23, 48

ま行 マルチアングル	34, 38
マルチ音声	34, 37
マルチ CD	85
マルチ字幕	33
マルチセッション	145
ミックス CD	26
ミュージックサーバー	42
メニュー言語	37
メモリーデバイス	75

や行 ユーザープリセット	16
---------------------	----

ら行 ラジオ	16
ランダム再生	25, 50, 86
リアモニター	139
リージョン番号	138
リスニングポジション	98, 108
リターン再生	35
リピート再生	24, 35, 49, 84
リビングキット	42, 92, 134
連続複製防止システム	43
録音	43
録音設定	45
録音モード	46

わ行 ワイド画面	130
ワイドモード	117, 131

■アルファベット順

A AAC	145, 147
ALL	47
AM	16
AnyMusic	47, 62, 135
ATRAC3 (PC)	47
AUTO (ワイドモード)	131
AUTO TA&EQ	112
AUX → 外部機器	91
AV 初期設定	11
AV スケジューラー	126

B BSM	17
BSSM	17

C CCCD	142
CD	22, 142
CD-DA	145
CD TEXT	85
CHAPTER REPEAT	35
CINEMA	131

D DDCD	142
DISC REPEAT	24, 35, 86
DivX	120, 123, 147
Dolby Pro Logic II	103

F FM	16
FOLDER REPEAT	25, 35
FULL	131

G Gracenote	148
GROUP REPEAT	50

I ID3 Tag	24, 146
iPod	83
ISO 9660	145
ITS	87

J Joliet	145
JUST	131

M m3u	145
MAGAZINE REPEAT	86
MD	23, 24, 25
MDLP	23
MP3	23, 146
MSV → ミュージックサーバー	42

N Neo: 6	104
NORMAL	131

P PLAYLIST REPEAT	50
--------------------------	----

R Romeo	145
----------------	-----

S SCMS → 連続複製防止システム	43
SRC	12

T TITLE REPEAT	35
TRACK REPEAT	24, 50, 86

V VTR	12
--------------	----

W WMA	23, 145
--------------	---------

Z ZOOM	131
---------------	-----

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

オプション機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障がどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ 0070-800-8181-11

【一般電話】03-5496-8016

ファックス 03-3490-5718

インターネットホームページ

<http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 ☎ 0120-817-088

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障がどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ 0120-5-81028

【一般電話】03-5496-2023

ファックス ☎ 0120-5-81029

インターネットホームページ

<http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】098-879-1910

ファックス 098-879-1352

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ 0120-5-81095

【一般電話】0538-43-1161

ファックス ☎ 0120-5-81096

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2006

< KAMFF > < 06C07501 > < CRA3869-B >